

厚生労働省
生活保護世帯出身の大学生等の生活実態の
調査・研究等一式
報告書

株式会社インテージリサーチ

目次

1. 調査の概要	- 1 -
1－1. 調査目的.....	- 1 -
1－2. 調査設計.....	- 1 -
1－3. 調査項目.....	- 2 -
1－4. 報告書の見方	- 2 -
2. 調査結果まとめ	- 3 -
2－1. 大学進学までの支援のあり方	- 4 -
2－2. 現在の生活について.....	- 7 -
2－3. 卒業後の見込みについて.....	- 7 -
2－4. 世帯分離による影響について	- 8 -
3. 調査結果 詳細	- 9 -
3－1. 基本属性.....	- 9 -
3－2. 現在の学校に通う前について	- 19 -
3－3. 現在の生活状況について.....	- 53 -
3－4. 卒業後の見込みについて.....	- 70 -
4. 資料編	- 73 -
4－1. 調査票	- 73 -

1 調査の概要

1. 調査の概要

1－1. 調査目的

生活保護世帯出身の大学生等の進学に関する状況や現在の生活状況を調査、研究することにより、生活保護世帯の子供の大学等への進学を含めた自立支援を検討する上で、必要な基礎資料を得ることを目的とする。

1－2. 調査設計

(1) 調査対象

生活保護世帯出身で、調査基準日（平成 29 年 4 月 1 日）時点で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に在籍している者のうち、生活保護世帯と同居しており世帯分離を行っている者

(2) 標本数

福祉事務所：対象数 688 件

調査対象者：抽出数 4,504 件、調査対象者数 4,445 件

※抽出数から、宛先不明戻り 18 件、回答拒否 3 件、対象者条件に合致していない 38 件（大学入学後に生活保護を受給、一人暮らし等）を除外

(3) 回収数

福祉事業所：606 件（回収率 88.1%）

調査対象者：2,025 件（回収率 45.6%）

(4) 抽出方法

各自治体の福祉事務所のリスト 8,806 件（平成 29 年 4 月 1 日時点）から、学校区分や国公立・私立区分ごとに層化抽出

(5) 調査方法

郵送配布、郵送回収

※福祉事務所宛てに、福祉事務所で回答する属性回答票と、対象者向け調査物品を送付し、福祉事務所から調査対象者宛てに調査物品を発送

(6) 調査期間

平成 29 年 11 月 20 日～12 月 22 日

(7) 調査機関

株式会社インテージリサーチ

1－3. 調査項目

主に、以下の項目について聴取した。

分類	主な調査項目
基本属性	● 性別・年齢、同居家族、現在通っている学校の種類・学年・専門
現在の学校に通う前について	● 通っていた高校等の種類・学科 ● 高校等への進学について：経済的な理由で志望校を変更した経験 ● 大学等への進学について：進学検討時期、生活保護費減額による影響、進学志望理由、進路に関する相談状況、進学に関する家族の考え・態度 ● 受験に関することについて：受験勉強の進め方、進学等に関する情報入手方法・必要な情報、受験した学校・学部数、受験・入学にかかる費用・準備方法、アルバイトの状況
現在の生活状況について	● 経済的な状況について：就学費用の援助、奨学金等の利用状況、授業料等の年間必要額、授業料減免制度の受用状況、国民健康保険・国民年金保険料の状況 ● アルバイトの状況：現在のアルバイトの有無・労働時間・就労日数・収入、世帯分離による影響（引っ越しの検討等） ● 学生生活について：学校の授業への出席状況・出席しない理由、学生生活に関する悩みや不安
卒業後の見込みについて	● 卒業後の進路、卒業後の親との同居・経済的な援助について

1－4. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は、回答率（％）で表示している。％の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数（度数）はnで示している。
- (2) ％の数値は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「○は1つ」などの質問であっても、各回答の数値の合計が 100.0％にならない場合がある。
- (3) 回答は、単一回答（○は1つ）と複数回答（○はいくつでも）の選択式の回答と、具体的に数値を回答する場合がある。複数回答の設問の場合は、その回答割合（％）の合計が 100.0％とならないことがある。

2 調査結果まとめ

2. 調査結果まとめ

<生活保護世帯出身の大学生等の生活実態の調査・研究等 結果概要>

目的

生活保護世帯出身の大学生等の進学に関する状況や現在の生活状況を調査、研究することにより、生活保護世帯の子供の大学等への進学を含めた自立支援を検討する上で、必要な基礎資料を得る

調査設計

調査対象	生活保護世帯出身で、調査基準日（平成 29 年 4 月 1 日）時点で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に在籍している者のうち、生活保護世帯と同居しており世帯分離を行っている者
標本数	抽出数 4,504 件、調査対象者数 4,445 件
回収数	2,025 件（回収率 45.6%）
抽出方法	各自治体の福祉事務所のリスト 8,806 件（平成 29 年 4 月 1 日時点）から、学校区分や国公立・私立区分ごとに層化抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 29 年 11 月 20 日～12 月 22 日

調査結果 概要

大学進学までの支援のあり方

- 高校 1・2 年生のときから、学校の先生や職員、友人や先輩後輩と交流する機会を創出し、進学を考える機会を提供することで、子供自身が大学等の進学を見据えて将来を考えることが可能になるのではないか
- 大学等への進学にあたっては、進学する理由が学校種別によって大きく異なるので、それぞれの志望動機に沿った情報を提供することが重要である
- 保護者の最終学歴が低い場合は、早期に進学を考える機会の提供が重要になる
- 子供の大学等への進学についての家族の考え・態度によって、子供の大学等の志望理由や相談者等が大きく異なることから、世帯として大学等の進学について協力を仰ぐことももちろん重要だが、高校等での情報提供も重要になる
- 奨学金を利用して受験や入学に要する費用を準備している割合が高い

現在の生活状況について

- 「日本学生支援機構の貸与型奨学金」の利用が最も多く、奨学金等の平均年間受給額は 1,194,400 円となり、平均して毎月 10 万円程度を受給している形となる
- 特に国公立に通っている人の方が全額免除されている割合が 58.5%と高くなっていることから、授業料減免制度を活用するニーズがあると思われる
- 国公立に通っている人や奨学金等を利用している人で国民年金保険料の学生納付特例制度を利用している割合が高くなっていることから、なんらかの行政手続きや大学等での周知によって学生納付特例制度を認知している可能性が高いと思われる
- 大学等の授業を欠席している理由としては、病気（体調不良）やアルバイトが多くなっており、大学ではアルバイトによる授業欠席の割合が高くなっている

2-1. 大学進学までの支援のあり方

(1) 進路を検討する時期

中学生以前や高校等に進学するときに、大学等への進学を考え始めている場合は、高校2，3年になって大学等への進学を考え始める場合よりも大学等に進学する割合が高い。また、親、学校の先生や職員、学校の友人や先輩後輩から話を聞いている割合が高い。

他方、高校3年生になってから進学を意識した場合は、資格に直結するような専修学校に進学する割合が高く、学校の先生や親に話を聞くのではなく、自分でインターネットで調べる割合が高い。

(2) 進学先による違い

大学等への進学にあたっては、進学する理由が学校種別によって大きく異なり、短期大学や専修学校・各種学校では就労自立に直結する専門等を選ぶ傾向にあるため、子供が大学等に行きたい場合は、それぞれの志望動機に沿った情報を提供することが重要である。

<大学へ進学している人>

- 中学生以前や高校等に進学するときに、大学等への進学を考え始めている
- 幅広い教養を身につけたいから進学する
- 進学先を志望した理由は、自分の学力を考えてである
- 進路について、主に大学の先生や職員に、進学先の選択について相談している
- 進学に関する情報収集は、情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べている
- 親からの協力としては、受験勉強期間中に家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた

<短期大学へ進学している人>

- 資格や免許を取得したいから進学する
- 進路について、主に親に、大学等への進学にかかる費用について相談し、実際に親が調べてくれている

<専修学校へ進学している人>

- 資格や免許を取得したいから進学する
- 進学先を志望した理由は、就職実績が優れているから、資格や免許が取れるからである
- 進路について、主に親に、奨学金等の学費サポート制度について相談し、実際に親が進学先の相談に応じている

<各種学校へ進学している人>

- 進学先を志望した理由は、就職実績が優れているから
- 進路について、主に親に、奨学金等の学費サポート制度について相談し、実際に親が進学にかかる費用をしらべてくれている

（３）進路に関する世帯の協力・影響

世帯主が中卒の場合は、大学等への進学を、高校進学時に考えていない割合が高い。一方、世帯主が大学・短大・専門学校卒の場合は、子供が幅広い教養を身につけたいから進学する割合が高くなっている。そのため、保護者の最終学歴が低い場合は、早期に進学を考える機会の提供が重要になると思われる。

また、世帯分離による生活保護費減額が大いに影響したと回答した世帯では、就職実績や経済的負担を最優先して進学先を志望しており、できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしいと考えている。そのため、奨学金等の学費サポート制度への関心が高い。

そのほか、子供の大学等への進学についての家族の考え・態度によって、子供の大学等の志望理由や相談者等が大きく異なることから、子供が大学等に行きたい場合は、世帯として大学等への進学について協力を仰ぐことや高校等で情報を提供することが、子供にとってサポートになると思われる。

家族が協力的	項目	家族が非協力的・無関心
● 自分の学力を考えて ● 就職実績が優れているから	進学先の志望理由	● 経済的な負担が少ないから
● 親	主な相談者	● 学校の先生や職員
● 必要な情報は得ることができた	進学に関する 情報収集取得度	● 十分な情報を得ることができず、もっと情報が欲しい 例）受験料、入学金、授業料及びそれらの準備方法

（４）受験に関する費用負担、勉強の進め方

受験勉強の進め方として、塾や予備校、通信教育を利用した者については全体の10.9%であり、1年～1年6か月未満の利用期間が最も多く、平均19,700円（/月）かかっている。また、模擬試験を受けた者は全体の19.7%であり、受けた場合の平均回数は4.6回となっている。大学で4.9回、短期大学で3.5回と大きな差は見られないが、国公立では6.9回と平均よりも多く受けている。

また、受験や入学にかかる費用については、下表のとおり。

項目	平均値（千円）
受験の教材（参考書等）(n=1823)	17.6
受験料(n=1760)	44.8
受験するためにかかった交通費・宿泊費(n=1860)	4.8
入学金(n=1810)	278.7
大学生活で必要になるパソコン(n=1867)	36.6
電話機（携帯電話・スマートフォンを含む）(n=1856)	18.0
通学用の自転車・原動機付き自転車(n=1866)	8.1
入学式用の衣類・靴(n=1839)	33.6
合計(n=1601)	444.8

※問21での「0円」を含む、「無回答」除く

2 調査結果まとめ

奨学金を利用して受験や入学に要する費用を準備している割合が高い。中にはアルバイトをして費用を捻出している人もいるが、アルバイト収入の主な使い道は「遊興費、自らのお小遣い」となっており、生活保護世帯の収入認定除外となる「私立高校の授業料のための費用」「クラブ活動、修学旅行のための費用」「進学のための費用」に充てるよりも、自分で自由に使えるお金のためにアルバイトをしている実態がうかがえる。

1校（1学部）のみ受験している人は、学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした割合が高く、学校の先生や職員から話を聞いて情報収集していることから、受験勉強全般について学校を頼りにしていることがうかがえる。一方、2校（2学部）以上受験している人は、情報誌やインターネットを利用するなど、自分一人で調べて情報収集している割合が高く、参考書などを購入したり塾・予備校等を利用して、自分なりに受験勉強を考えながら進めていると思われる。

また、世帯主の最終学歴による違いとしては、世帯主が中卒の場合は、子供は学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした割合が高く、世帯主が大学・短大・専門学校卒の場合は、塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした、模擬試験を受けた割合が高くなっている。

そのほか、子供の大学等への進学についての家族の考え・態度によって、子供本人が受験勉強に専念できる環境づくりに影響があると思われるため、子供が大学等に行きたい場合は、世帯としての協力を仰ぐことも子供にとって有益と思われる。

家族が協力的	項目	家族が非協力的・無関心
● 塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした、模擬試験を受けた割合が高くなっている	受験勉強の進め方	● TOTAL と大きな差は見られない
● アルバイトをしていなかった	高校生等の時のアルバイトの状況	● 受験勉強期間による配慮はなく、受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた
● TOTAL と大きな差は見られない	受験勉強時の家事・介護・看護の有無	● 自分が中心となって家事をしていた

2-2. 現在の生活について

(1) 経済面

奨学金の利用状況については、「日本学生支援機構の貸与型奨学金」が最も多いが、短期大学に通っている人は、「生活福祉資金の教育支援資金」を利用している人も多い。奨学金等の平均年間受給額は1,194,400円となり、平均して毎月10万円程度を受給している形となる。

また、平成29年度に授業料減免制度を受けている割合は、全体の16.7%であり、特に国公立に通っている人で全額免除されている割合が58.5%と高くなっていることから、授業料減免制度を活用するニーズがあると思われる。

世帯分離をすることで、国民健康保険が自己負担となるが、約8割の人が加入している。国民年金保険料については、学生納付特例制度を利用している割合が全体の約6割となっており、国公立に通っている人や奨学金等を利用している人で学生納付特例制度を利用している割合が高くなっていることから、なんらかの行政手続きや大学等での周知によって学生納付特例制度を認知している可能性が高いと思われる。

(2) アルバイト

最近1年間にアルバイトをしていた割合は約8割であり、授業期間・長期休暇中別の平均的な状況については、下表のとおり。また、1か月当たりの平均収入は約6万円となっている。

	授業期間（平日）	授業期間（土日）	長期休暇中
1日あたりの平均労働時間	4.4時間	6.1時間	6.2時間
1か月あたりの平均就労日数	10.2日	5.5日	15.3日

(3) 授業出席

大学等の授業への出席状況は、9～10割（全出席）が全体の65.7%となっている。授業を欠席している理由としては、病気（体調不良）やアルバイトが多くなっており、特に専修学校では病気（体調不良）による授業欠席の割合が高くなっている。また、大学ではアルバイトによる授業欠席の割合が高くなっている。

2-3. 卒業後の見込みについて

卒業後の進路については、「正規の職員等として就職」が50.7%と最も多く、次いで「現在も就職活動中」が13.6%、「未定」が8.6%となっている。

また、子供の大学等への進学についての家族の考え・態度によって、卒業後の親との同居有無が異なっており、子供の大学等への進学に協力的な場合は卒業後に親と同居予定とする割合が高く、非協力的・無関心な場合は、同居しない予定とする割合が高い。

2-4. 世帯分離による影響について

大学等進学による生活保護費減額の影響が大いにある場合は、高校進学時に経済的な理由で志望校を変えなければならなかった経験をしている人が多い。世帯分離により住宅扶助費が減額になると、転居指導の対象になることがあるが、実際に引っ越しをしたのは約1割にとどまっており、引っ越しの予定はなく検討もしていない割合が約6割となっている。そのため、住宅扶助費が減額になったとしてもただちに引っ越しをしていないことがわかる。

また世帯分離による生活扶助費が減額になったことで、出身家庭では食費や衣類の購入、遊興や趣味の費用を減らして対応することが多いが、世帯分離した子供が生活費として平均2.5万円を家計に入れている。

3 調査結果 詳細

3. 調査結果 詳細

3-1. 基本属性

【問1】 あなたの性別・年齢をお答えください。(○は1つ)

回答者全体では、男性が47.3%、女性が52.4%となっている。学校の種類別にみると、男性は大学が58.4%と最も多く、次いで各種学校が44.4%、専修学校が36.6%、短期大学が12.3%となっている。女性は短期大学が87.7%と最も多く、次いで専修学校が63.1%、各種学校が54.8%、大学が41.4%となっている。

年齢については19歳が33.3%と最も多く、次いで18歳が23.9%、20歳が20.3%となっている。学校の種類別にみると18歳と19歳では短期大学が最も多く、それぞれ32.1%、44.4%となっている。

図 3-1 回答者の性別(単一回答)／学校の種類別

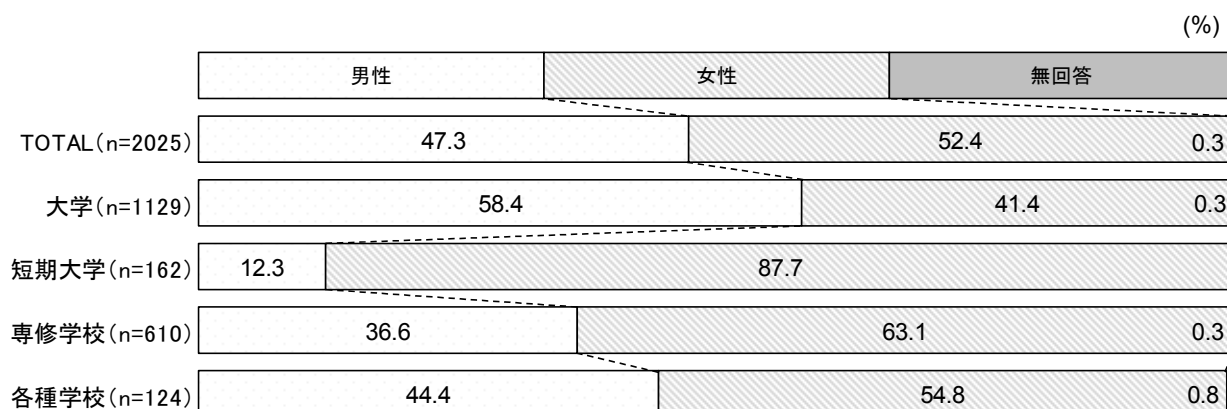


図 3-2 回答者の性別(単一回答)／学校の国公立・私立別

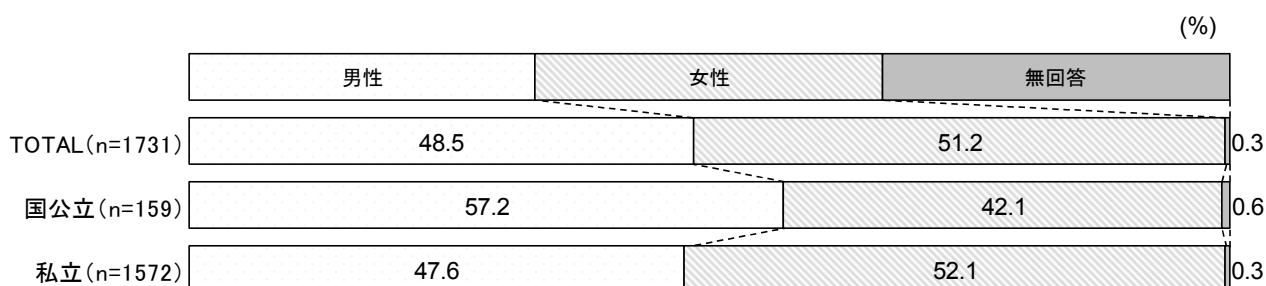
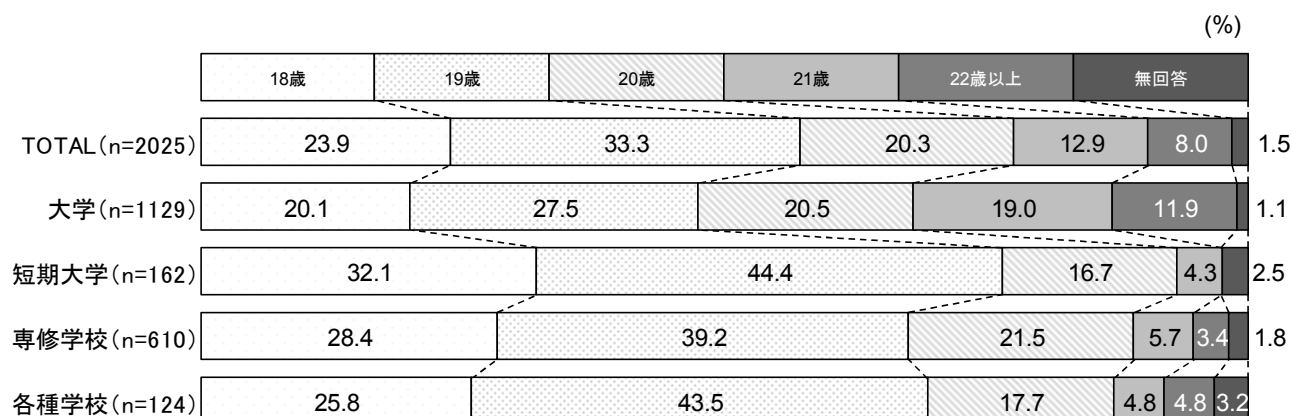


図 3-3 回答者の年齢(単一回答)／学校の種類別



【問2】 現在、同居しているご家族について、あなたから見た続柄でお答えください。(〇はいくつでも)

同居している家族については、回答者全体では、「母親」が最も多く 91.8%、次いで「妹」が 30.2%、「弟」が 29.8%となっている。「父親」は 16.0%にとどまっている。学校の種類別でみると、大学に通っている場合は、兄弟姉妹がいる割合が、他の学校よりも低くなっている。

同居家族人数（自分を除く）は、「2人」が 36.7%と最も高く、次いで「1人」が 35.7%、「3人」が 17.6%となっている。

図 3-4 家族続柄(複数回答)／学校の種類別

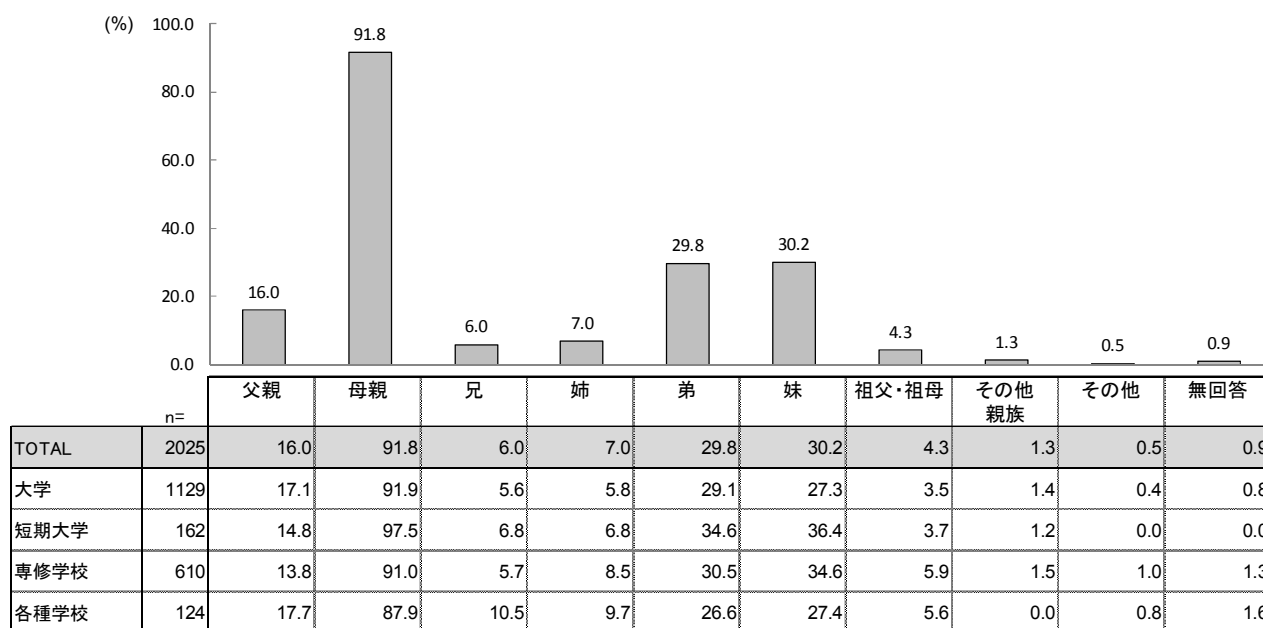
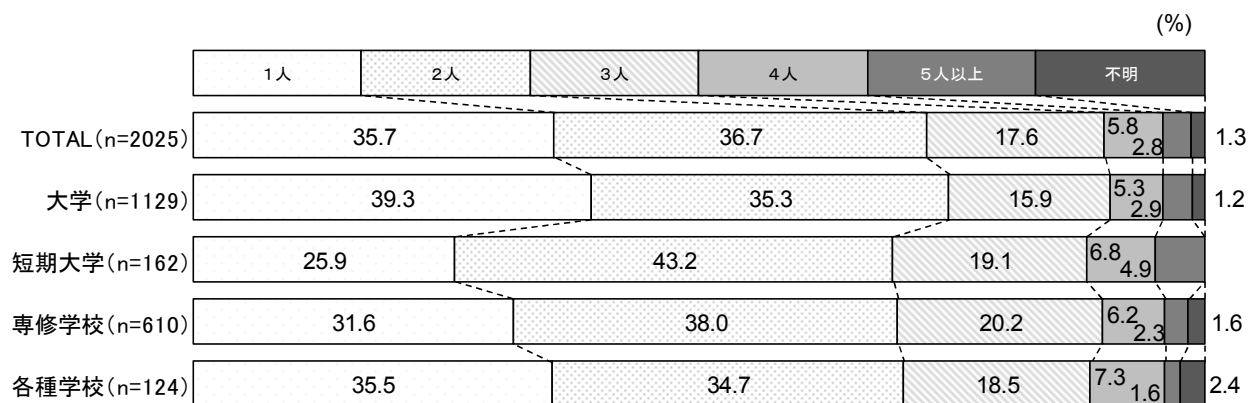


図 3-5 家族続柄(複数回答)／同居人数別

	n=	父親	母親	兄	姉	弟	妹	祖父・祖母	その他親族	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	16.0	91.8	6.0	7.0	29.8	30.2	4.3	1.3	0.5	0.9	
1人	723	6.6	89.6	0.1	0.3	1.2	0.7	3.0	0.0	0.1	0.0	
2人	744	16.9	94.6	7.3	7.7	33.6	34.5	5.0	0.8	0.4	0.0	
3人	356	21.9	94.9	10.7	13.8	57.3	61.5	5.6	2.8	0.0	0.0	
4人	118	33.9	95.8	19.5	17.8	78.0	67.8	5.1	5.9	0.8	0.0	
5人以上	57	54.4	98.2	10.5	21.1	86.0	89.5	3.5	5.3	0.0	0.0	
不明	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	22.2	70.4	

図 3-6 同居家族人数／学校の種類別



【問3】 現在通っている学校の種類と、あなたの学年をお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

現在通っている学校での学年は「1年生」が35.2%と最も多く、次いで「2年生」が26.3%、「3年生」が12.5%となっている。またこの調査全体で、90.8%が私立の学校に通っている。

図 3-7 通っている学校での学年(単一回答)／学校の種類別

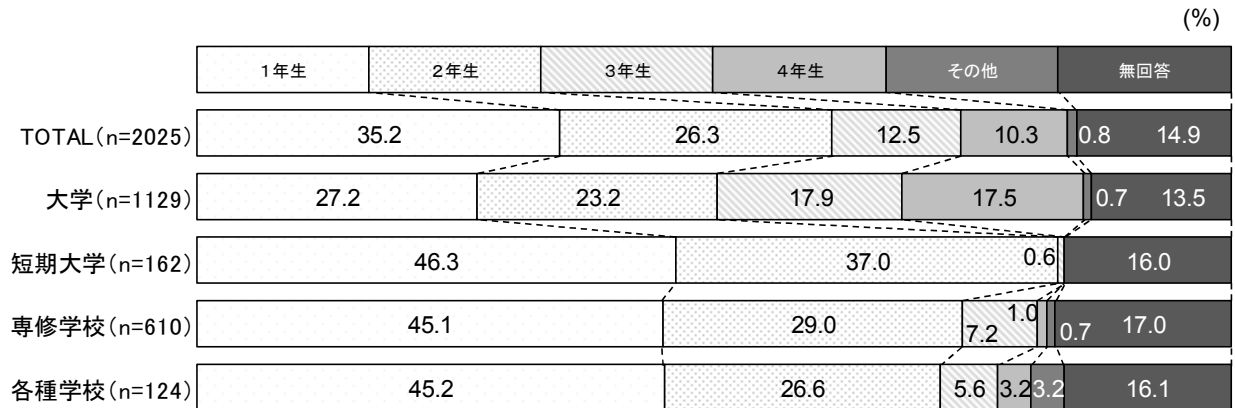
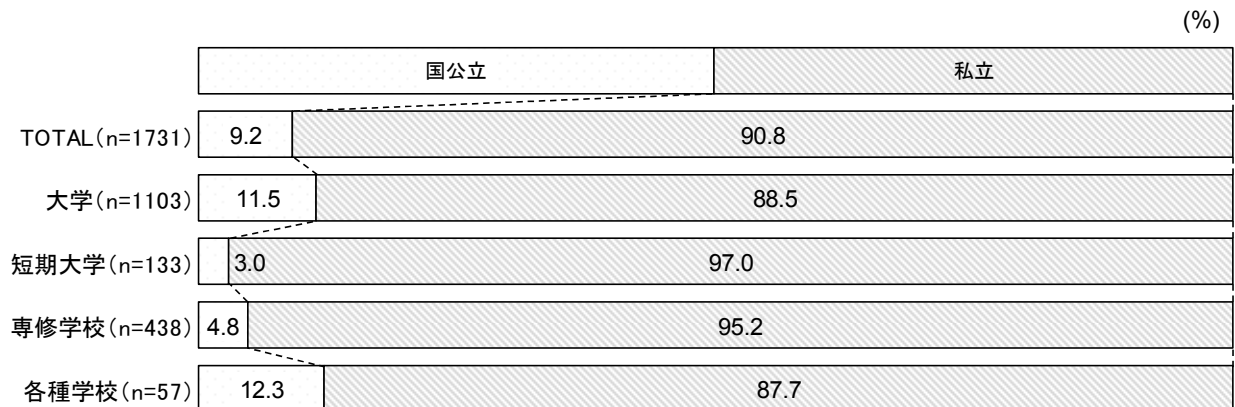


図 3-8 学校の国公立・私立別(単一回答)／学校の種類別



また、公立高校（全日制）や国立高校、私立高校（全日制）に通っていた人は、大学に進学している割合が5割以上と高いが、定時制高校や通信制高校に通っていた人は専修学校に通っている割合が高くなっている（公立の定時制・通信制で46.4%、私立の定時制・通信制で44.2%）。

高校等に進学する前（中学生以前）や高校等に進学するとき（進学先を考えたとき）から大学等への進学を検討していた人は大学に進学している人が6割を超えている。

図 3-9 通っている学校種類(単一回答)／通っていた高校の種類別

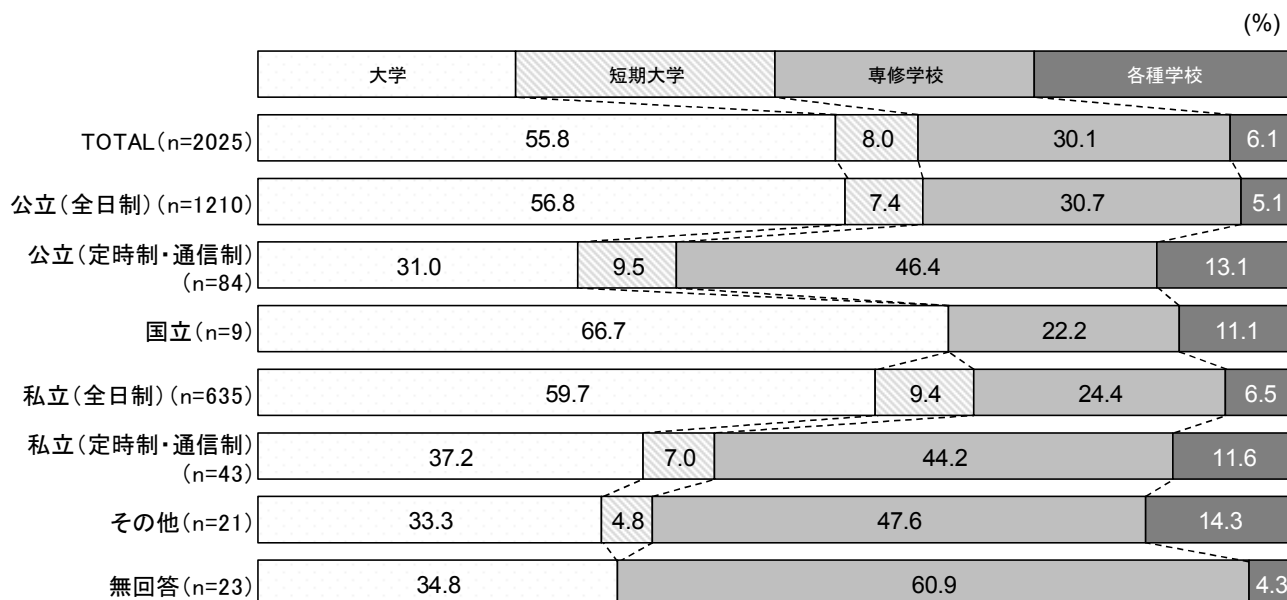
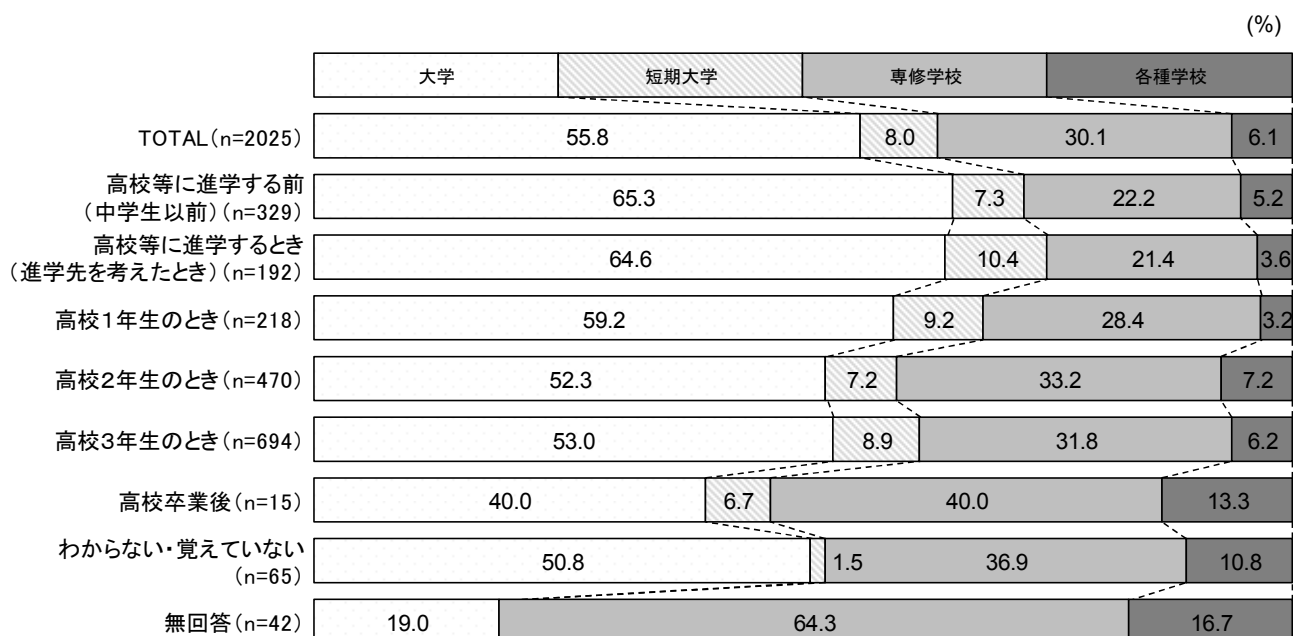


図 3-10 通っている学校種類(単一回答)／大学等への進学検討時期別



【問4】 現在通っている学校の学部(学科)、専門をお答えください。(〇は1つ)

現在通っている学校の学部(学科)については、大学では、「社会科学系」が38.3%と最も多く、次いで「人文科学系」が27.5%となっているが、短期大学では、「人文科学系」が30.9%と最も多く、次いで「医学・医療系」が14.2%となっている。

また、専修学校や各種学校では「医療関係」が29.0%と最も多く、次いで「教育・社会福祉関係」が11.3%となっている。

図 3-11 通っている大学・短期大学の学部(単一回答)／学校の種類別

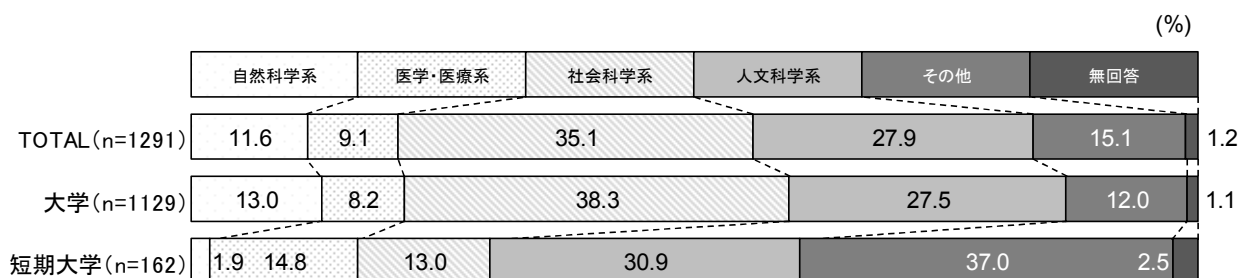


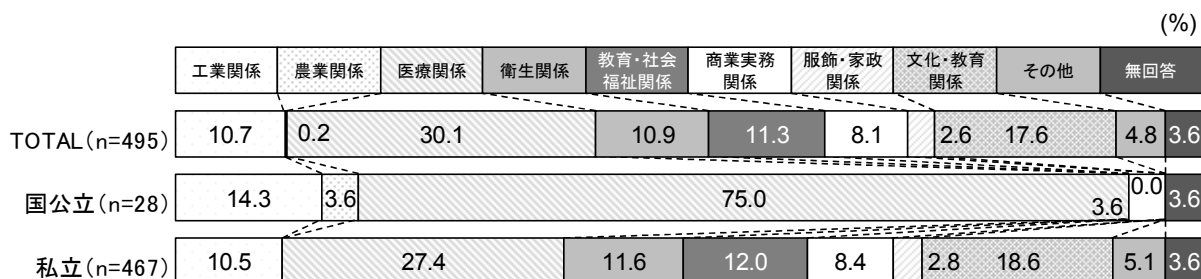
図 3-12 通っている大学・短期大学の学部(単一回答)／学校の国公立・私立別



図 3-13 通っている専修学校等の専門(単一回答)／学校の種類別



図 3-14 通っている専修学校等の専門(単一回答)／学校の国公立・私立別



【属性調査票 問1】世帯類型(○は1つ)

世帯類型については、「母子世帯」が55.4%と最も多く、次いで「その他の世帯」が20.9%、「傷病者世帯」が10.5%となっている。

通っている大学等の専門別にみると、母子世帯では、大学・短期大学では「医学・医療系」が62.8%と最も多く、専修学校等では「教育・社会福祉関係」や「衛生関係」が6割を超えている。

図 3-15 世帯類型(単一回答)／学校の種類別

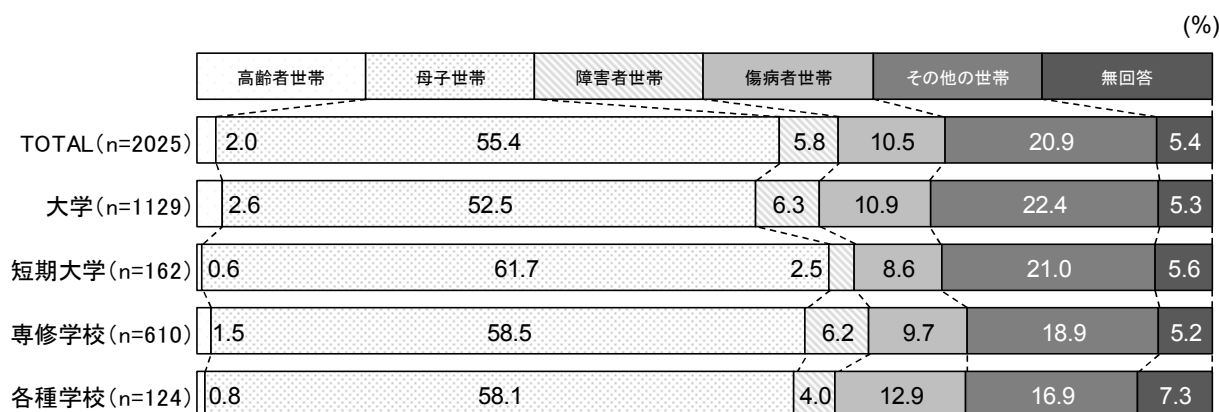
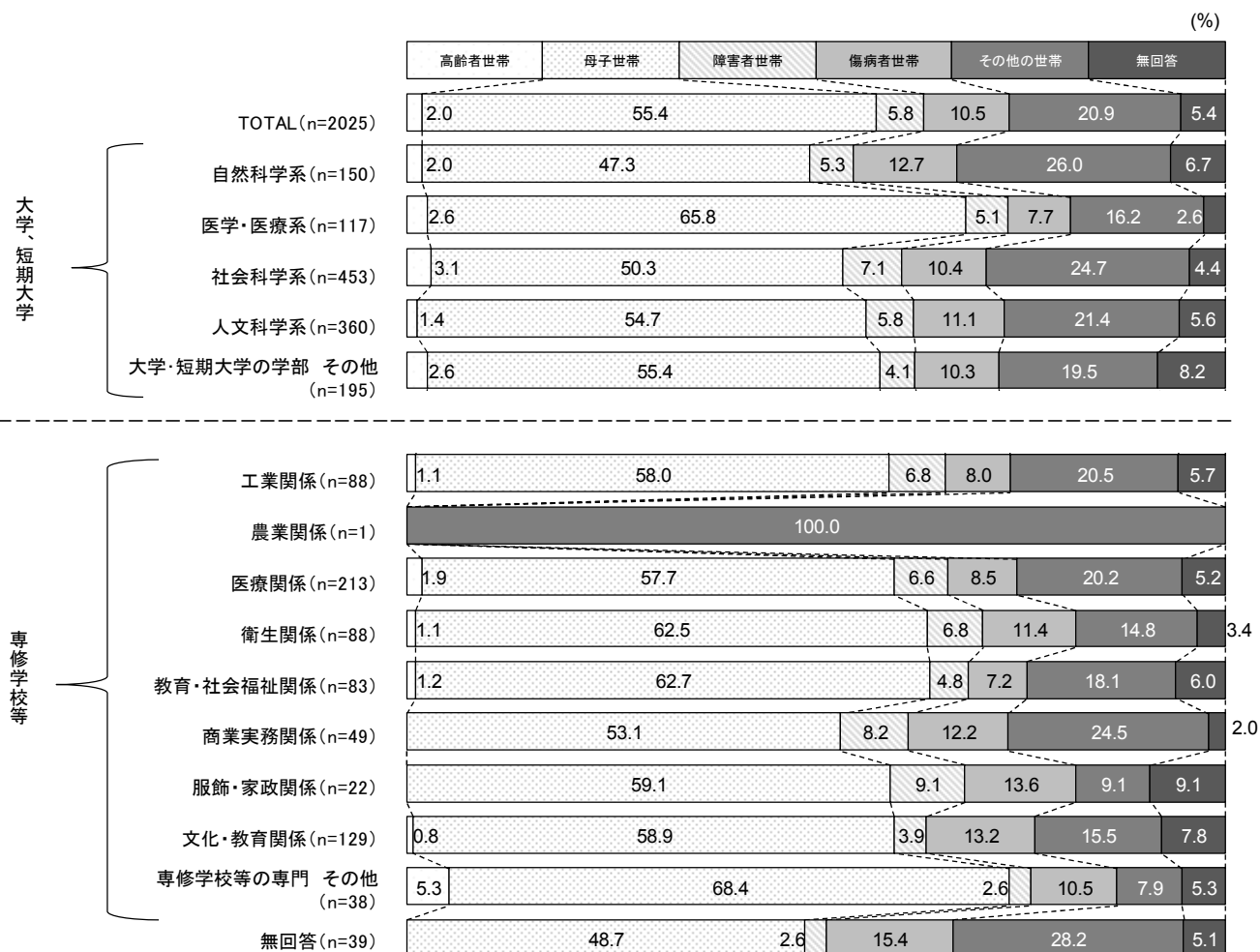


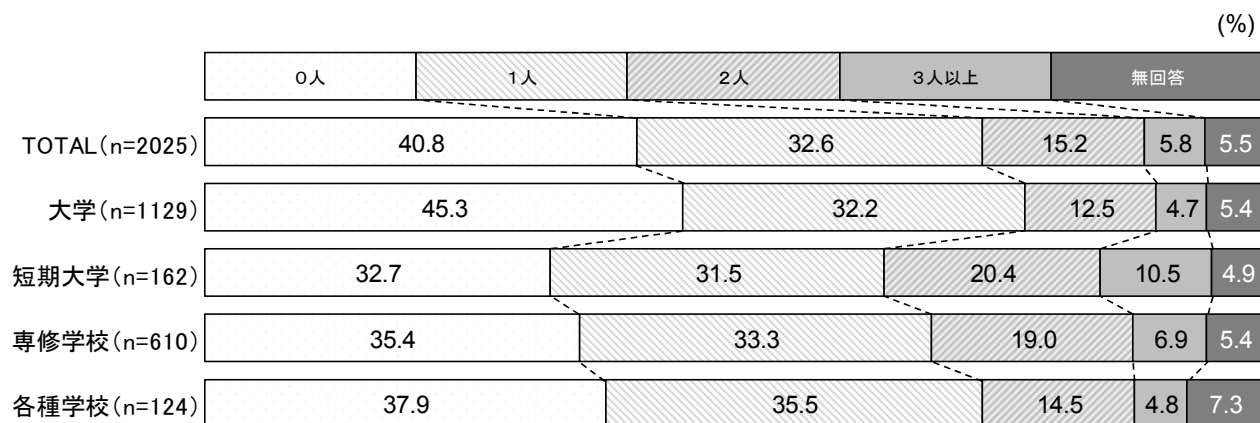
図 3-16 世帯類型(単一回答)／通っている大学・短期大学の学部、専修学校等の専門別



【属性調査票 問2】世帯人員のうち18歳以下の子供の数(○は1つ)

世帯の18歳以下の子供の人数は、「0人」が40.8%と最も多く、次いで「1人」が32.6%、「2人」が15.2%となっている。学校の種類別にみると、大学では「0人」が45.3%と多くなっているが、短期大学や専修学校では「2人」以上の割合が高くなっている。

図 3-17 18歳以下の子供の数(単一回答)/学校の種類別



【属性調査票 問3】世帯主の最終学歴(○は1つ)

世帯主の最終学歴は、「高卒」が48.8%と最も多く、次いで「中卒」が25.2%、「大学・短大・専門学校卒」が16.6%となっている。

奨学金利用の有無別にみると、奨学金等を利用している割合は「大学・短大・専門学校卒」で17.2%と高くなっている。

図 3-18 世帯主の最終学歴(単一回答)／学校の種類別

(%)

	中卒	高卒	大学・短大・専門学校卒	分からない	無回答
TOTAL (n=2025)	25.2	48.8	16.6	4.0	5.4
大学(n=1129)	25.0	48.0	16.9	4.7	5.4
短期大学(n=162)	26.5	50.0	17.3	1.2	4.9
専修学校(n=610)	25.6	50.0	15.6	3.6	5.2
各種学校(n=124)	24.2	48.4	17.7	2.4	7.3

図 3-19 世帯主の最終学歴(単一回答)／奨学金利用の有無別

(%)

	中卒	高卒	大学・短大・専門学校卒	分からない	無回答
TOTAL (n=2025)	25.2	48.8	16.6	4.0	5.4
奨学金等を利用している (n=1752)	25.4	48.5	17.2	3.8	5.1
奨学金等を利用していない (n=191)	24.6	49.2	14.1	5.2	6.8
無回答(n=82)	23.2	53.7	8.5	4.9	9.8

【属性調査票 問4】世帯主が子どもの時に生活保護を受給していたか(○は1つ)

世帯主が子供の時に生活保護を「受けていた」割合は3.4%、「受けていない」割合が74.2%となっている。

世帯主の最終学歴別にみると、世帯主が中卒の場合、子供の時に生活保護を「受けていた」割合が5.7%と高くなっている。

図 3-20 世帯主が子どもの時に生活保護を受給していたか(単一回答)／学校の種類別

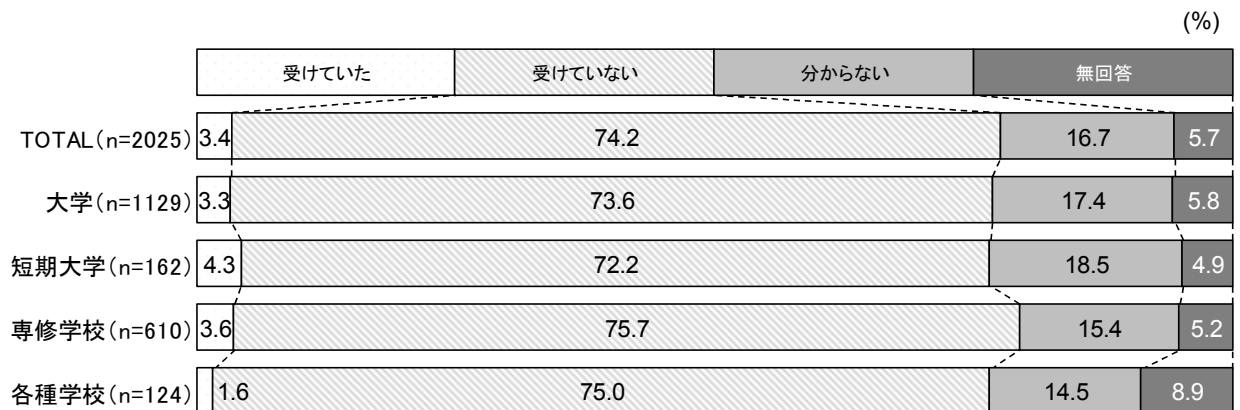
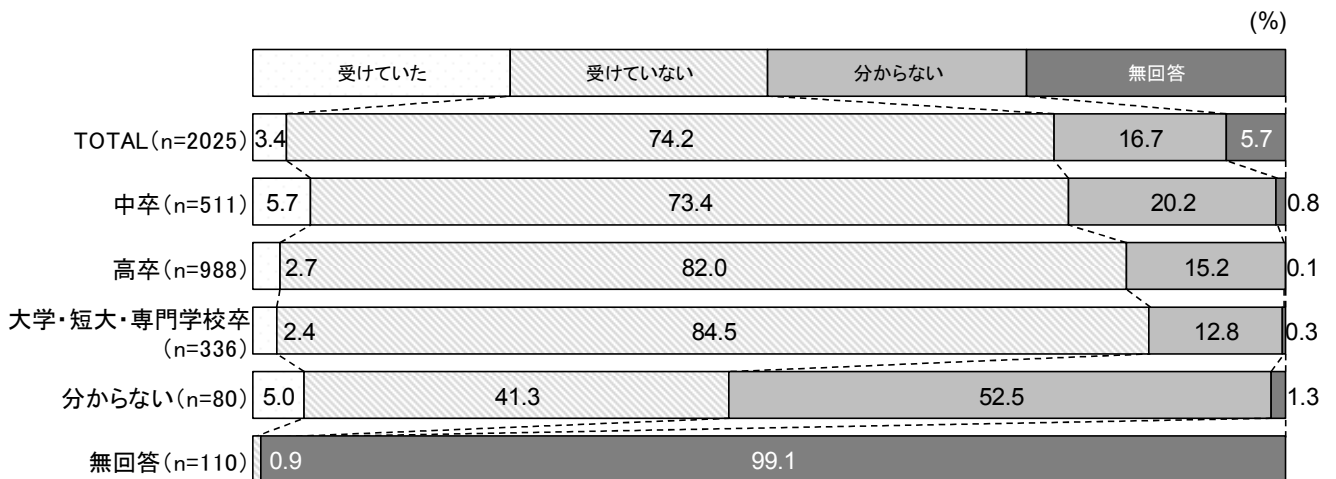


図 3-21 世帯主が子どもの時に生活保護を受給していたか(単一回答)／世帯主の最終学歴別



3-2. 現在の学校に通う前について

(1) 高校等への進学について

【問5】 あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。(それぞれ○は1つずつ)

通っていた高校の種類については、「公立（全日制）」が59.8%と最も多く、次いで「私立（全日制）」が31.4%となっている。学校の種類別にみると、専修学校や各種学校では、「公立（定時制・通信制）」に通っていた割合が他の学校よりも高くなっている。

また、通っていた高校の学科については、「普通科」が66.8%と最も多く、「総合学科」が7.3%、「商業科」が4.8%となっている。

図 3-22 通っていた高校の学校種類(単一回答)／学校の種類別

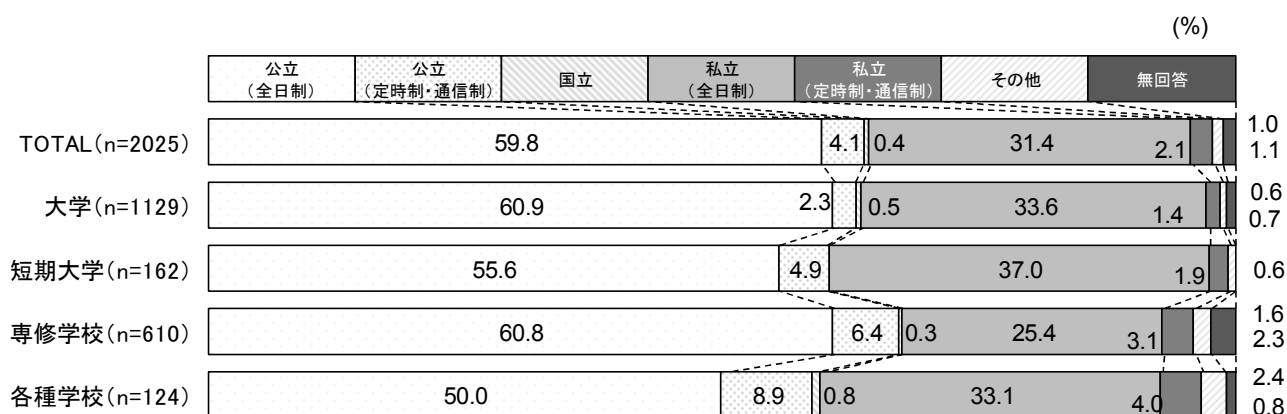
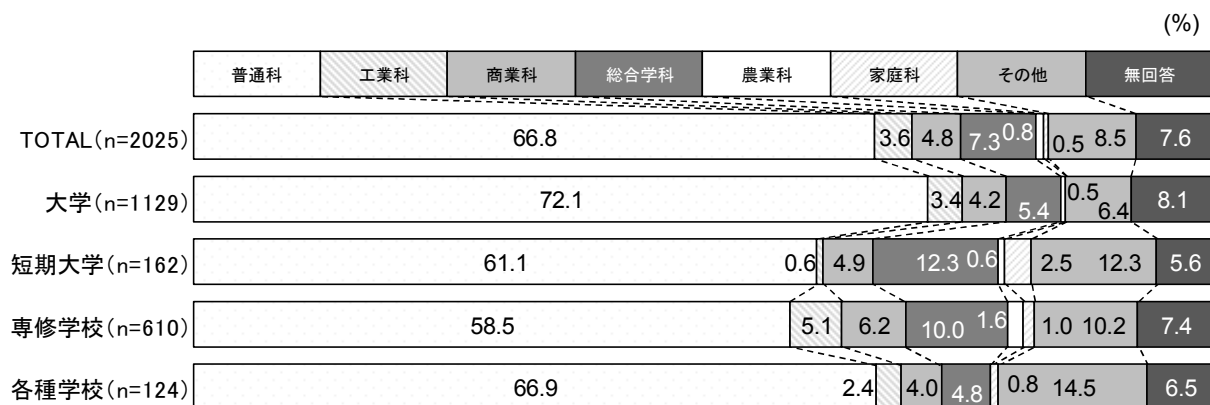


図 3-23 通っていた高校の学科(単一回答)／学校の種類別



【問6】 進学する高校等を決める際、経済的な理由で志望校を変えなければならなかったことがありますか。(〇は1つ)

進学する高校等を決める際に、「経済的な理由で進学先を変えたことはない」割合が 55.9%、「経済的な理由で進学先を変えた」割合が 21.3%となっている。学校の国公立・私立別でみると、私立大学等に通っているほうが「経済的な理由で進学先を変えた」割合が高くなっている。

通っていた高校の学校種類別にみると、公立の定時制高校・通信制高校の場合は、「経済的な理由で進学先を変えた」割合が 44.0%と、他の高校等に比べて高くなっている。

図 3-24 志望校変更理由(単一回答)/学校の種類別



図 3-25 志望校変更理由(単一回答)/学校の国公立・私立別

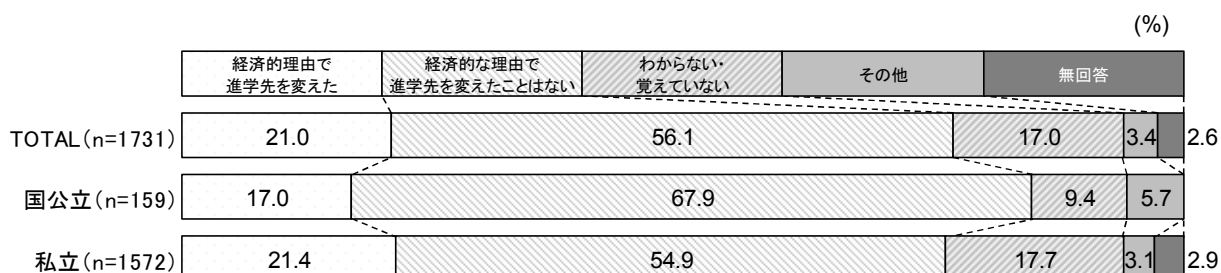
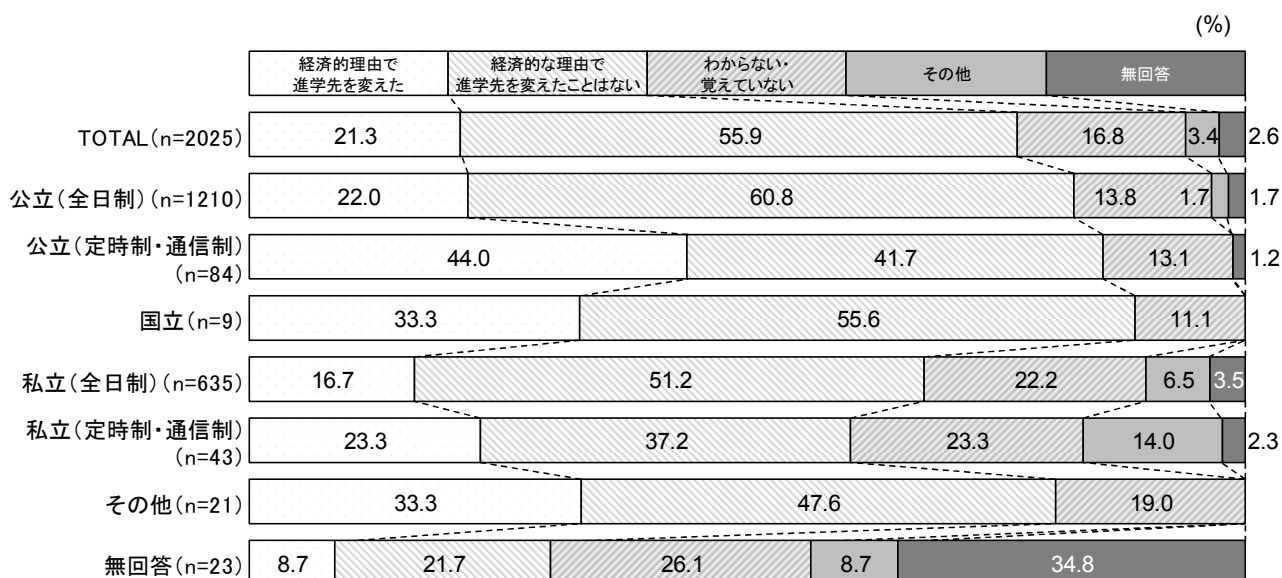


図 3-26 志望校変更理由(単一回答)/通っていた高校の学校種類別



大学進学時に生活保護費減額の影響が「大いに影響した」人は、進学する高校等を決める際に「経済的理由で進学先を変えた」割合が33.2%と高くなっている。

また、大学等進学時に、家族が本人の進学に関心がなかったり、特に支援・応援をしてくれなかった場合は、高校等への進学時にも「経済的理由で進学先を変えた」割合が高くなっている。

図 3-27 志望校変更理由(単一回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

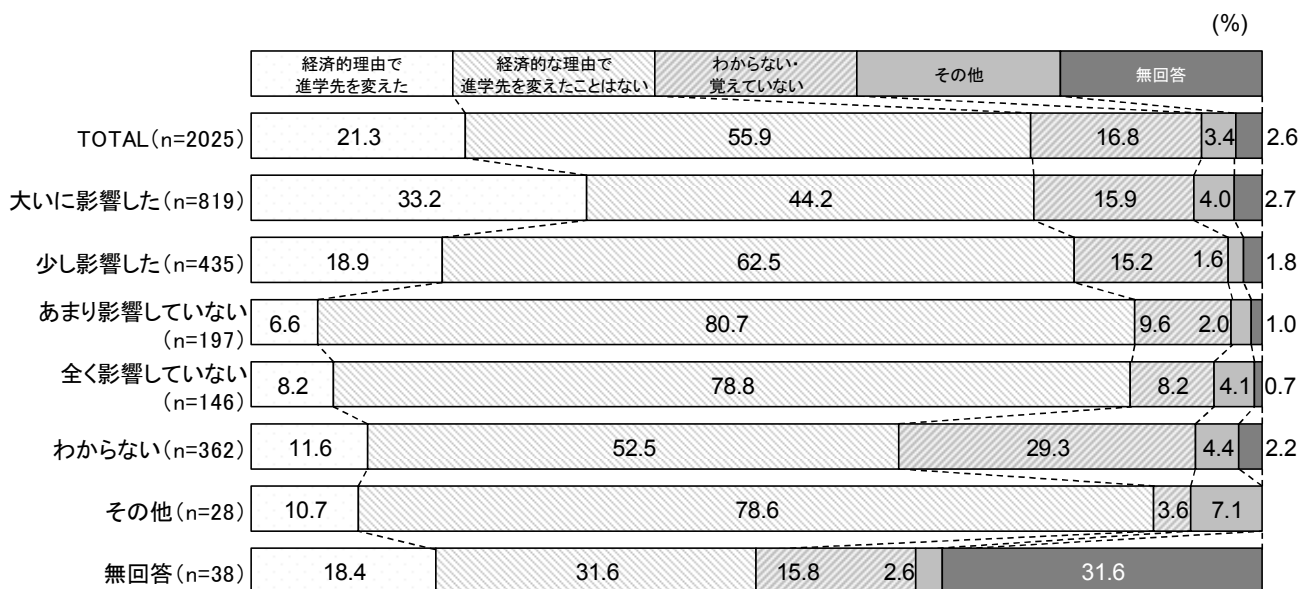
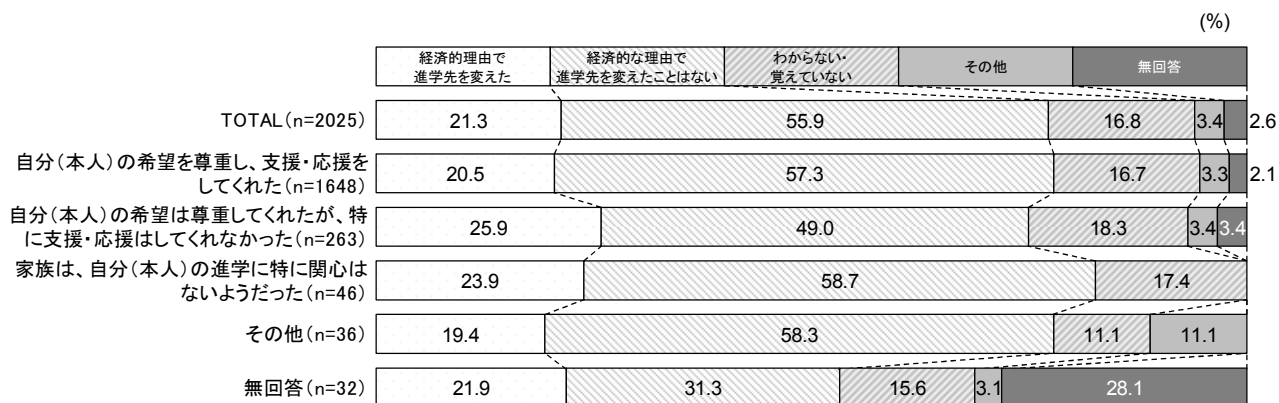


図 3-28 志望校変更理由(単一回答)／進学に関する家族の意向別



「その他」としては、「私立に行く事は経済的な負担がでるので志望校を合格できる安全圏まで落とした」、「特待の取れる私立校しかすべし止めに押さえられなかった」、「経済的なことで変えたわけではないが、少し意識はしていた」などの意見がみられた。

(2) 大学等への進学について

【問7】 大学等への進学を、具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。(〇は1つ)

大学等への進学検討時期については、「高校3年生のとき」が34.3%と最も多く、次いで「高校2年生のとき」が23.2%、「高校等に進学する前（中学生以前）」が16.2%となっている。学校の種類別にみると、大学では「高校等に進学する前」や「高校等に進学するとき」に考え始めた割合が高くなっている。

通っていた高校の学校種類別にみると、公立（全日制）では「高校2年生のとき」が26.5%、私立（全日制）では「高校1年生のとき」が12.6%と、他の高校等よりも高くなっている。

図 3-29 進学検討時期(単一回答)／学校の種類別

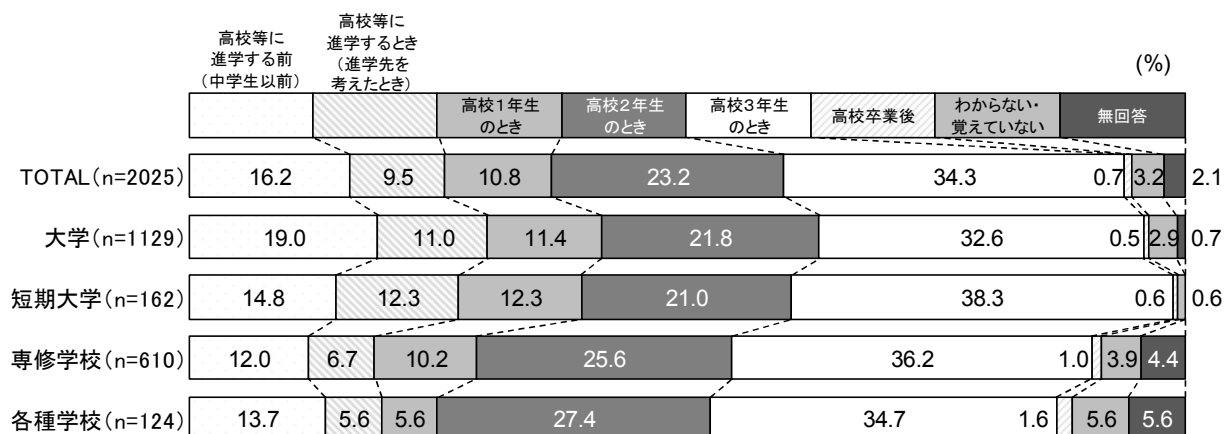


図 3-30 進学検討時期(単一回答)／学校の国公立・私立別

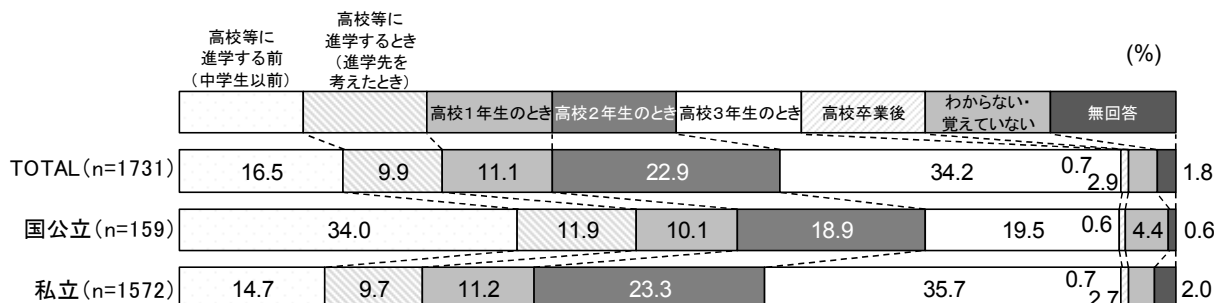
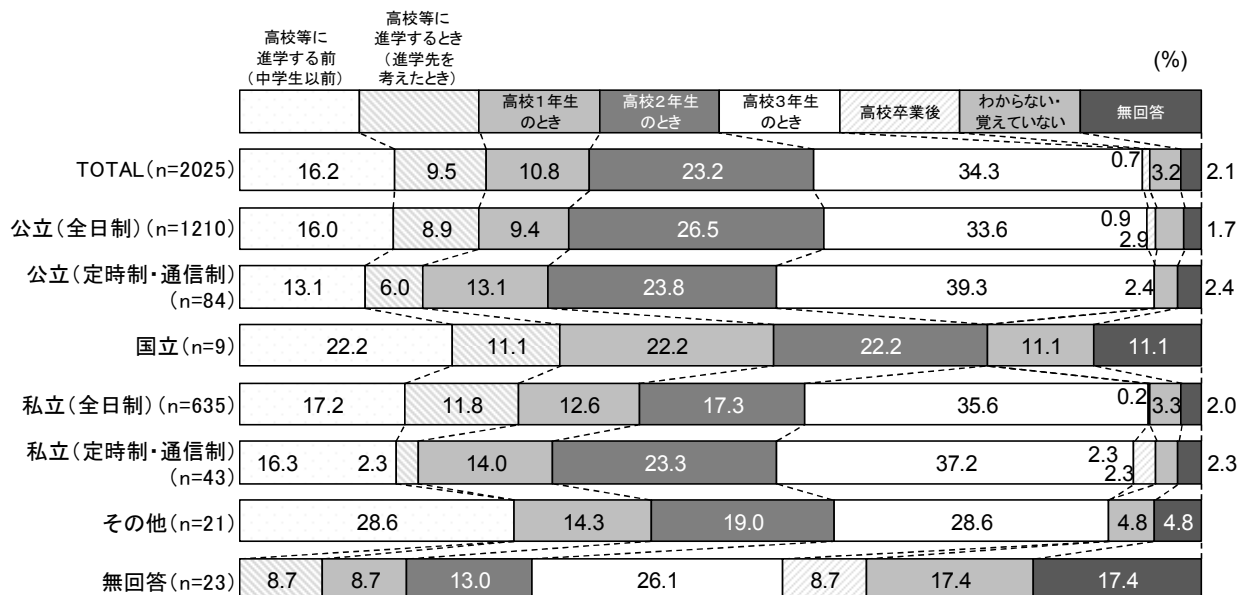


図 3-31 進学検討時期(単一回答)／通っていた高校の学校種類別



通っている大学等の専門別にみると、大学・短期大学では「医学・医療系」、専修学校等では「服飾・家政関係」で「高校等に進学する前（中学生以前）」の割合が高くなっている。

また世帯主の最終学歴別にみると、「高校等に進学するとき（進学先を考えたとき）」の割合が、世帯主が大学・短大・専門学校卒の場合は14.3%と高い一方、世帯主が中卒の場合は7.4%と低くなっている。

図 3-32 進学検討時期(単一回答)／通っている大学・短期大学の学部、専修学校等の専門別

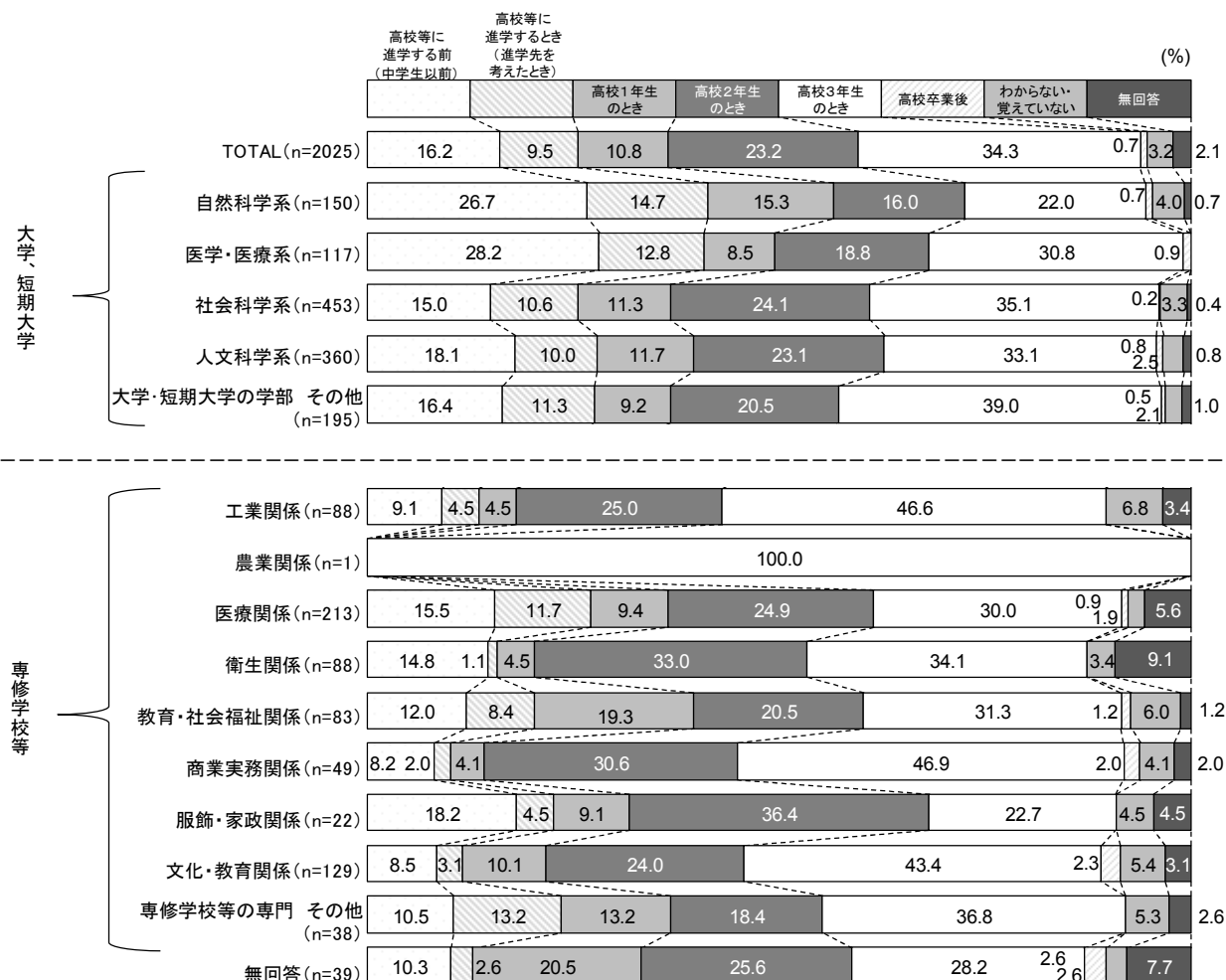
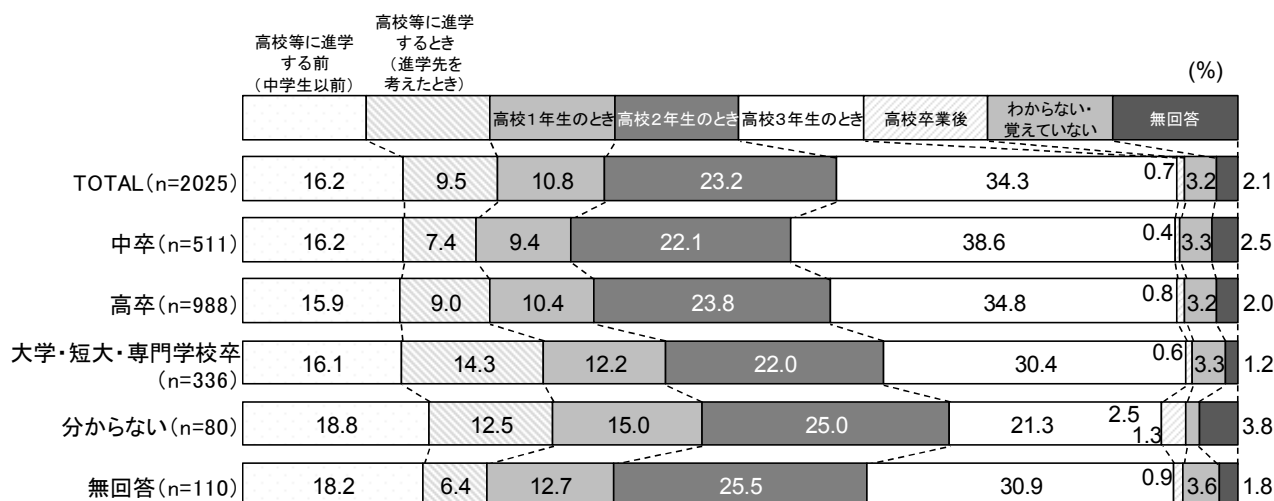


図 3-33 進学検討時期(単一回答)／世帯主の最終学歴別



【問8】あなたが大学等に進学すると、出身家庭に支給される生活保護費が減額される、ということが、進学するかを考える際に影響しましたか。(〇は1つ)

大学進学時の生活保護費減額の影響については、「大いに影響した」が40.4%、「少し影響した」が21.5%、「あまり影響していない」が9.7%、「全く影響していない」が7.2%となっている。

また、同居人数別にみると、同居人数が少ないほうが、生活保護費減額の影響が大きくなっている。

図 3-34 大学進学時の生活保護費減額の影響(単一回答)／学校の種類別

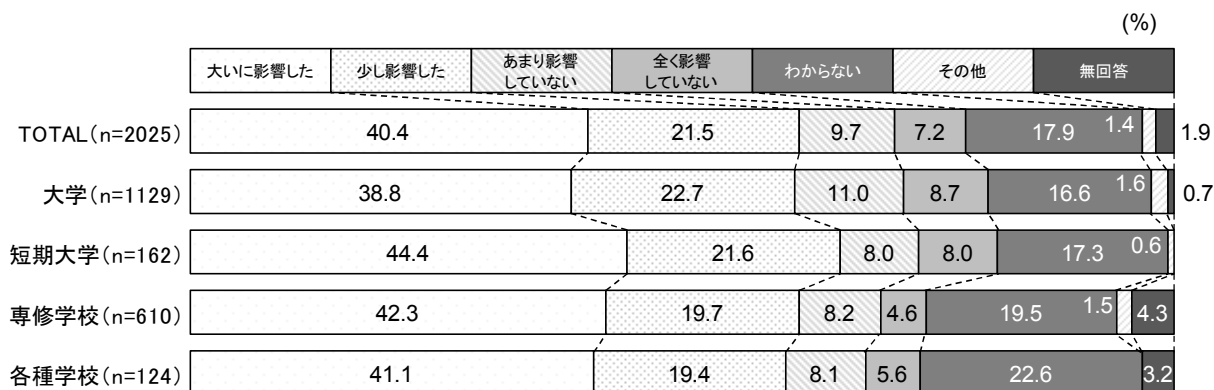


図 3-35 大学進学時の生活保護費減額の影響(単一回答)／学校の国公立・私立別

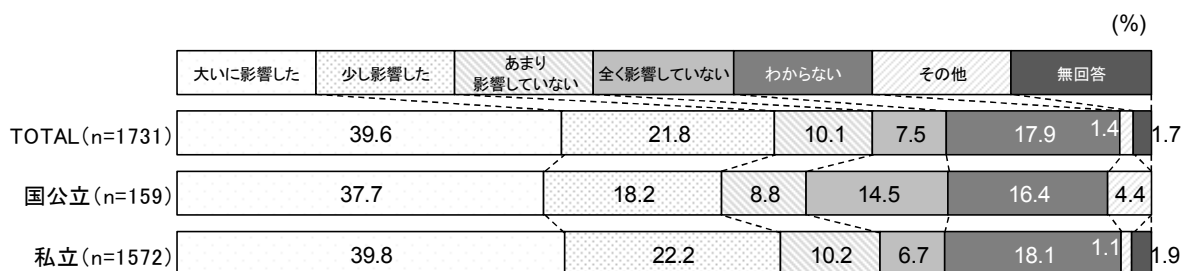
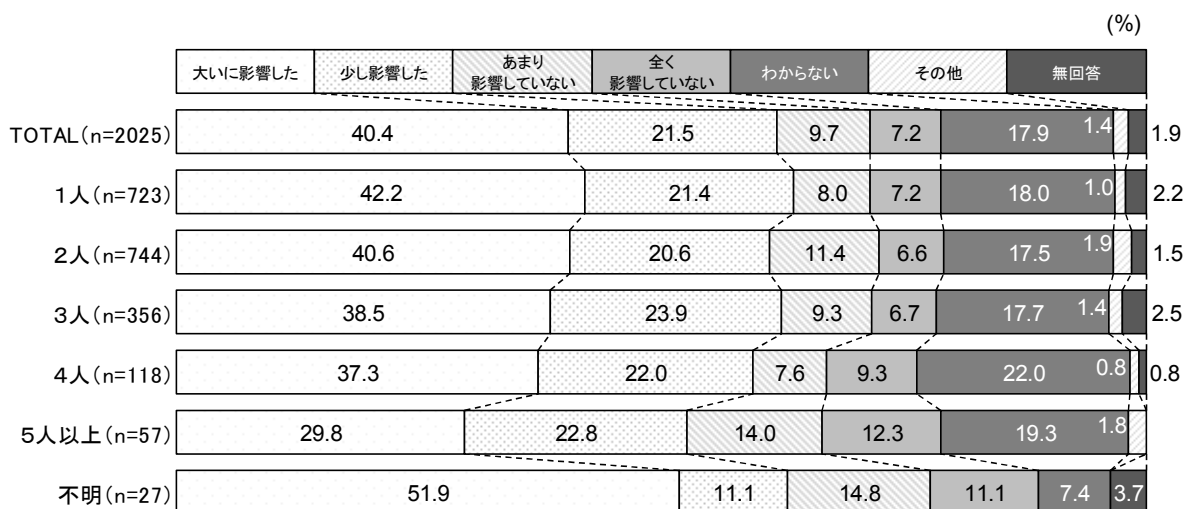


図 3-36 大学進学時の生活保護費減額の影響(単一回答)／同居人数別



「その他」としては、「知らなかった」、「大学に進学してから聞いた」、「知らされていたら影響していたかもしれない」という意見が多くみられた。

【問9】大学等に進学することを決めたのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

大学等への進学を決めた理由については、「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」が66.1%と最も多く、次いで「資格や免許を取得したいから」が51.3%となっている。学校の種類別にみると、大学では「幅広い教養を身につけたいから」「大卒等の学歴が得られるから」、短期大学や専修学校では「資格や免許を取得したいから」の割合が高くなっている。

図 3-37 進学決定理由(複数回答)/学校の種類別

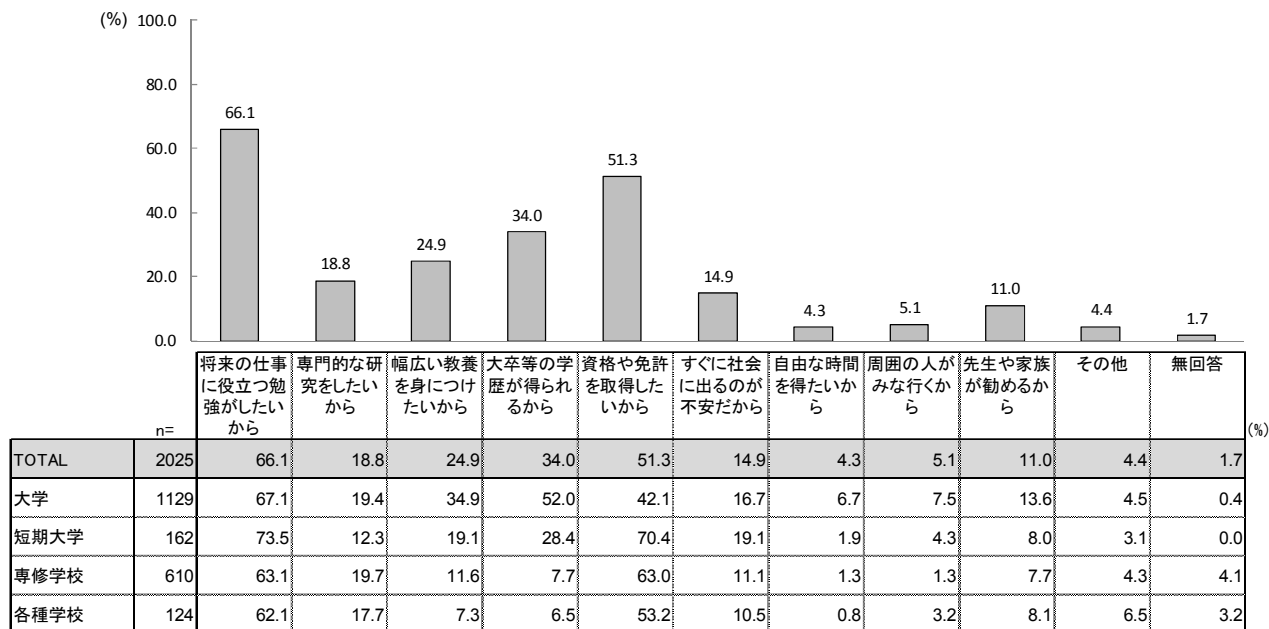


図 3-38 進学決定理由(複数回答)/通っている大学・短期大学の学部、専修学校等の専門別

		n=	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生や家族が勧めるから	その他	無回答
TOTAL		2025	66.1	18.8	24.9	34.0	51.3	14.9	4.3	5.1	11.0	4.4	1.7
大学、短期大学	自然科学系(理学部、農学部・獣医・畜産系学部・水産学部、工学部等)	150	71.3	40.7	35.3	49.3	30.0	14.7	5.3	12.0	14.0	2.0	0.0
	医学・医療系(医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等)	117	72.6	22.2	18.8	28.2	83.8	6.0	2.6	1.7	8.5	7.7	0.0
	社会科学系(法学部、経済学部・経営学部・商学部、国際関係学部、社会学部・社会福祉学部等)	453	66.4	9.5	36.4	58.7	32.5	20.3	9.5	7.7	14.1	3.5	0.4
	人文科学系(文学部、外国語学部、人文学部・教養学部・人間科学部、教育学部等)	360	66.9	16.4	34.2	48.6	53.9	17.8	3.9	6.1	13.9	3.3	0.3
	大学・短期大学の学部 その他	195	66.2	24.1	29.7	40.5	47.7	15.4	5.1	6.2	10.3	7.7	1.0
専修学校等	工業関係	88	64.8	26.1	10.2	13.6	58.0	14.8	2.3	1.1	15.9	3.4	4.5
	農業関係	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	医療関係	213	60.6	9.9	7.0	2.8	77.5	2.3	0.0	1.4	8.9	4.7	4.2
	衛生関係	88	62.5	22.7	13.6	3.4	71.6	12.5	0.0	1.1	0.0	5.7	8.0
	教育・社会福祉関係	83	68.7	12.0	7.2	6.0	80.7	9.6	1.2	0.0	7.2	2.4	1.2
	商業実務関係	49	61.2	14.3	10.2	26.5	51.0	20.4	0.0	0.0	14.3	0.0	2.0
	服飾・家政関係	22	77.3	40.9	22.7	4.5	36.4	18.2	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5
	文化・教育関係	129	62.0	29.5	14.7	8.5	35.7	18.6	3.9	3.1	3.9	7.0	1.6
専修学校等の専門 その他		38	63.2	23.7	10.5	7.9	36.8	7.9	2.6	5.3	7.9	10.5	5.3
無回答		39	66.7	17.9	20.5	15.4	56.4	17.9	2.6	7.7	7.7	2.6	5.1

3 調査結果 詳細

通っていた高校の学科別にみると、普通科では「大卒等の学歴が得られるから」が36.7%と高く、工業科では「専門的な研究をしたいから」「幅広い教養を身につけたいから」が他の学科よりも高くなっている。

また、世帯主の最終学歴別にみると、世帯主が大学・短大・専門学校卒の場合は、「幅広い教養を身につけたいから」の割合が30.7%と高くなっている。

図 3-39 進学決定理由(複数回答)／通っていた高校の学科別

	n=	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生や家族が勧めるから	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	66.1	18.8	24.9	34.0	51.3	14.9	4.3	5.1	11.0	4.4	1.7	
普通科	1353	66.3	18.3	25.5	36.7	49.7	15.6	4.9	5.9	11.4	4.4	1.1	
工業科	73	65.8	35.6	34.2	32.9	52.1	20.5	4.1	2.7	16.4	1.4	0.0	
商業科	98	62.2	16.3	26.5	35.7	49.0	13.3	8.2	0.0	11.2	6.1	6.1	
総合学科	148	65.5	18.9	20.9	33.1	57.4	17.6	2.0	2.7	8.8	3.4	2.0	
農業科	17	52.9	29.4	17.6	23.5	76.5	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	
家庭科	11	63.6	27.3	0.0	0.0	36.4	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	
その他	172	67.4	19.2	24.4	22.1	59.3	8.7	2.9	6.4	9.9	8.1	1.2	
無回答	153	67.3	15.0	21.6	27.5	49.7	11.8	2.0	4.6	9.2	2.0	5.2	

図 3-40 進学決定理由(複数回答)／世帯主の最終学歴別

	n=	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生や家族が勧めるから	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	66.1	18.8	24.9	34.0	51.3	14.9	4.3	5.1	11.0	4.4	1.7	
中卒	511	64.6	14.3	21.5	33.1	50.3	16.0	3.1	3.9	11.0	4.1	1.6	
高卒	988	66.0	19.4	23.9	33.9	51.6	14.2	4.6	5.6	10.3	4.1	1.9	
大学・短大・専門学校卒	336	66.7	19.6	30.7	34.5	54.2	13.4	4.8	5.4	12.8	5.1	1.2	
分からない	80	72.5	27.5	28.8	40.0	40.0	20.0	7.5	5.0	13.8	7.5	2.5	
無回答	110	67.3	25.5	30.0	32.7	52.7	16.4	4.5	6.4	10.0	4.5	0.9	

「その他」としては、「高卒で就職するより専門知識を身に付けてからのほうが、将来的に自分のためになり定職につけると考えた」、「大学卒のほうが給料が良いから」、「自分の夢を叶えるため」などの意見がみられた。

【問 10】現在の進学先を選んだのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

現在の進学先を選んだ理由については、「学びたい学部・学科・専攻があるから」が62.1%と最も多く、次いで「資格や免許が取れるから」が42.8%、「自分の学力を考えて」が28.6%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「自分の学力を考えて」「推薦入学があったから」、短期大学では「資格や免許が取れるから」、専修学校では「就職実績が優れているから」「資格や免許が取れるから」、各種学校では「就職実績が優れているから」の割合が高くなっている。

図 3-41 進学先志望理由(複数回答)／学校の種類別

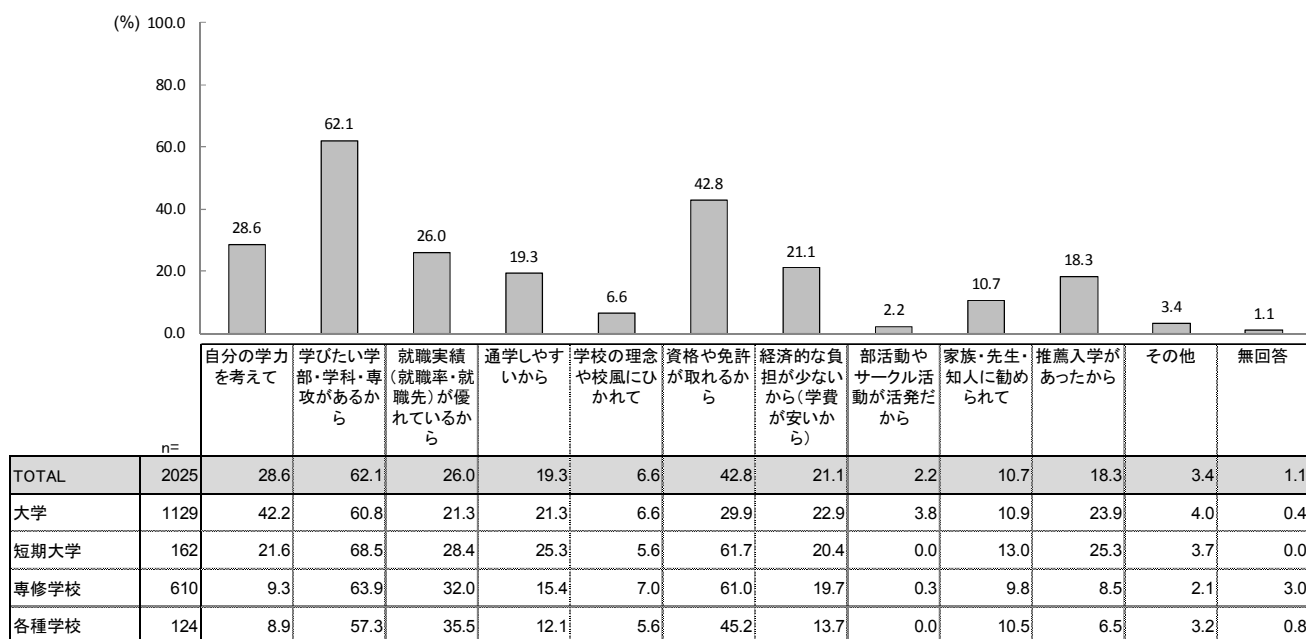


図 3-42 進学先志望理由(複数回答)／学校の国公立・私立別

	n=	自分の学 力を考えて	学びたい学 部・学科・専 攻があるか ら	就職実績 (就職率・就 職先)が優 れているか ら	通学しやす いから	学校の理 念や校風に ひかれて	資格や免 許が取れる から	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先 生・知人に 勧められて	推薦入学 があったか ら	その他	無回答	(%)
TOTAL	1731	31.2	61.9	24.6	19.8	6.4	40.0	21.0	2.5	10.8	19.6	3.5	1.1	
国公立	159	47.2	55.3	20.8	27.0	3.8	36.5	75.5	1.9	18.9	13.2	3.8	0.0	
私立	1572	29.6	62.6	25.0	19.0	6.6	40.3	15.5	2.5	10.0	20.3	3.5	1.2	

3 調査結果 詳細

通っていた高校の学校種類別にみると、公立（全日制）では「自分の学力を考えて」「通学しやすい」、公立（定時制・通信制）では「家族・先生・知人に勧められて」、私立（全日制）では「推薦入学があるから」、私立（定時制・通信制）では「就職実績が優れている」ことを志望理由としている割合が高くなっている。

図 3-43 進学先志望理由(複数回答)／通っている大学・短期大学の学部、専修学校等の専門別

		n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績(就職率・就職先)が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから(学費が安いから)	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	推薦入学があったから	その他	無回答	(%)
TOTAL		2025	28.6	62.1	26.0	19.3	6.6	42.8	21.1	2.2	10.7	18.3	3.4	1.1	
大学、短期大学	自然科学系(理学部、農学部、獣医・畜産系学部・水産学部、工学部等)	150	55.3	60.7	27.3	21.3	4.7	16.0	27.3	2.0	9.3	14.7	2.7	0.0	
	医学・医療系(医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等)	117	18.8	80.3	18.8	22.2	3.4	73.5	16.2	0.0	10.3	24.8	5.1	0.0	
	社会科学系(法学部、経済学部・経営学部、商学部、国際関係学部、社会学部・社会福祉学部等)	453	46.6	46.1	24.7	22.5	7.1	19.4	26.5	5.3	12.1	27.2	4.2	0.2	
	人文科学系(文学部、外国語学部、人文学部・教養学部・人間科学部、教育学部等)	360	41.1	70.6	17.2	22.5	6.9	42.5	22.2	2.2	10.3	23.3	3.6	0.3	
	大学・短期大学の学部 その他	195	21.5	71.3	23.6	19.0	6.7	39.5	14.4	3.6	12.8	25.1	4.6	0.5	
	専修学校等														
専修学校等	工業関係	88	9.1	62.5	47.7	13.6	2.3	56.8	11.4	0.0	11.4	9.1	2.3	3.4	
	農業関係	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	医療関係	213	14.6	46.0	24.9	17.4	3.3	75.1	27.7	0.0	14.6	12.2	2.3	3.8	
	衛生関係	88	1.1	68.2	35.2	9.1	9.1	72.7	14.8	1.1	3.4	8.0	3.4	3.4	
	教育・社会福祉関係	83	6.0	68.7	20.5	28.9	8.4	74.7	22.9	0.0	10.8	8.4	0.0	1.2	
	商業実務関係	49	6.1	55.1	63.3	24.5	8.2	51.0	18.4	0.0	16.3	8.2	2.0	0.0	
	服飾・家政関係	22	9.1	81.8	27.3	4.5	22.7	36.4	22.7	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	
	文化・教育関係	129	10.1	80.6	31.8	9.3	9.3	31.0	11.6	0.8	5.4	3.1	3.9	0.8	
	専修学校等の専門 その他	38	7.9	76.3	28.9	5.3	10.5	26.3	7.9	0.0	0.0	2.6	2.6	5.3	
	無回答	39	17.9	56.4	28.2	10.3	7.7	48.7	15.4	2.6	12.8	15.4	0.0	5.1	

図 3-44 進学先志望理由(複数回答)／通っていた高校の学校種類別

		n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績(就職率・就職先)が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから(学費が安いから)	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	推薦入学があったから	その他	無回答	(%)
TOTAL		2025	28.6	62.1	26.0	19.3	6.6	42.8	21.1	2.2	10.7	18.3	3.4	1.1	
公立(全日制)		1210	32.1	63.5	25.9	21.6	6.9	42.0	22.7	1.9	10.7	17.4	3.3	1.2	
公立(定時制・通信制)		84	23.8	61.9	27.4	20.2	3.6	53.6	23.8	0.0	19.0	13.1	2.4	0.0	
国立		9	11.1	44.4	33.3	22.2	0.0	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
私立(全日制)		635	25.0	59.8	24.4	16.2	6.1	41.7	17.6	3.1	9.3	21.9	3.8	0.8	
私立(定時制・通信制)		43	16.3	55.8	46.5	7.0	9.3	53.5	23.3	0.0	16.3	16.3	2.3	2.3	
その他		21	19.0	76.2	47.6	14.3	4.8	71.4	19.0	0.0	19.0	9.5	4.8	0.0	
無回答		23	0.0	60.9	8.7	4.3	13.0	26.1	13.0	8.7	8.7	4.3	0.0	13.0	

図 3-45 進学先志望理由(複数回答)／進学検討時期別

		n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績(就職率・就職先)が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから(学費が安いから)	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	推薦入学があったから	その他	無回答	(%)
TOTAL		2025	28.6	62.1	26.0	19.3	6.6	42.8	21.1	2.2	10.7	18.3	3.4	1.1	
高校等に進学する前(中学生以前)		329	38.6	68.1	28.6	23.7	10.3	44.7	28.9	1.5	10.6	15.2	5.8	0.0	
高校等に進学するとき(進学先を考えたとき)		192	38.5	65.1	33.3	26.6	8.3	47.9	21.9	1.6	8.3	21.4	3.1	0.0	
高校1年生のとき		218	31.2	67.9	26.6	21.6	6.9	40.4	21.1	1.8	8.7	22.0	2.8	0.5	
高校2年生のとき		470	26.2	68.5	27.7	17.7	6.6	45.7	21.5	1.7	9.1	17.7	3.0	0.0	
高校3年生のとき		694	24.1	56.8	22.8	17.6	4.8	41.6	17.6	3.3	13.4	20.6	3.0	0.3	
高校卒業後		15	6.7	40.0	33.3	20.0	13.3	46.7	33.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	
わからない・覚えていない		65	24.6	38.5	21.5	7.7	3.1	26.2	21.5	1.5	10.8	7.7	3.1	3.1	
無回答		42	7.1	33.3	7.1	2.4	0.0	26.2	7.1	0.0	4.8	2.4	0.0	42.9	

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響した人は「就職実績が優れている」「経済的な負担が少ない」という理由で大学等の進学先を志望している。

進学に関する家族の意向別では、本人の希望を尊重し支援・応援をしてくれる場合は「自分の学力を考えて」「就職実績が優れている」、家族から支援・応援がなかった場合は「経済的な負担が少ない」の割合が高くなっている。

図 3-46 進学先志望理由(複数回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

	n=	自分の学力 を考えて	学びたい学 部・学科・専 攻があるか ら	就職実績 (就職率・就 職先)が優 れているか ら	通学しやす いから	学校の理念 や校風にひ かれて	資格や免許 が取れるか ら	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先生・ 知人に勧め られて	推薦入学が あったから	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	28.6	62.1	26.0	19.3	6.6	42.8	21.1	2.2	10.7	18.3	3.4	1.1	
大いに影響した	819	27.5	63.5	29.7	19.3	7.2	45.2	25.2	2.4	10.4	18.7	3.7	0.1	
少し影響した	435	33.1	67.1	26.9	20.2	6.2	45.3	20.0	2.5	11.5	19.3	2.8	0.0	
あまり影響していない	197	31.5	66.5	21.8	21.8	8.6	44.7	20.3	1.0	9.6	19.8	4.1	0.5	
全く影響していない	146	30.8	59.6	26.0	21.2	4.8	36.3	17.8	2.1	11.6	20.5	2.1	1.4	
わからない	362	26.2	55.2	21.8	16.9	5.8	37.6	14.9	2.5	10.8	15.5	2.5	0.3	
その他	28	21.4	60.7	14.3	21.4	7.1	53.6	42.9	0.0	14.3	17.9	17.9	0.0	
無回答	38	5.3	28.9	5.3	7.9	0.0	18.4	7.9	0.0	7.9	10.5	2.6	47.4	

図 3-47 進学先志望理由(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	自分の学力 を考えて	学びたい学 部・学科・専 攻があるか ら	就職実績 (就職率・就 職先)が優 れているか ら	通学しやす いから	学校の理念 や校風にひ かれて	資格や免許 が取れるか ら	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先生・ 知人に勧め られて	推薦入学が あったから	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	28.6	62.1	26.0	19.3	6.6	42.8	21.1	2.2	10.7	18.3	3.4	1.1	
自分(本人)の希望を尊重 し、支援・応援してくれた	1648	29.6	63.0	27.5	19.6	6.7	44.2	20.8	2.2	11.2	18.6	3.1	0.1	
自分(本人)の希望は尊重 してくれたが、特に支援・応 援はしてくれなかった	263	26.2	65.4	22.8	17.9	7.6	37.3	26.2	1.9	6.5	19.0	3.0	0.4	
家族は、自分(本人)の進 学に関心はないよう だった	46	26.1	50.0	8.7	19.6	0.0	32.6	13.0	0.0	6.5	13.0	8.7	2.2	
その他	36	25.0	52.8	16.7	27.8	5.6	52.8	27.8	5.6	27.8	22.2	11.1	0.0	
無回答	32	3.1	15.6	6.3	3.1	0.0	15.6	3.1	3.1	6.3	3.1	3.1	59.4	

「その他」としては、「志望校に受からなかったため」、「奨学金が受けられたため」、「特待生制度があったから」、「推薦ならば受験勉強の時間をアルバイトにあてることができるから」といった意見がみられた。

【問 11】進路に関する相談は、主に誰に対して行っていましたか。(〇は1つ)

主な進路相談者については、「親（祖父母等の家族、親戚）」が 65.3%と最も多く、次いで「学校の先生や職員」が 42.1%となっている。学校の種類別にみると、大学では「学校の先生や職員」、専修学校や各種学校では「親」の割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援をしてくれる場合は「親」、支援・応援がなかった場合や家族の関心が高かった場合は「学校の先生や職員」に相談している割合が高くなっている。

図 3-48 主な進路相談者(複数回答)／学校の種類別

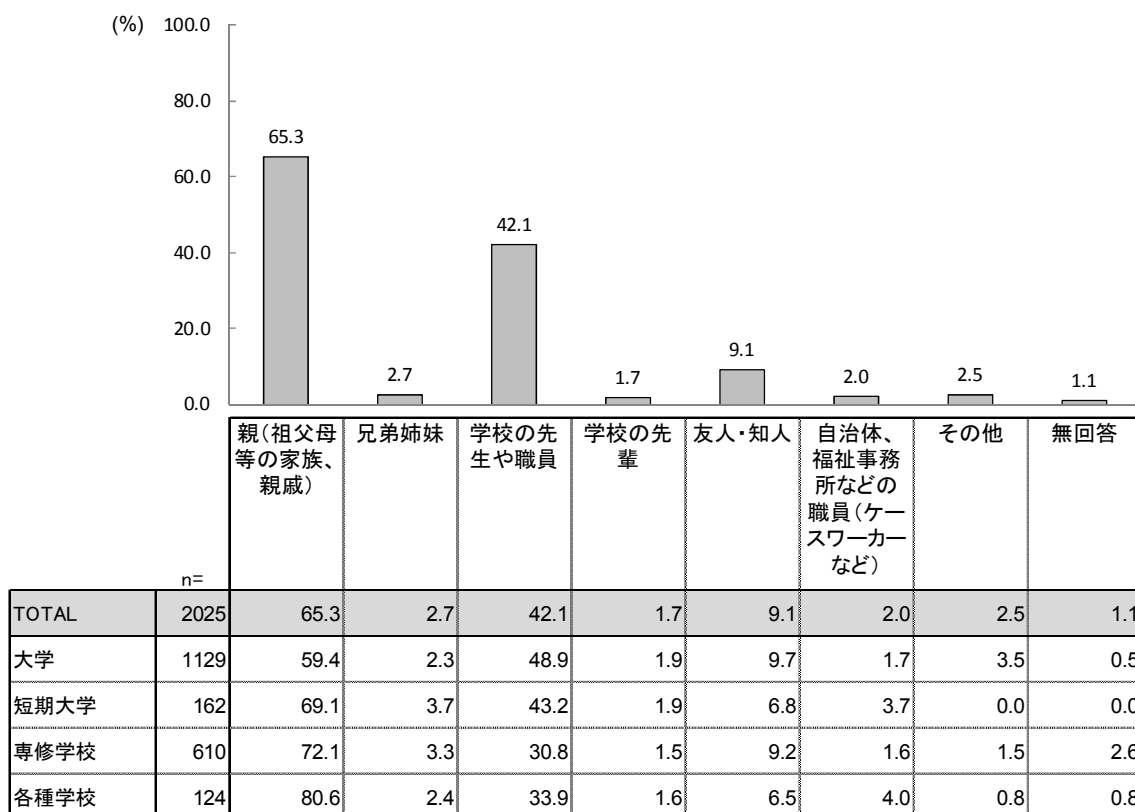


図 3-49 主な進路相談者(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	親(祖父母等の家族、親戚)	兄弟姉妹	学校の先生や職員	学校の先輩	友人・知人	自治体、福祉事務所などの職員(ケースワーカーなど)	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	65.3	2.7	42.1	1.7	9.1	2.0	2.5	1.1	
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた	1648	71.3	3.0	40.4	1.6	8.7	1.8	1.9	0.1	
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	263	42.2	1.9	49.8	3.0	11.4	3.4	4.9	0.4	
家族は、自分(本人)の進路に特に関心はないようだった	46	19.6	0.0	63.0	0.0	13.0	2.2	8.7	4.3	
その他	36	55.6	2.8	52.8	2.8	8.3	2.8	5.6	0.0	
無回答	32	25.0	0.0	21.9	0.0	6.3	0.0	0.0	56.3	

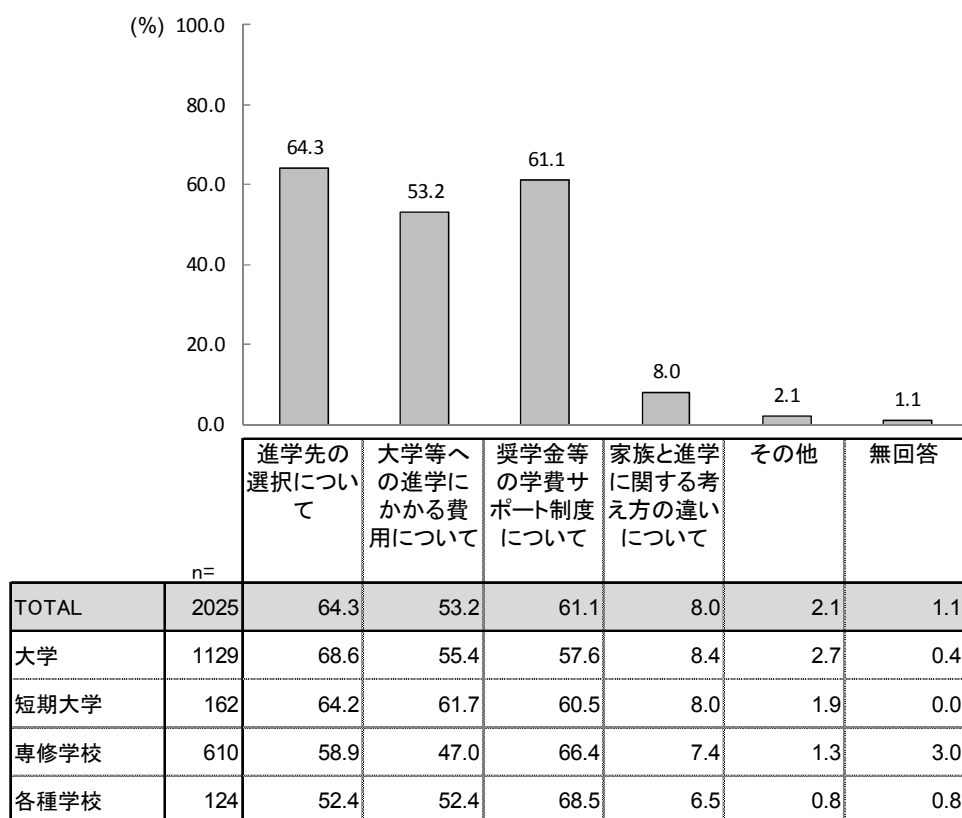
「その他」としては、「誰にも相談せず自分で決めた」、「他人にはほとんど相談せず自分で考えた」といった意見が多くみられた。このほか、「塾や予備校の先生」、「アルバイト先の人」といった意見もみられた。

【問 12】 進路に関して、どのようなことを相談していましたか。(〇はいくつでも)

進路についての相談内容については、「進学先の選択について」が 64.3%と最も多く、次いで「奨学金等の学費サポート制度について」が 61.1%、「大学等への進学にかかる費用について」が 53.2%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「進学先の選択について」、短期大学では「大学等への進学にかかる費用について」、専修学校や各種学校では「奨学金等の学費サポート制度について」の割合が高くなっている。

図 3-50 進路相談内容(複数回答)／学校の種類別



3 調査結果 詳細

大学進学時の生活保護費減額の影響が大きい場合は、進学に係る費用や学費サポート制度への関心が高くなっている。

図 3-51 進路相談内容(複数回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

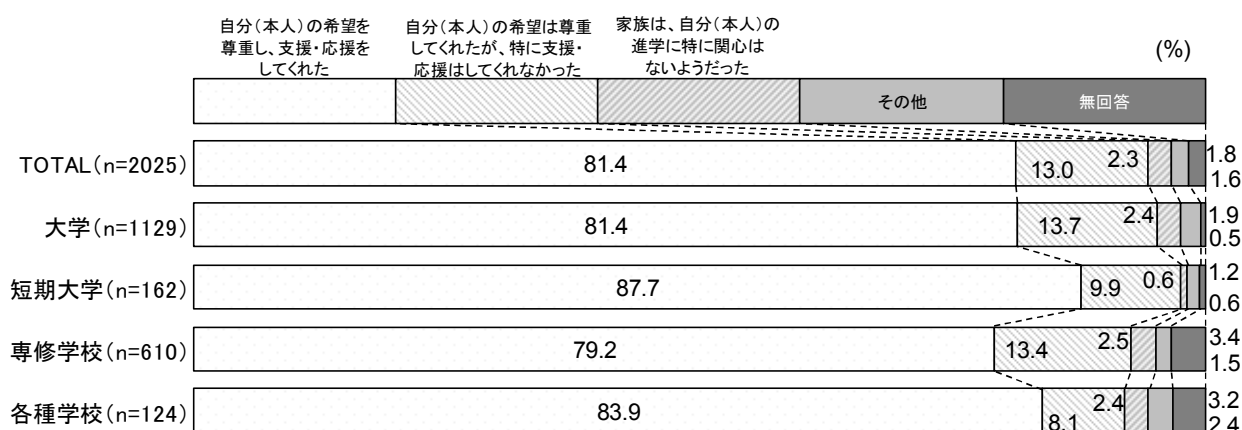
	n=	進学先の 選択につ いて	大学等へ の進学に かかる費 用について	奨学金等 の学費サ ポート制 度について	家族と進学 に関する考 え方の違 いについて	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	64.3	53.2	61.1	8.0	2.1	1.1	
大いに影響した	819	61.1	67.0	70.8	9.2	1.0	0.0	
少し影響した	435	71.5	52.6	62.5	7.1	2.8	0.0	
あまり影響していない	197	64.5	39.6	55.3	7.1	3.6	0.5	
全く影響していない	146	64.4	41.8	50.7	2.7	4.1	0.7	
わからない	362	67.7	39.2	48.9	8.8	1.9	0.6	
その他	28	53.6	53.6	53.6	3.6	3.6	0.0	
無回答	38	28.9	10.5	28.9	10.5	2.6	50.0	

「その他」としては、「相談はしていない」との回答が多くみられた。

【問 13】 大学等への進学について、ご家族はどのようなお考え・態度だったでしょうか。(〇は1つ)

進学に関する家族の意向については、「自分の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた」が 81.4%と最も多く、次いで「自分の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった」が 13.0%となっている。

図 3-52 進学に関する家族の意向(単一回答)／学校の種類別



「その他」としては、「費用に関して注文をつけられたが支援・応援はしてくれた」、「自分の希望は尊重したり応援はしてくれたが経済的には無理だった」といった意見がみられた。

【問 14】[ご家族が支援・応援をしてくれた方にお聞きします]大学等への進学について、ご家族からはどのような支援・応援がありましたか。(〇はいくつでも)

進学に対する家族からの支援・応援については、「進学にかかる費用について調べてくれた」が 56.7%と最も多く、次いで「進学先の相談にのってくれた」が 55.2%、「希望する進学先について調べてくれた」が 40.0%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた」、短期大学では「進学にかかる費用について調べてくれた」、専修学校では「進学先の相談にのってくれた」割合が高くなっている。

図 3-53 進学に対する家族支援(複数回答)／学校の種類別

	n=	希望する進学先について調べてくれた	進学にかかる費用について調べてくれた	進学先の相談にのってくれた	進学先についてアドバイスくれた	家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた	その他	無回答	(%)
TOTAL	1648	40.0	56.7	55.2	18.6	13.5	4.3	0.4	
大学	919	39.1	54.0	52.8	18.0	15.7	5.5	0.7	
短期大学	142	45.1	66.2	54.2	16.2	10.6	2.8	0.7	
専修学校	483	39.5	57.8	59.2	19.3	11.6	3.1	0.0	
各種学校	104	43.3	63.5	58.7	25.0	7.7	1.0	0.0	

「その他」としては、「入学費の用意をしてくれた。(子ども課を通して保健所から貸入を準備してくれた。）」、「塾に行かせてくれたり、模試代を出してもらえた」、「勉強しやすい環境づくりをしてくれた」、「オープンキャンパスに母が一緒に行ってくれた」などの意見がみられた。

【問 15】 大学等への進学について、ご家族から経済的な話をされましたか。(〇は1つ)

進学に関する経済的な説明については、「できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしい」という旨の話をされた」が 41.4%と最も多く、次いで「経済面を気にせず進学してほしい」という旨の話をされた」が 23.7%、「家族からは、特に話はされなかった」が 19.2%となっている。

学校の国公立・私立別にみると、国公立では「できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしい」という旨の話をされた」、私立では「経済面を気にせず進学してほしい」という旨の話をされた」の割合が高くなっている。

図 3-54 進学に関する経済的な説明(単一回答)／学校の種類別

	「経済面を気にせず 進学してほしい」 という旨の話をされた	「できるだけ経済的な 負担がかからない 進学をしてほしい」 という旨の話をされた	経済的な理由で 進学を反対された (「進学をあきらめて ほしい」という旨の 話をされた)	家族からは、 特に話はされなかった	その他	無回答	(%)
TOTAL (n=2025)	23.7	41.4	5.2	19.2	8.0	2.7	
大学 (n=1129)	24.8	40.3	4.6	20.1	8.2	1.9	
短期大学 (n=162)	25.9	44.4	6.2	15.4	6.2	1.9	
専修学校 (n=610)	21.3	41.6	6.4	19.0	7.5	4.1	
各種学校 (n=124)	21.8	46.0	3.2	16.1	9.7	3.2	

図 3-55 進学に関する経済的な説明(単一回答)／学校の国公立・私立別

	「経済面を気にせず 進学してほしい」 という旨の話をされた	「できるだけ経済的な 負担がかからない 進学をしてほしい」 という旨の話をされた	経済的な理由で 進学を反対された (「進学をあきらめて ほしい」という旨の 話をされた)	家族からは、 特に話はされなかった	その他	無回答	(%)
TOTAL (n=1731)	24.1	41.0	5.2	19.2	7.9	2.6	
国公立 (n=159)	11.3	61.6	1.9	17.6	6.9	0.6	
私立 (n=1572)	25.4	38.9	5.5	19.3	8.0	2.8	

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響した世帯では、「できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしい」という旨の話をされた」割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援がなかったり関心がない場合は、「経済的な理由で進学を反対された（「進学をあきらめてほしい」という旨の話をされた）」割合が高くなっている。

図 3-56 進学に関する経済的な説明(単一回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

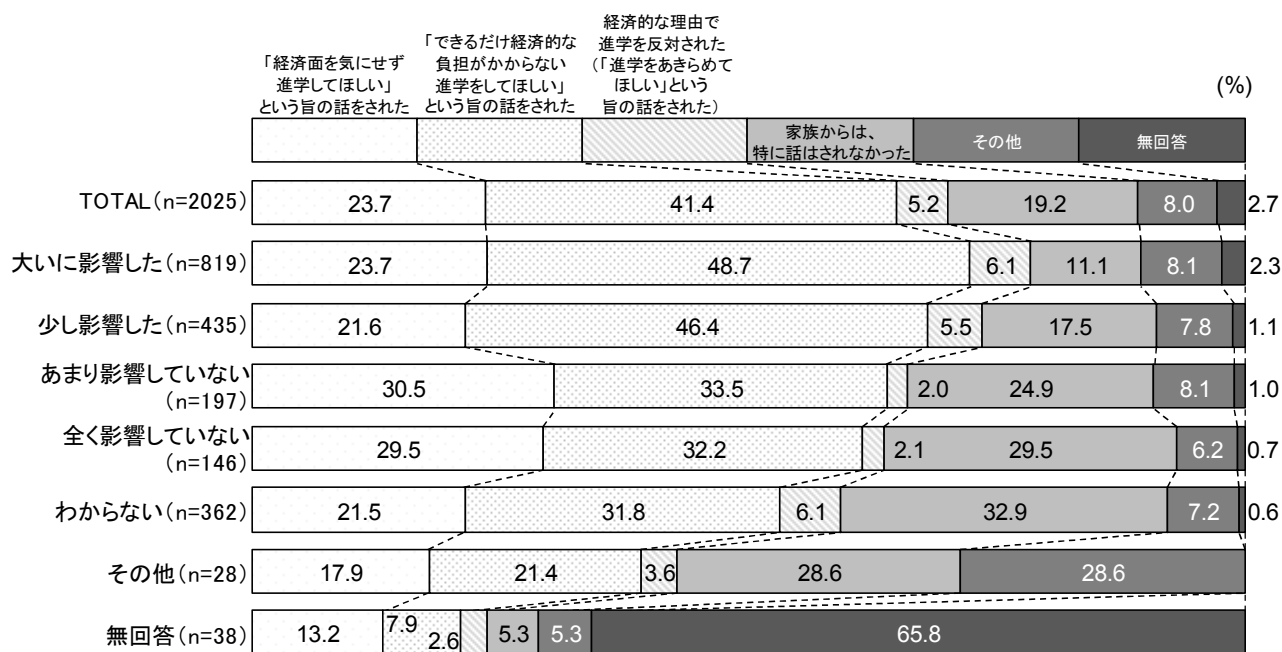
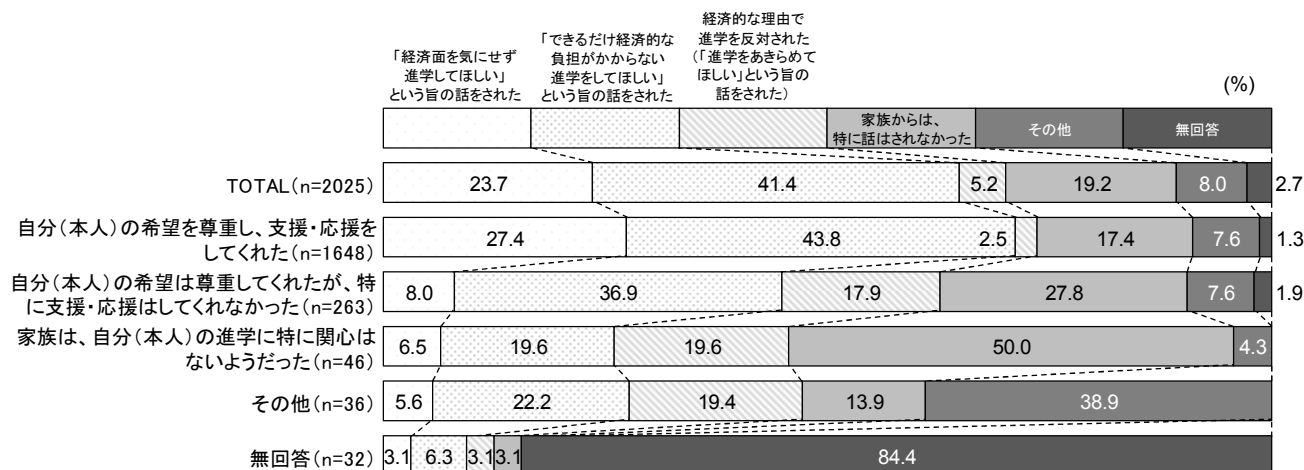


図 3-57 進学に関する経済的な説明(単一回答)／進学に関する家族の意向別



「その他」としては、「自分で賄うように言われた」との意見が多くみられ、具体的には、「自分で払えるならば進学してよいと言われた」、「大学には進学するよう言われたが、経済負担は自分でするよう言われた」との意見がみられた。このほか、「進学した場合は、奨学金、アルバイトと学業を両立させる必要があるが、できるかと確認された」、「経済的には苦しいが、好きな道を進んでほしい。計画的に返済しようと言われた」などの意見もみられた。

(3) 受験に関することについて

【問 16】 受験勉強はどのように進めましたか。(〇はいくつでも)

受験勉強の進め方については、「学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした」が 60.2%と最も多く、次いで「学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした」が 27.0%、「模擬試験を受けた」が 19.7%となっている。

受験学校学部数別にみると、2校(2学部)以上受験した人は「参考書などを購入して勉強した」、「塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした」の割合が高くなっている。

図 3-58 受験勉強の進め方(複数回答)／学校の種類別

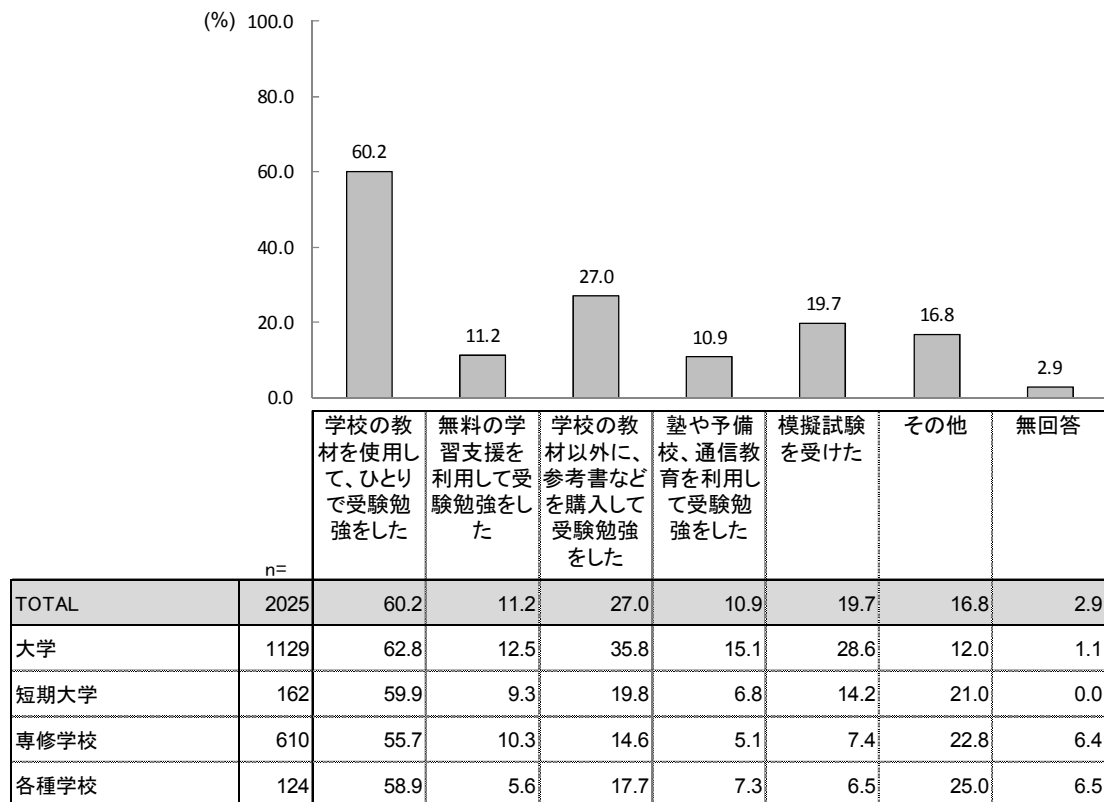


図 3-59 受験勉強の進め方(複数回答)／受験学校学部数別

	n=	学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした	無料の学習支援を利用して受験勉強をした	学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした	塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした	模擬試験を受けた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	60.2	11.2	27.0	10.9	19.7	16.8	2.9	
1校(1学部)のみ	1412	61.5	10.6	18.7	5.8	10.1	21.3	2.5	
2校(2学部)	277	61.7	14.4	45.1	15.2	37.2	7.6	1.1	
3校(3学部)	179	55.9	10.1	45.8	28.5	43.6	6.1	0.6	
4校(4学部)	72	54.2	13.9	50.0	26.4	56.9	5.6	1.4	
5校(5学部)	36	61.1	8.3	66.7	30.6	52.8	0.0	0.0	
6校(6学部)以上	23	52.2	13.0	69.6	69.6	65.2	8.7	0.0	
無回答	26	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	73.1	

進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援をしてくれる場合は「塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした」「模擬試験を受けた」割合が高くなっている。

世帯主の最終学歴別にみると、世帯主が中卒の場合は「学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした」、世帯主が大学・短大・専門学校卒の場合は「塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした」「模擬試験を受けた」割合が高くなっている。

図 3-60 受験勉強の進め方(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした	無料の学習支援を利用して受験勉強をした	学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした	塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした	模擬試験を受けた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	60.2	11.2	27.0	10.9	19.7	16.8	2.9	
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた	1648	60.6	11.3	27.9	11.8	20.9	16.1	2.3	
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしなかった	263	63.9	11.0	25.1	6.5	14.8	17.9	1.9	
家族は、自分(本人)の進学に関心はないようだった	46	50.0	13.0	21.7	8.7	13.0	26.1	6.5	
その他	36	44.4	8.3	19.4	11.1	22.2	30.6	8.3	
無回答	32	43.8	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	31.3	

図 3-61 受験勉強の進め方(複数回答)／世帯主の最終学歴別

	n=	学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした	無料の学習支援を利用して受験勉強をした	学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした	塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした	模擬試験を受けた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	60.2	11.2	27.0	10.9	19.7	16.8	2.9	
中卒	511	63.4	11.9	23.3	8.0	14.7	17.4	3.1	
高卒	988	58.7	10.5	26.7	10.2	19.7	18.2	2.5	
大学・短大・専門学校卒	336	56.3	11.3	29.8	16.7	25.0	16.4	3.3	
分からない	80	65.0	15.0	32.5	12.5	27.5	8.8	3.8	
無回答	110	67.3	10.0	34.5	11.8	20.9	8.2	3.6	

「その他」としては、「受験勉強していない」(受験がない、AO入試、面接のみ、推薦入試等)が多くみられた。このほか、「高校の先生に面接・小論文指導をしてもらった」、「オープンキャンパスで入手した過去問を利用した」、「友人から教材を借りた」といった意見もみられた。

【問 16】〔塾や予備校、通信教育を利用した方にお聞きます〕
利用した「期間」と「平均月謝」をお答えください。

塾や予備校、通信教育の利用期間は、「1年～1年6か月未満」が36.9%と最も多く、次いで「1年6か月～2年未満」が23.1%となっている。

塾や予備校、通信教育の平均月謝は、全体平均で19,700円となっている。学校の種類別にみると、大学で20,100円、短期大学で16,800円となっている。学校の国公立・私立別にみると、国公立で16,100円、私立で20,500円となっている。

図 3-62 塾や予備校、通信教育の利用期間／学校の種類別

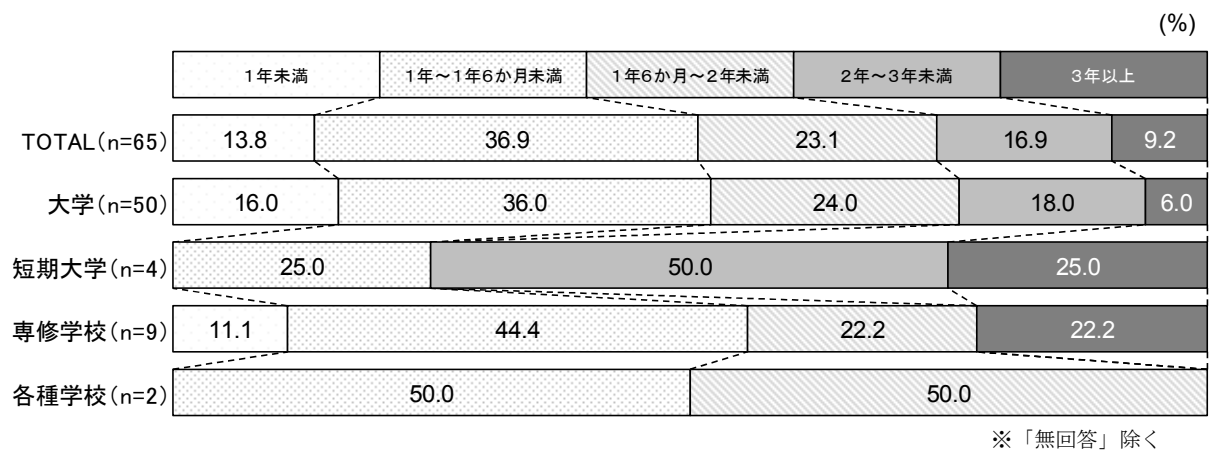


図 3-63 塾や予備校、通信教育の平均月謝／学校の種類別

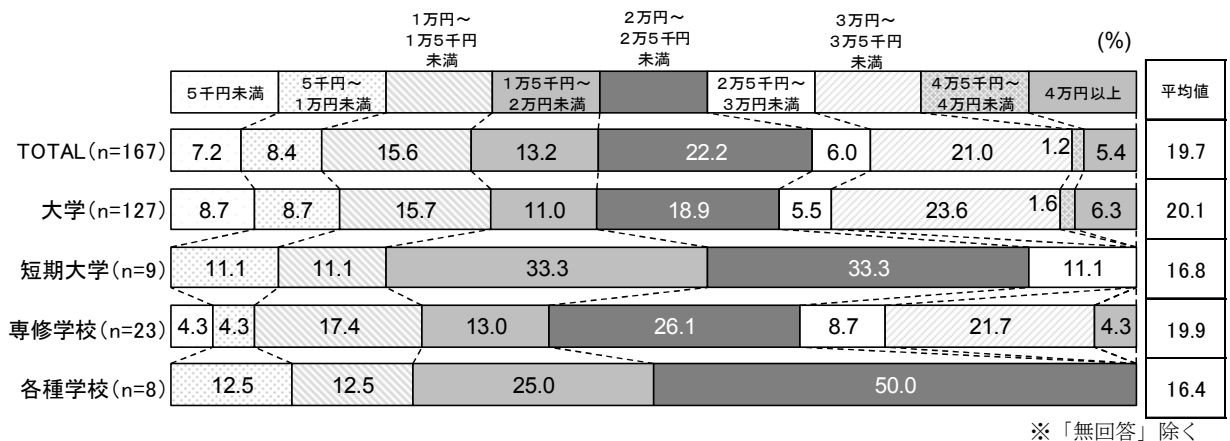
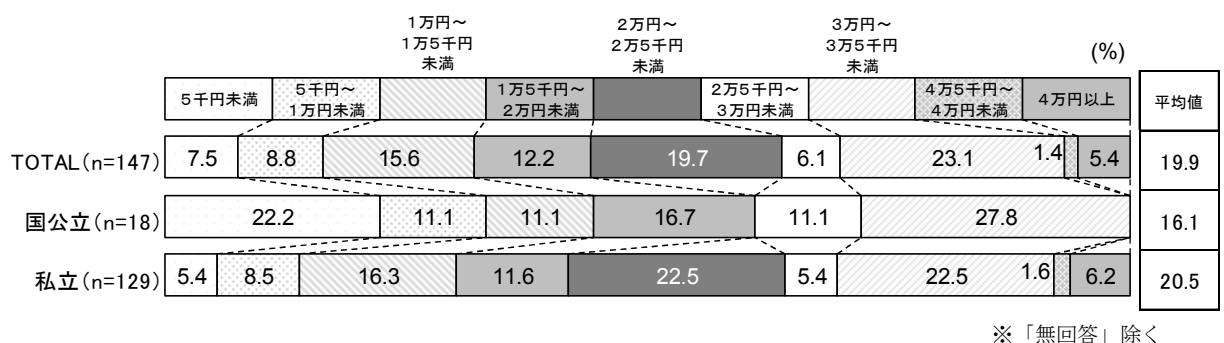


図 3-64 塾や予備校、通信教育の平均月謝／学校の国公立・私立別



【問 16】[模擬試験を受けた方にお聞きします]

受けた回数をお答えください。

模擬試験を受けた回数については、「3回」が21.3%と最も多く、次いで「6回～10回」が18.3%、「2回」が15.0%となっており、平均4.6回である。

学校の種類別にみると、大学で4.9回と多く、短期大学で3.5回、専修学校で3.7回となっている。また、学校の国公立・私立別にみると、国公立で6.9回、私立で4.3回となっている。

図 3-65 模擬試験を受けた回数／学校の種類別

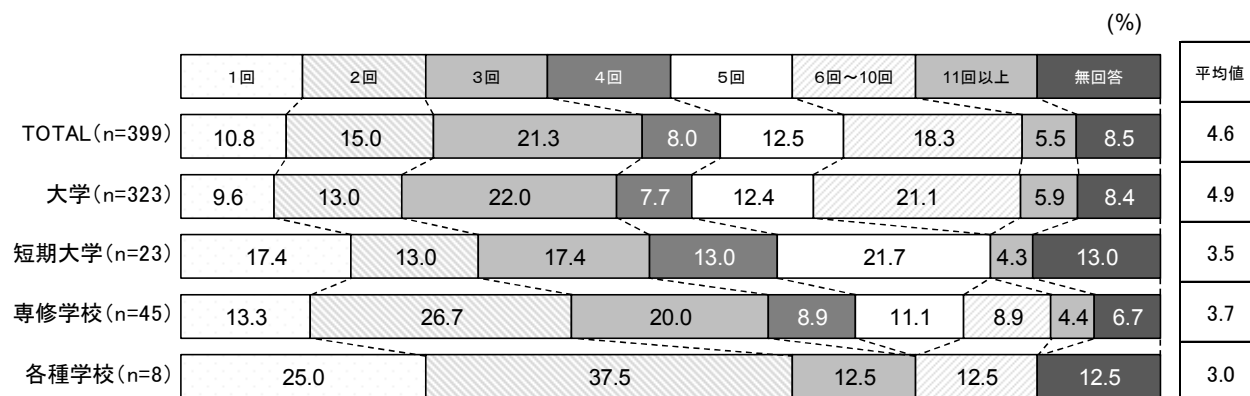
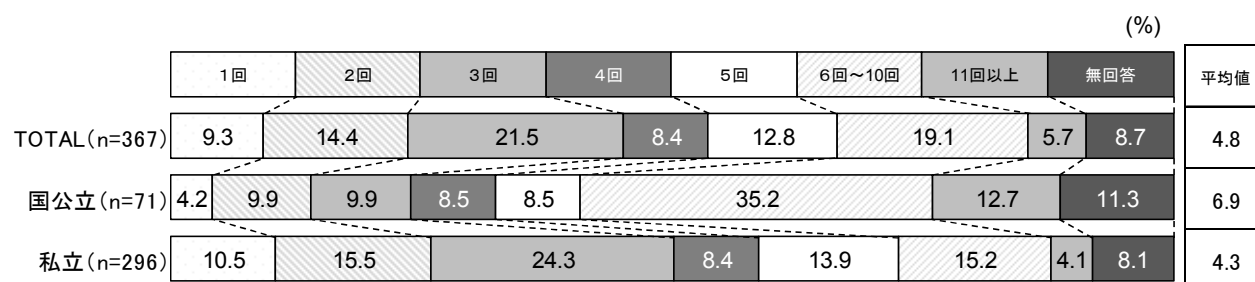


図 3-66 模擬試験を受けた回数／学校の国公立・私立別



**【問 17】 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのようにして情報を入手しましたか。
(〇はいくつでも)**

進学に関する情報収集方法については、「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」が 65.9%と最も多く、次いで「学校の先生や職員から話を聞いた」が 63.6%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」、短期大学では「学校の先生や職員から話を聞いた」割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援があった場合は「親や兄弟姉妹から話を聞いた」、支援・応援がなかった場合は「学校の先生や職員から話を聞いた」割合が高くなっている。

図 3-67 進学に関する情報収集方法(複数回答)／学校の種類別

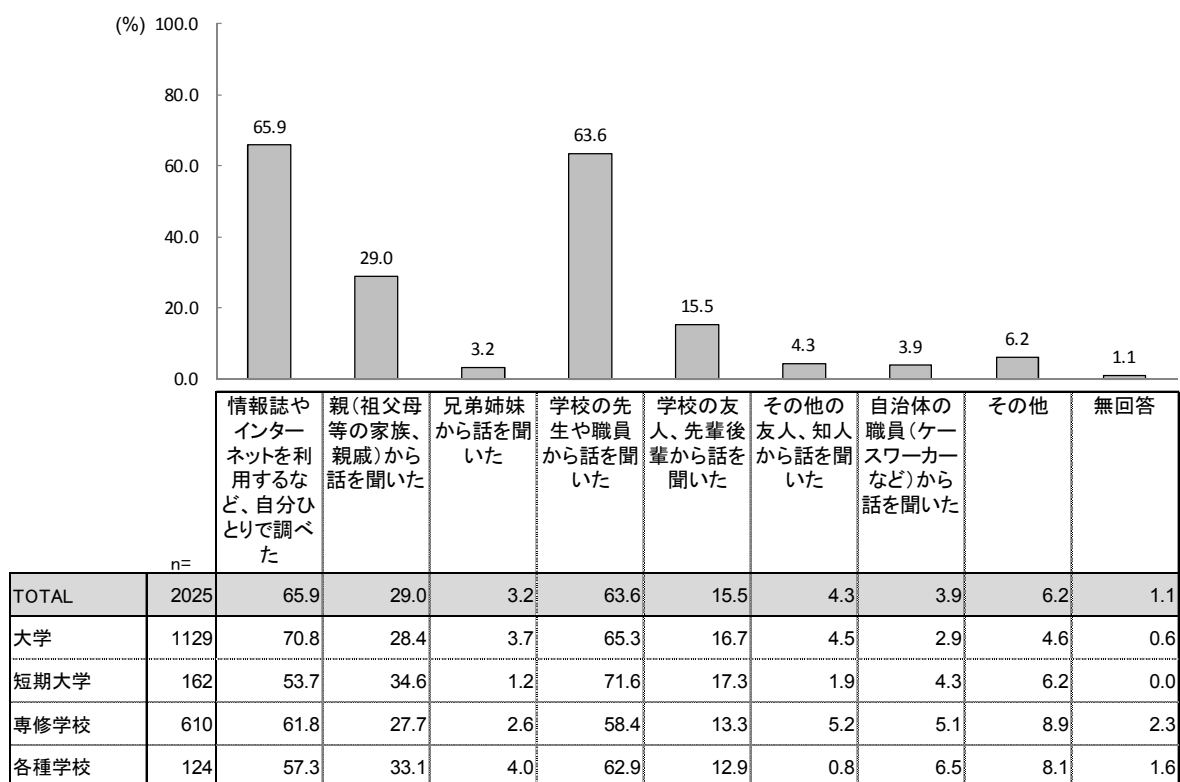


図 3-68 進学に関する情報収集方法(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた	親(祖父母等の家族、親戚)から話を聞いた	兄弟姉妹から話を聞いた	学校の先生や職員から話を聞いた	学校の友人、先輩後輩から話を聞いた	その他の友人、知人から話を聞いた	自治体の職員(ケースワーカーなど)から話を聞いた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	65.9	29.0	3.2	63.6	15.5	4.3	3.9	6.2	1.1	
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた	1648	66.3	33.2	3.6	63.3	15.7	4.2	3.8	6.3	0.7	
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	263	69.6	8.7	0.8	69.2	17.9	4.9	3.8	3.8	0.8	
家族は、自分(本人)の進学に特に関心はないようだった	46	67.4	4.3	2.2	58.7	8.7	4.3	2.2	6.5	0.0	
その他	36	38.9	27.8	2.8	52.8	8.3	2.8	8.3	19.4	5.6	
無回答	32	43.8	15.6	3.1	46.9	6.3	3.1	6.3	6.3	25.0	

受験学校学部数別にみると、2校（2学部）以上の場合は「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」割合が高くなっている。

大学への進学検討時期別にみると、高校等に進学するよりも前に考え始めていた人は親、学校の先生や職員、学校の友人や先輩後輩から話を聞いている割合が高く、高校2年生のときに考え始めた人は、自分ひとりで調べたり、学校の先生や職員から話を聞く割合が高くなっている。

図 3-69 進学に関する情報収集方法（複数回答）／受験学校学部数別

	n=	情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた	親(祖父母等の家族、親戚)から話を聞いた	兄弟姉妹から話を聞いた	学校の先生や職員から話を聞いた	学校の友人、先輩後輩から話を聞いた	その他の友人、知人から話を聞いた	自治体の職員(ケースワーカーなど)から話を聞いた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	65.9	29.0	3.2	63.6	15.5	4.3	3.9	6.2	1.1	
1校(1学部)のみ	1412	62.5	28.3	2.8	64.9	14.2	4.2	4.2	7.0	0.3	
2校(2学部)	277	73.6	33.2	4.7	63.2	18.1	4.3	4.3	4.7	0.0	
3校(3学部)	179	74.3	30.2	4.5	59.2	19.6	4.5	1.7	3.9	0.0	
4校(4学部)	72	80.6	27.8	1.4	62.5	13.9	5.6	5.6	1.4	2.8	
5校(5学部)	36	77.8	27.8	2.8	69.4	27.8	5.6	0.0	2.8	0.0	
6校(6学部)以上	23	91.3	47.8	8.7	69.6	34.8	4.3	0.0	17.4	0.0	
無回答	26	26.9	3.8	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	3.8	65.4	

図 3-70 進学に関する情報収集方法（複数回答）／進学検討時期別

	n=	情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた	親(祖父母等の家族、親戚)から話を聞いた	兄弟姉妹から話を聞いた	学校の先生や職員から話を聞いた	学校の友人、先輩後輩から話を聞いた	その他の友人、知人から話を聞いた	自治体の職員(ケースワーカーなど)から話を聞いた	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	65.9	29.0	3.2	63.6	15.5	4.3	3.9	6.2	1.1	
高校等に進学する前(中学生以前)	329	69.6	34.7	4.3	63.8	15.5	3.0	3.3	7.9	0.9	
高校等に進学するとき(進学先を考えたとき)	192	63.5	37.0	3.6	71.4	21.9	3.6	4.2	3.6	0.5	
高校1年生のとき	218	65.1	31.7	4.1	68.3	16.5	6.0	2.8	6.0	0.9	
高校2年生のとき	470	71.9	24.5	3.2	69.4	15.7	4.3	5.7	7.7	0.4	
高校3年生のとき	694	61.4	27.2	2.4	59.5	13.5	4.5	3.6	5.9	0.7	
高校卒業後	15	73.3	13.3	0.0	26.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	
わからない・覚えていない	65	66.2	24.6	3.1	49.2	20.0	3.1	1.5	3.1	4.6	
無回答	42	54.8	26.2	2.4	38.1	9.5	4.8	2.4	2.4	16.7	

「その他」としては、「オープンキャンパス」という意見が多くみられたほか、「塾や予備校の先生から聞いた」、「進学先の学校説明会」といった意見もみられた。

【問 18】 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、必要な情報を十分に得ることはできましたか。(〇は1つ)

進学に関する情報収集取得度については、「十分ではないが、ほぼ必要な情報は得ることができた」が55.0%と最も多く、次いで「十分に得ることができた」が36.9%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、家族が進学に関心がない場合や支援・応援がない場合は「十分に得ることができず、もっと情報がほしいと思った」割合が高くなっている。

図 3-71 進学に関する情報収集取得度(単一回答)／学校の種類別

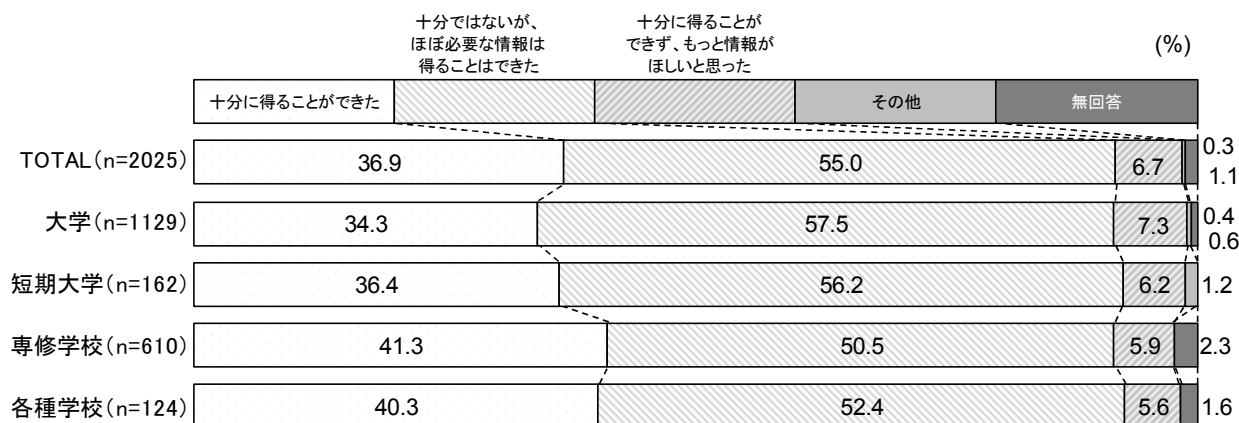
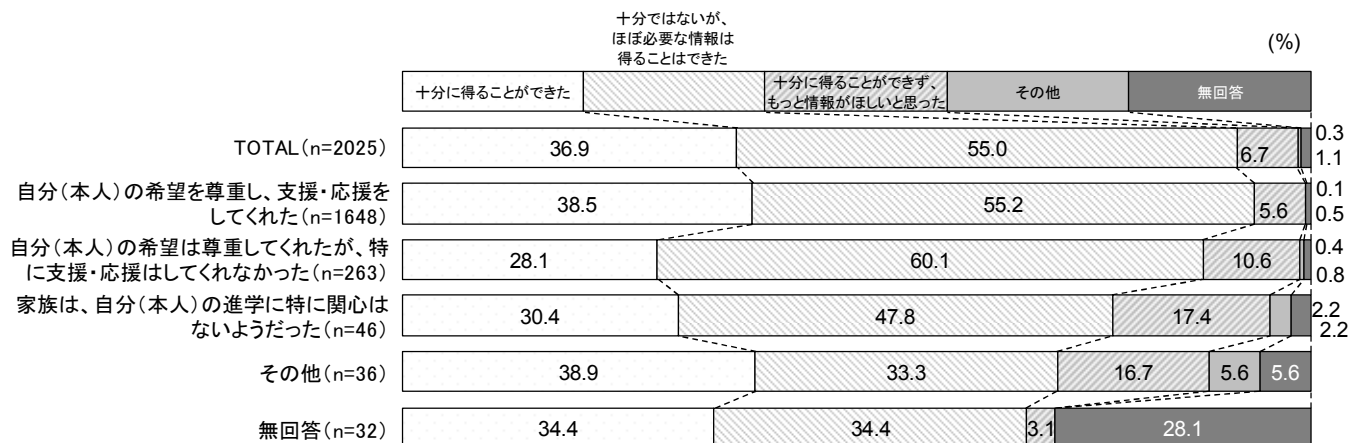


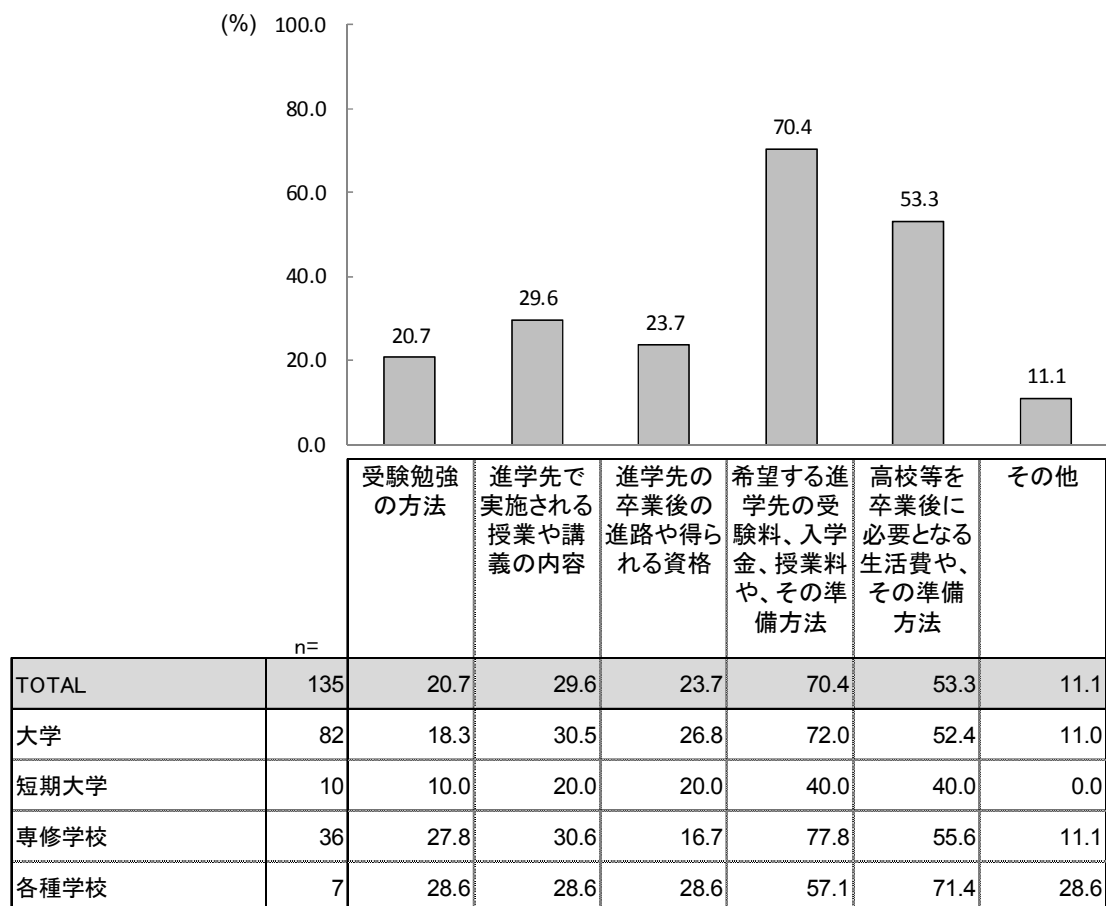
図 3-72 進学に関する情報収集取得度(単一回答)／進学に関する家族の意向別



**【問 19】[必要な情報を十分得ることができなかった方にお聞きします]どのような情報がある
とよかったと思いますか。(〇はいくつでも)**

進学に関する希望情報については、「希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法」が70.4%と最も多く、次いで「高校等を卒業後に必要となる生活費や、その準備方法」が53.3%となっている。

図 3-73 進学に関する希望情報(複数回答)／学校の種類別



「その他」としては、「学校によって、一般入試枠が多くないところがある。それを知らずに受けて不合格になってしまった。塾に行っている人はそのような情報を教えてもらえたようだ」、「大学が公表している授業料等だけでなく、課題作成の道具を買う費用など、他にかかる費用が多くあった」といった意見がみられた。

【問 20】現在の進学先を含めて、いくつの学校(学部)を受験しましたか。(○は1つ)
※1校で複数学部を受験した場合は、受験した学部数をお答えください。

受験学校学部数については、「1校(1学部)のみ」が69.7%と最も多く、次いで「2校(2学部)」が13.7%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「2校(2学部)」以上の割合が多く、短期大学・専修学校・各種学校では「1校(1学部)のみ」の割合が多くなっている。

図 3-74 受験学校学部数(単一回答)／学校の種類別

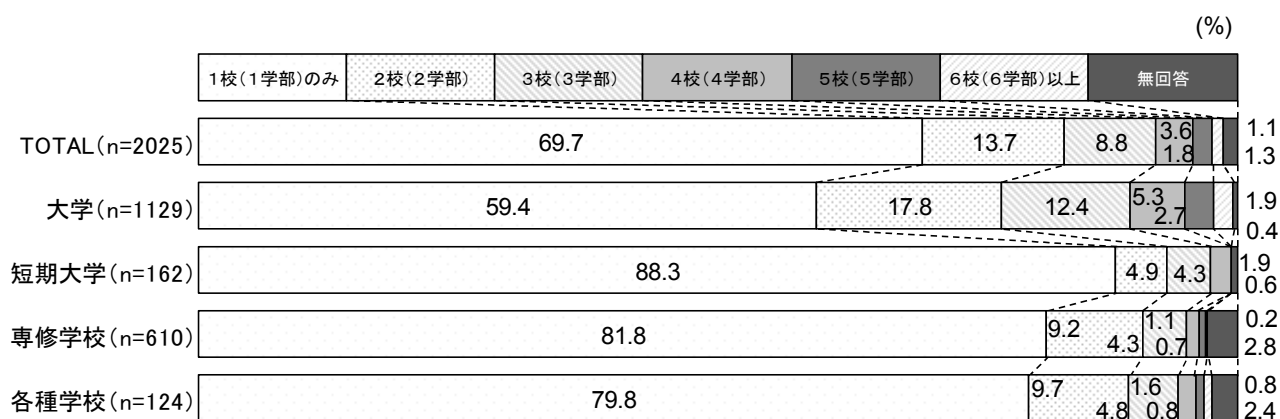
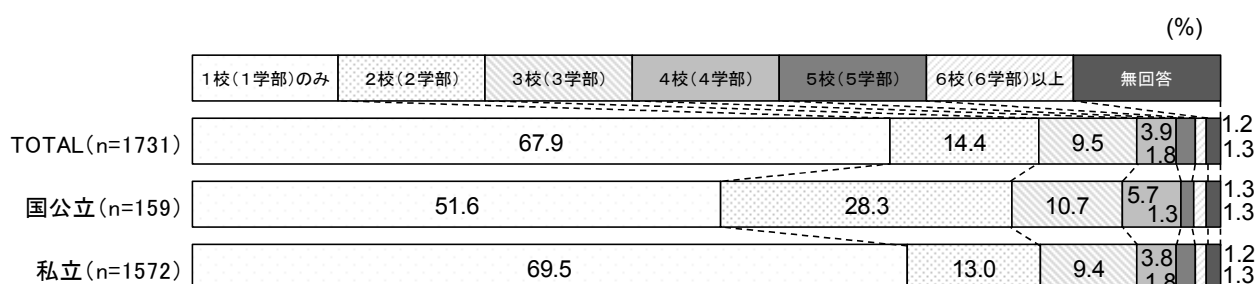


図 3-75 受験学校学部数(単一回答)／学校の国公立・私立別



【問 21】 受験や入学に関して、どれくらいの費用がかかりましたか。(それぞれの項目ごとに金額を記入)

※わからない場合は、概算でお答えください。

※入学後、5 月以降に購入したものは計上しないでください。

受験や入学にかかった費用の平均値は、それぞれ以下の通りである。各項目の合計値としては、444,800 円が平均値となっており、学校の種類別にみると大学が 501,800 円と最も高くなっている。

また奨学金の利用有無別にみると、奨学金を利用している場合は受験や入学にかかる費用が高くなる傾向にある。

図 3-76 受験や入学にかかった費用

項目	平均値（千円）
受験の教材（参考書等）(n=1823)	17.6
受験料(n=1760)	44.8
受験するためにかった交通費・宿泊費 (n=1860)	4.8
入学金(n=1810)	278.7
大学生活で必要になるパソコン(n=1867)	36.6
電話機（携帯電話・スマートフォンを含む） (n=1856)	18.0
通学用の自転車・原動機付き自転車 (n=1866)	8.1
入学式用の衣類・鞆(n=1839)	33.6
合計(n=1601)	444.8

※問21での「0円」を含む、「無回答」除く

図 3-77 受験や入学に関する費用・合計／学校の種類別、学校の国公立・私立別

項目	平均値（千円）	項目	平均値（千円）
TOTAL(n=1601)	444.8	TOTAL(n=1392)	450.8
大学(n=946)	501.8	国公立(n=118)	401.9
短期大学(n=137)	382.5	私立(n=1274)	455.3
専修学校(n=430)	365.5		
各種学校(n=88)	316.9		

※問21での「0円」を含む、「無回答」除く

※問21での「0円」を含む、「無回答」除く

図 3-78 受験や入学に関する費用・合計／奨学金利用の有無別

項目	平均値（千円）
TOTAL(n=1601)	444.8
奨学金等を利用している(n=1412)	456.9
奨学金等を利用していない(n=136)	338.5

※問21での「0円」を含む、「無回答」除く

【問 22】 受験や入学に要する費用は、どのように準備しましたか。(〇はいくつでも)

受験や入学に要する費用の準備方法については、「奨学金を利用した」が 60.0%と最も多く、次いで「すべて家庭で親などが用意した」が 25.6%、「家庭（親等）と自分で用意した」が 25.2%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」、専修学校では「すべて自分がアルバイト等をして用意した」割合が高くなっている。

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響する場合は、「奨学金を利用した」割合が高くなっている。

図 3-79 受験入学費用準備方法（複数回答）／学校の種類別

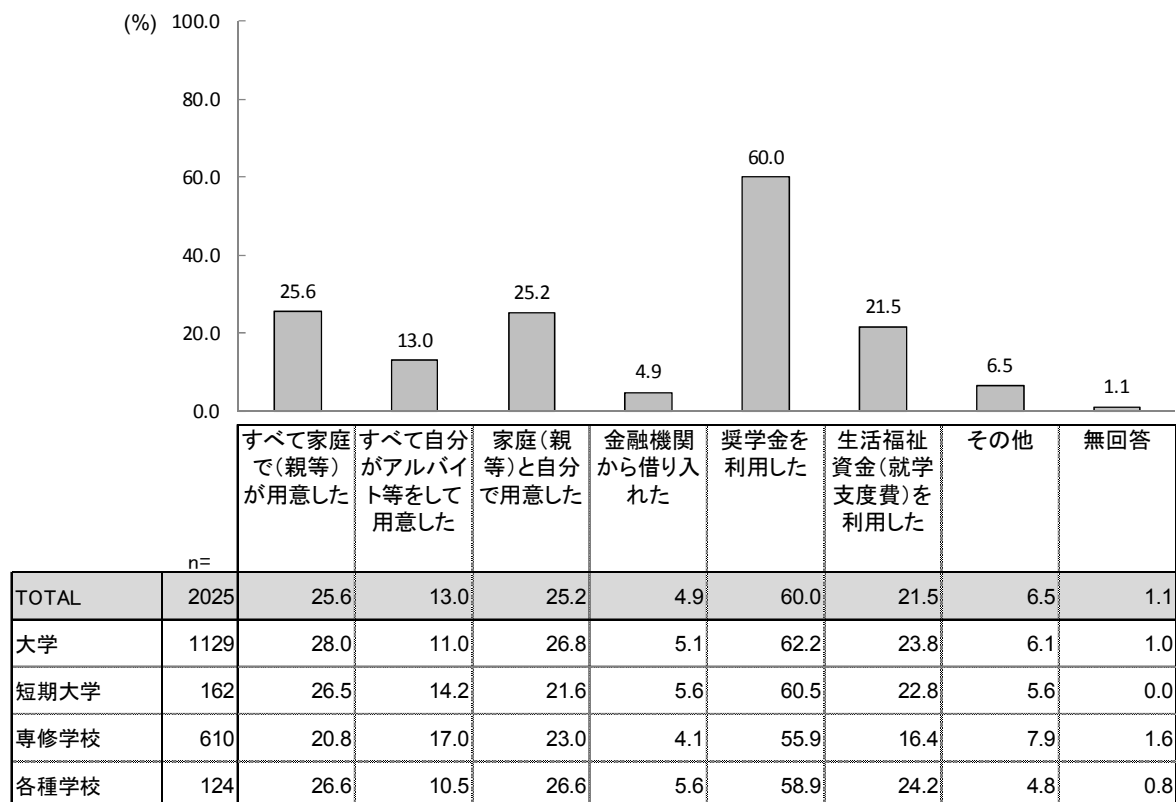


図 3-80 受験入学費用準備方法（複数回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

	n=	すべて家庭で(親等)が用意した	すべて自分がアルバイト等をして用意した	家庭(親等)と自分で用意した	金融機関から借り入れた	奨学金を利用した	生活福祉資金(就学支度費)を利用した	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	25.6	13.0	25.2	4.9	60.0	21.5	6.5	1.1	
大いに影響した	819	21.7	14.2	27.4	5.1	63.7	22.8	7.3	1.1	
少し影響した	435	28.5	14.5	26.0	4.1	56.6	21.4	6.2	0.5	
あまり影響していない	197	26.9	13.2	25.9	3.6	59.9	21.8	7.1	0.5	
全く影響していない	146	35.6	13.0	15.8	6.8	56.8	18.5	3.4	1.4	
わからない	362	27.9	8.8	23.2	5.2	57.7	20.7	6.4	0.6	
その他	28	25.0	0.0	39.3	0.0	67.9	25.0	3.6	0.0	
無回答	38	10.5	21.1	13.2	7.9	44.7	10.5	5.3	15.8	

進学に関する家族の意向別にみると、家族が支援・応援してくれる場合は「すべて家庭で親などが用意した」「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」、特に支援・応援がなかった場合は「すべて自分がアルバイト等をして用意した」割合が高くなっている。

図 3-81 受験入学費用準備方法(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	すべて家庭 で(親等)が 用意した	すべて自分 がアルバイト 等をして 用意した	家庭(親 等)と自分 で用意した	金融機関 から借り入 れた	奨学金を利 用した	生活福祉 資金(就学 支度費)を 利用した	その他	無回答	(%)
TOTAL	2025	25.6	13.0	25.2	4.9	60.0	21.5	6.5	1.1	
自分(本人)の希望を尊重 し、支援・応援してくれた	1648	28.5	10.9	26.2	4.8	60.1	22.7	6.7	0.7	
自分(本人)の希望は尊重 してくれたが、特に支援・応 援はしてくれなかった	263	11.8	25.5	20.9	5.3	60.8	17.1	5.7	0.8	
家族は、自分(本人)の進学 に特に関心はないようだった	46	17.4	15.2	19.6	2.2	60.9	21.7	8.7	2.2	
その他	36	19.4	16.7	30.6	5.6	52.8	16.7	5.6	0.0	
無回答	32	12.5	15.6	15.6	9.4	53.1	3.1	3.1	21.9	

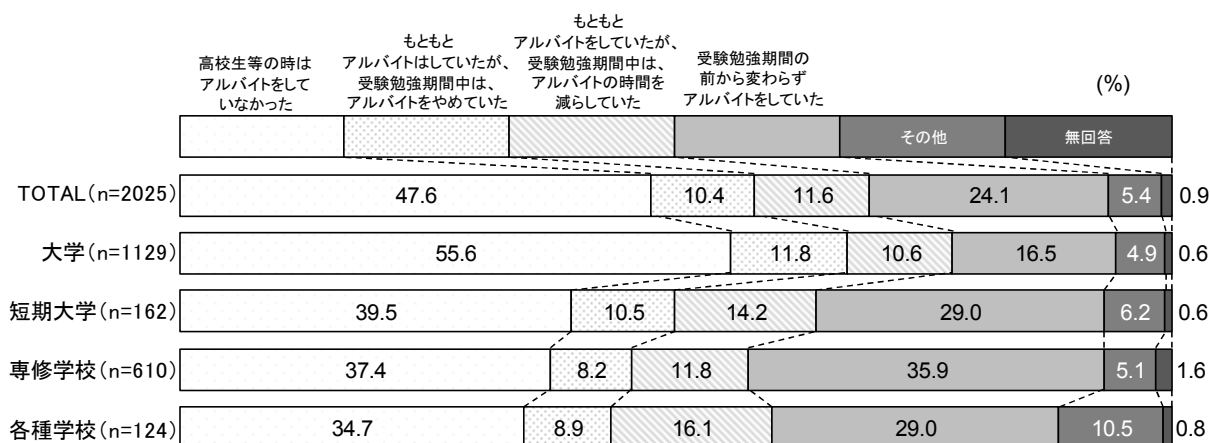
「その他」としては、「祖父母など親族、友人・知人から借りた」といった意見が多くみられた。それ以外には、「母子福祉資金」といった意見もみられた。

【問 23】 受験勉強をしている頃、アルバイトはしていましたか。(○は1つ)

受験勉強をしている頃のアルバイトの有無については、「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」が 47.6%と最も多く、次いで「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」が 24.1%、「もともとアルバイトをしていたが、受験勉強期間中はアルバイトの時間を減らしていた」が 11.6%となっている。

学校の種類別にみると、大学は「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」「もともとアルバイトはしていたが、受験勉強期間中はアルバイトをやめていた」、専修学校では「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」割合が高くなっている。

図 3-82 受験勉強時アルバイト有無(単一回答)／学校の種類別



3 調査結果 詳細

進学に関する家族の意向別にみると、家族が支援・応援してくれる場合は「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」、特に支援・応援がなかった場合は「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」割合が高くなっている。

図 3-83 受験勉強時アルバイト有無(単一回答)／学校の国公立・私立別

	高校生等の時は アルバイトを していなかった	もともとアルバイト はしていたが、 受験勉強期間中 は、アルバイトを やめていた	もともとアルバイト をしていたが、受 験勉強期間中は、 アルバイトの時間 を減らしていた	受験勉強期間の 前から変わらず アルバイトをしていた	その他	無回答	(%)
TOTAL (n=1731)	49.0	10.4	11.3	23.1	5.1		1.0
国公立 (n=159)	73.0	6.9	5.0	10.7	4.4		
私立 (n=1572)	46.6	10.8	12.0	24.4	5.2		1.1

図 3-84 受験勉強時アルバイト有無(単一回答)／進学に関する家族の意向別

	高校生等の時は アルバイトをして いなかった	もともと アルバイトはしていたが、 受験勉強期間中は、 アルバイトを やめていた	もともと アルバイトはしていたが、 受験勉強期間中は、 アルバイトの 時間を減らしていた	受験勉強期間の前から 変わらずアルバイトを していた	その他	無回答	(%)
TOTAL (n=2025)	47.6	10.4	11.6	24.1	5.4		0.9
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援を してくれた(n=1648)	49.0	10.1	11.7	23.1	5.5		0.7
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特 に支援・応援はしてくれなかった(n=263)	40.3	11.0	12.9	30.8	4.9		
家族は、自分(本人)の進学に特に関心は ないようだった(n=46)	45.7	15.2	10.9	23.9	4.3		
その他(n=36)	47.2	16.7	8.3	19.4	8.3		
無回答(n=32)	34.4	9.4	3.1	25.0	3.1	25.0	

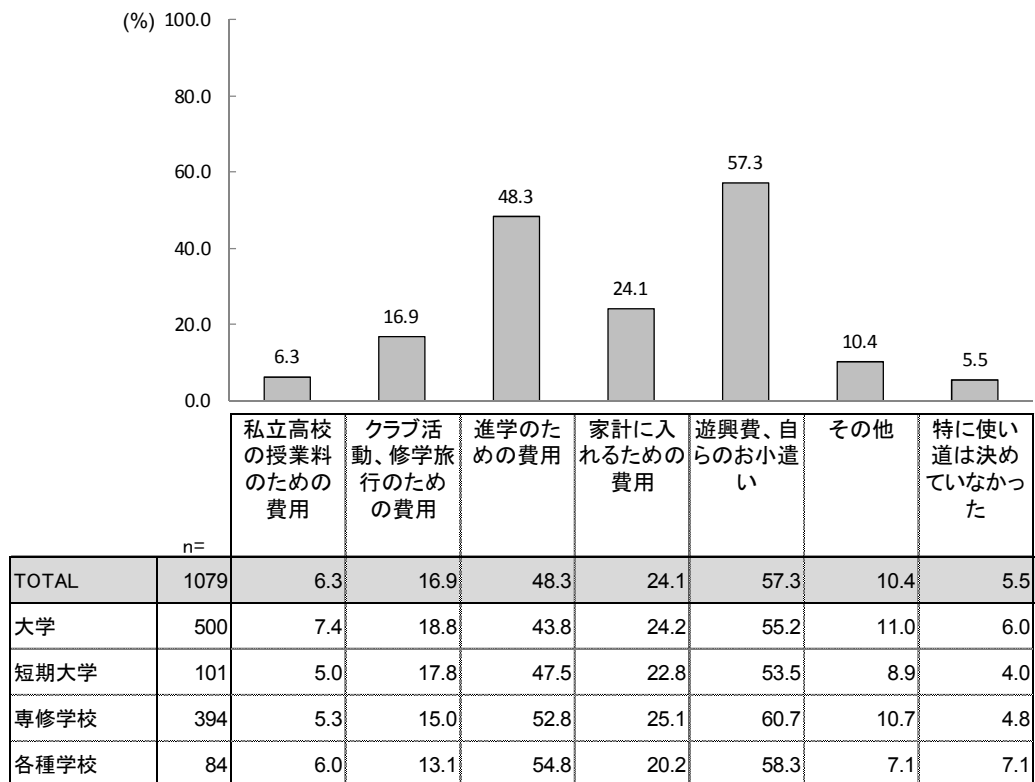
「その他」としては、「大学等に合格後、高校等を卒業するまでアルバイトをしていた」といった意見が多くみられたほか、「部活を引退してからアルバイトを始めた」、「もともとアルバイトはしていなかったが、受験勉強期間中にアルバイトを始め、勉強よりアルバイトを優先していた」という意見もみられた。

【問 24】 高校等に通っている頃のアルバイト収入の主な使い道は何でしたか。(〇はいくつでも)

アルバイト収入の主な使い道については、「遊興費、自らのお小遣い」が 57.3%と最も多く、次いで「進学のための費用」が 48.3%となっている。

学校の種類別にみると、専修学校では「家計に入れるための費用」の割合が高くなっている。

図 3-85 アルバイト収入の主な使い道(複数回答)／学校の種類別



3 調査結果 詳細

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響する場合は、「進学のための費用」の割合が高くなっている。

図 3-86 アルバイト収入の主な使い道(複数回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

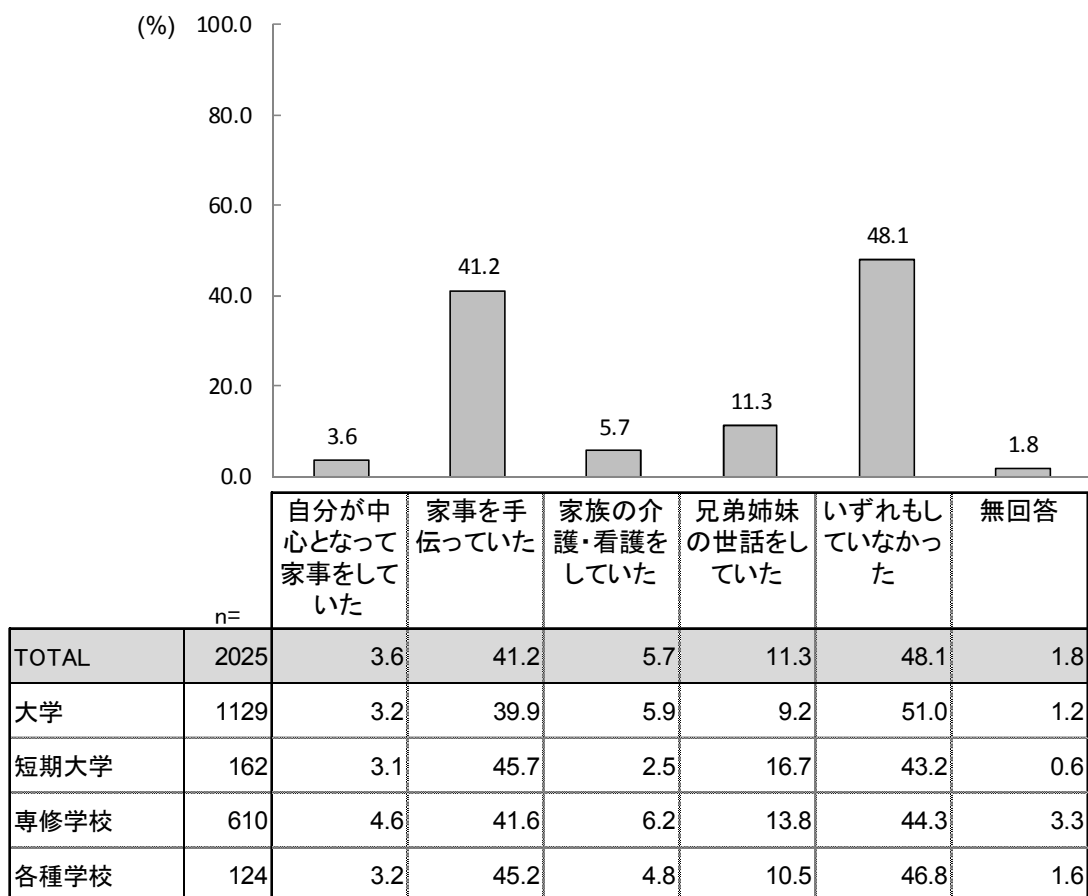
	n=	私立高校 の授業料 のための 費用	クラブ活 動、修学旅 行のため の費用	進学のため の費用	家計に入れ るため の費用	遊興費、自 らのお小遣 い	その他	特に使い 道は決め ていなか った	(%)
TOTAL	1079	6.3	16.9	48.3	24.1	57.3	10.4	5.5	
大いに影響した	435	7.8	18.9	55.9	27.4	49.2	8.3	4.1	
少し影響した	236	4.2	18.2	52.5	26.3	54.7	12.7	4.7	
あまり影響していない	95	6.3	11.6	46.3	24.2	71.6	11.6	4.2	
全く影響していない	62	4.8	19.4	37.1	8.1	77.4	11.3	3.2	
わからない	215	6.0	13.0	33.0	20.9	64.2	11.6	9.3	
その他	13	7.7	30.8	38.5	30.8	92.3	7.7	0.0	
無回答	23	4.3	8.7	47.8	8.7	39.1	8.7	17.4	

「その他」としては、「携帯電話、スマートフォンなど通信費」といった意見が多くみられた。

【問 25】 受験勉強をしている頃、家族の状況(傷病や就労等)を理由に、家事、家族の介護・看護をしていましたか。(〇はいくつでも)

受験勉強時の家事・介護・看護の有無については、「家事を手伝っていた」が41.2%と最も多く、次いで「兄弟姉妹の世話をしていた」が11.3%であるほか、「いずれもしていなかった」が48.1%となっている。学校の種類別にみると、短期大学や専修学校では「兄弟姉妹の世話をしていた」割合が高くなっている。

図 3-87 受験勉強時の家事・介護・看護の有無(複数回答)／学校の種類別



3 調査結果 詳細

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援がなかった場合は「自分が中心となって家事をしていた」割合が高くなっている。

世帯主の最終学歴別にみると、世帯主が中卒の場合は「兄弟姉妹の世話をしていた」割合が高くなっている。

図 3-88 受験勉強時の家事・介護・看護の有無(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	自分が中心となって家事をしていた	家事を手伝っていた	家族の介護・看護をしていた	兄弟姉妹の世話をしていた	いずれもしていなかった	無回答	(%)
TOTAL	2025	3.6	41.2	5.7	11.3	48.1	1.8	
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた	1648	3.1	41.7	5.3	11.2	48.2	1.5	
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	263	6.8	42.6	8.4	13.3	45.6	0.8	
家族は、自分(本人)の進学に特に関心はないようだった	46	2.2	19.6	4.3	2.2	69.6	2.2	
その他	36	2.8	52.8	5.6	16.7	38.9	0.0	
無回答	32	6.3	21.9	3.1	3.1	43.8	28.1	

図 3-89 受験勉強時の家事・介護・看護の有無(複数回答)／世帯主の最終学歴別

	n=	自分が中心となって家事をしていた	家事を手伝っていた	家族の介護・看護をしていた	兄弟姉妹の世話をしていた	いずれもしていなかった	無回答	(%)
TOTAL	2025	3.6	41.2	5.7	11.3	48.1	1.8	
中卒	511	4.5	38.9	5.1	13.7	47.7	2.2	
高卒	988	3.3	40.9	6.2	10.1	49.4	1.7	
大学・短大・専門学校卒	336	2.7	43.8	5.4	11.9	47.3	1.8	
分からない	80	5.0	50.0	3.8	7.5	38.8	1.3	
無回答	110	3.6	40.0	6.4	10.9	47.3	0.9	

3-3. 現在の生活状況について

(1) 経済的な状況について

【問 26】 現在、出身家庭から就学費用の援助を受けていますか。(○は1つ)

就学費用援助の有無については、「受けていない」が 78.6%、「受けている」が 15.8%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援がなかった場合や関心がない場合は「受けていない」割合が高くなっている。

奨学金利用の有無別にみると、奨学金を利用していない場合は出身家庭から就学費用援助を受けている割合が高くなっている。

図 3-90 就学費用援助の有無(単一回答)／学校の種類別

	受けていない	受けている	無回答
TOTAL(n=2025)	78.6	15.8	5.6
大学(n=1129)	79.3	15.3	5.4
短期大学(n=162)	77.8	16.0	6.2
専修学校(n=610)	78.7	15.9	5.4
各種学校(n=124)	73.4	19.4	7.3

図 3-91 就学費用援助の有無(単一回答)／進学に関する家族の意向別

	受けていない	受けている	無回答
TOTAL(n=2025)	78.6	15.8	5.6
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた(n=1648)	76.8	17.1	6.2
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった(n=263)	85.9	12.5	1.5
家族は、自分(本人)の進学に特に関心はないようだった(n=46)	89.1	4.3	6.5
その他(n=36)	97.2		2.8
無回答(n=32)	78.1	9.4	12.5

図 3-92 就学費用援助の有無(単一回答)／奨学金利用の有無別

	受けていない	受けている	無回答
TOTAL(n=2025)	78.6	15.8	5.6
奨学金等を利用している(n=1752)	80.6	14.7	4.7
奨学金等を利用していない(n=191)	69.6	25.1	5.2
無回答(n=82)	57.3	17.1	25.6

3 調査結果 詳細

出身家庭から就学費用援助を受けている場合の金額については、平均で 327,200 円となっている。

図 3-93 就学費用援助の金額(年間)／学校の種類別

	(%)					
	5万円未満	5～10万円未満	10～50万円未満	50～100万円未満	100万円以上	平均値
TOTAL (n=225)	15.1	8.0	46.7	22.7	7.6	327.2
大学 (n=128)	14.8	8.6	50.0	18.8	7.8	310.7
短期大学 (n=13)	7.7	7.7	38.5	38.5	7.7	421.5
専修学校 (n=65)	18.5	4.6	40.0	27.7	9.2	364.5
各種学校 (n=19)	10.5	15.8	52.6	21.1		246.1

※「無回答」除く

【問 27】 奨学金等を利用していますか。(〇は1つ)

奨学金の利用状況については、全体でみると「奨学金等を利用している」が86.5%と最も多く、次いで「奨学金等を利用していない」が9.4%となっている。利用している奨学金別にみると、「日本学生支援機構の貸与型奨学金」が64.5%と最も多く、次いで「生活福祉資金の教育支援資金」が14.1%となっている。学校の種類別にみると、大学では「日本学生支援機構の貸与型奨学金」や「日本学生支援機構以外の給付型奨学金」の割合が高くなっている。

図 3-94 奨学金利用の有無(単一回答)／学校の種類別

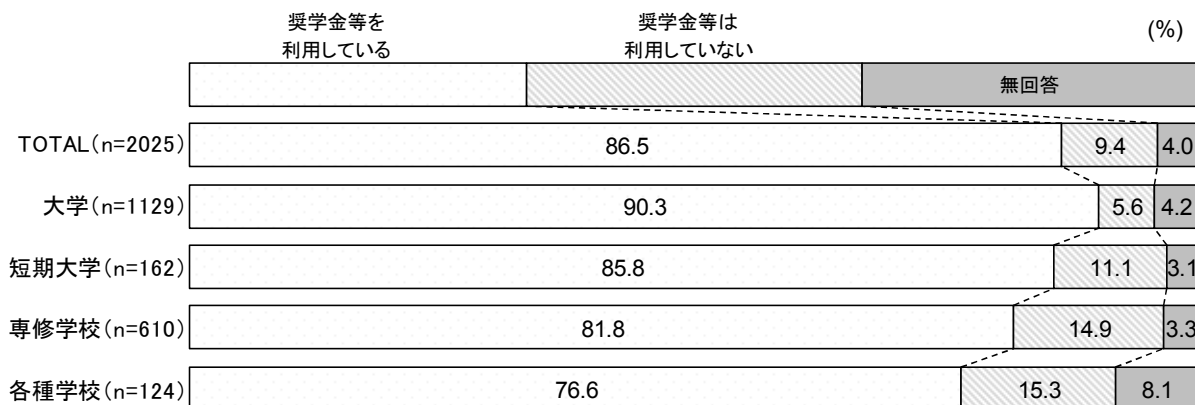
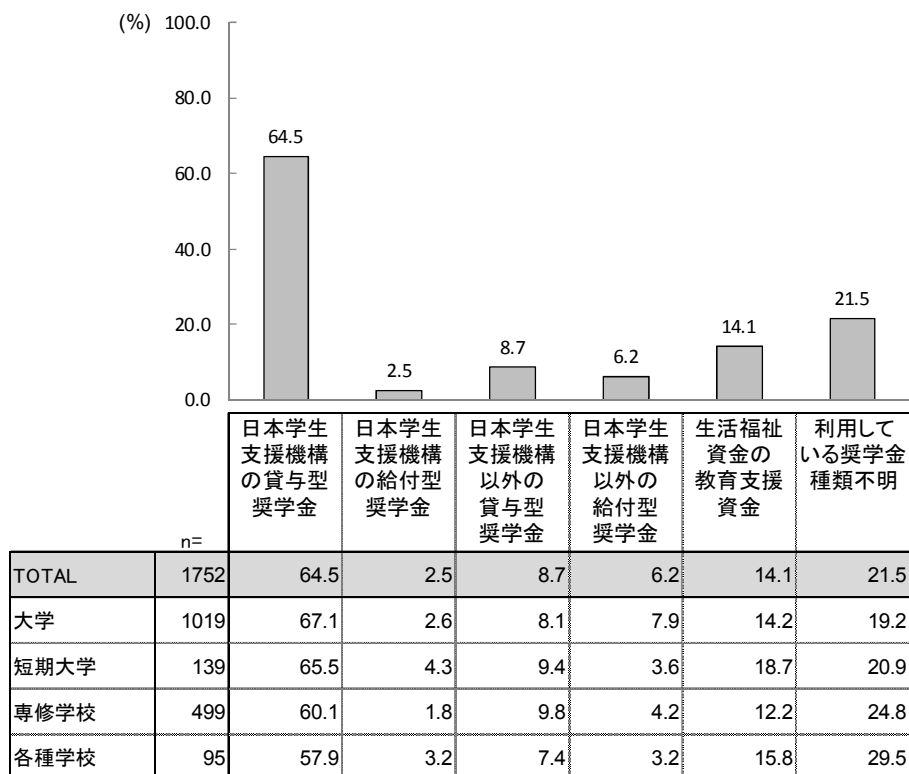


図 3-95 利用している奨学金(複数回答)／学校の種類別



【問 27】[奨学金等を利用している方にお聞きます]

利用しているそれぞれの奨学金等の年間受給額を記入してください。

利用している奨学金等の年間受給額は、平均 1,194,400 円となっている。詳細は下表のとおり。

図 3-96 利用している奨学金等の年間受給額

項目	平均年間受給額 (千円)
日本学生支援機構の貸与型奨学金	1154.7
日本学生支援機構の給付型奨学金	156.0
日本学生支援機構以外の貸与型奨学金	645.9
日本学生支援機構以外の給付型奨学金	459.7
生活福祉資金の教育支援資金	738.1
貸与型奨学金・合計	1164.3
給付型奨学金・合計	377.3
奨学金年間受給額・合計	1194.4

図 3-97 奨学金年間受給額・合計／学校の種類別

	50万円未満	50～75万円未満	75～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200万円以上	平均値
TOTAL (n=1375)	9.2	20.7	10.0	33.5	13.7	12.8	1194.4
大学 (n=823)	8.6	22.4	11.8	33.2	12.5	11.5	1158.5
短期大学 (n=110)	12.7	20.0	6.4	27.3	16.4	17.3	1262.5
専修学校 (n=375)	9.6	17.6	7.7	36.5	15.5	13.1	1242.1
各種学校 (n=67)	9.0	19.4	7.5	31.3	13.4	19.4	1255.9

※「無回答」除く

【問 28】 大学等に納付する授業料や通学費等について、年間必要となる額について記入してください。

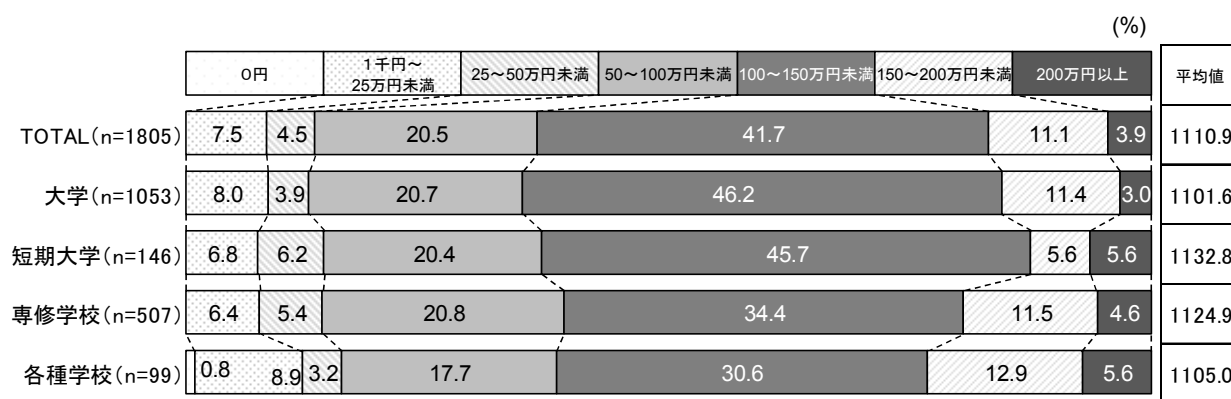
大学等に納付する年間必要額については、それぞれ平均値として、授業料が 839,500 円、その他の学校納付金が 103,800 円、修学費が 69,800 円、通学費が 89,800 円、合計 1,110,900 円となっている。

図 3-98 大学等に納付する年間必要金額

項目	平均必要金額 (千円)
授業料(出身家庭が支払った授業料を含む)(n=1804)	839.5
その他の学校納付金(入学時の特別納付金を除く)(n=1804)	103.8
修学費(教科書・図書代、文具購入費等を含む)(n=1804)	69.8
通学費(n=1804)	89.8
授業料や就学費合計(n=1805)	1110.9

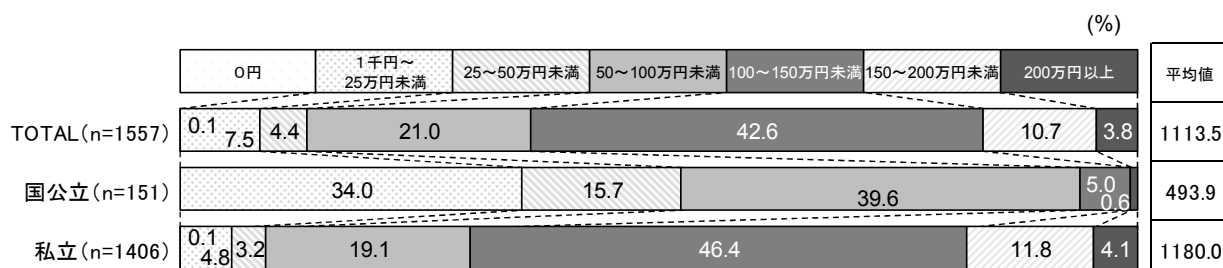
※「0円」を含む、「無回答」除く

図 3-99 授業料や就学費合計／学校の種類別



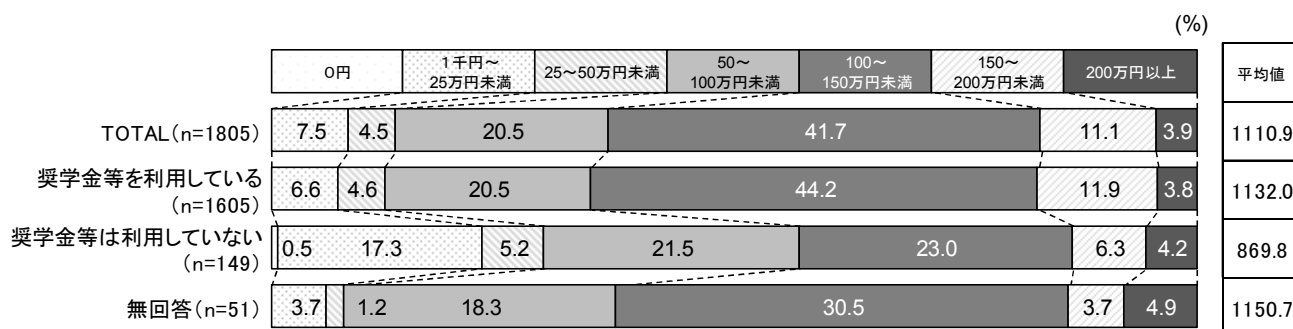
※「0円」含む、「無回答」除く

図 3-100 授業料や就学費合計／学校の国公立・私立別



※「0円」含む、「無回答」除く

図 3-101 授業料や就学費合計／奨学金利用の有無別



※「0円」含む、「無回答」除く

【問 29】 大学等の授業料減免制度を受けていますか。平成 29 年度前期分についてお答えください。(〇は1つ)

平成 29 年度授業料の減免制度の受用については、「申請しなかった」が 32.4%と最も多く、次いで「全額を受けた」が 7.7%、「申請したが不許可になった」が 7.6%となっている。また「大学等に減免制度がなかった」割合も 36.0%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「全額を受けた」「申請しなかった」、専修学校や各種学校では「大学等に減免制度がなかった」割合が高くなっている。

学校の国公立・私立別にみると、国公立では「全額を受けた」割合が高くなっている。

図 3-102 平成 29 年度授業料減免制度の受用有無(単一回答)／学校の種類別

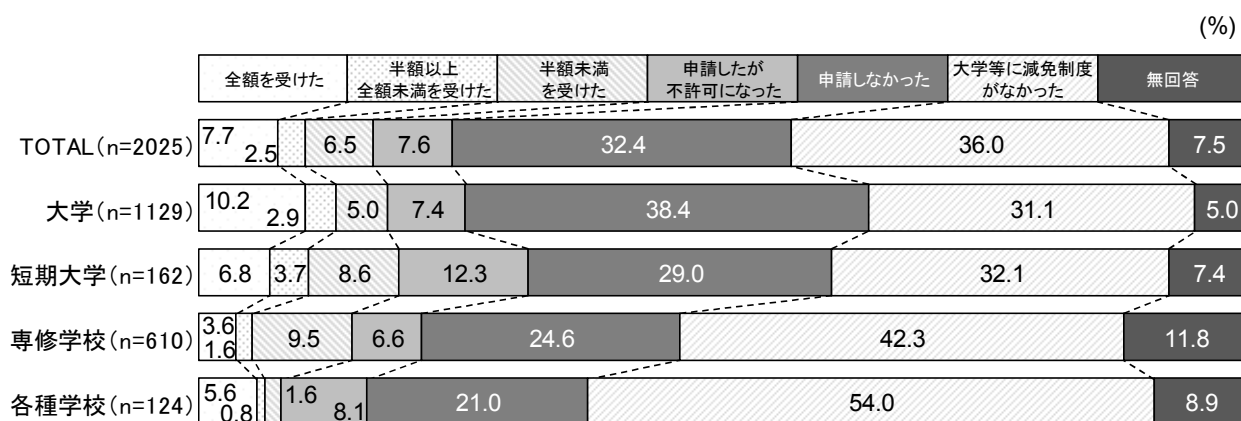
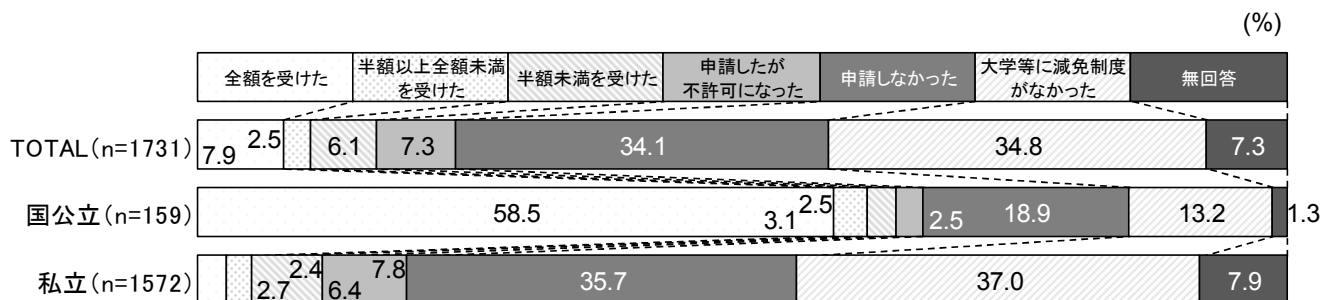


図 3-103 平成 29 年度授業料減免制度の受用有無(単一回答)／学校の国公立・私立別

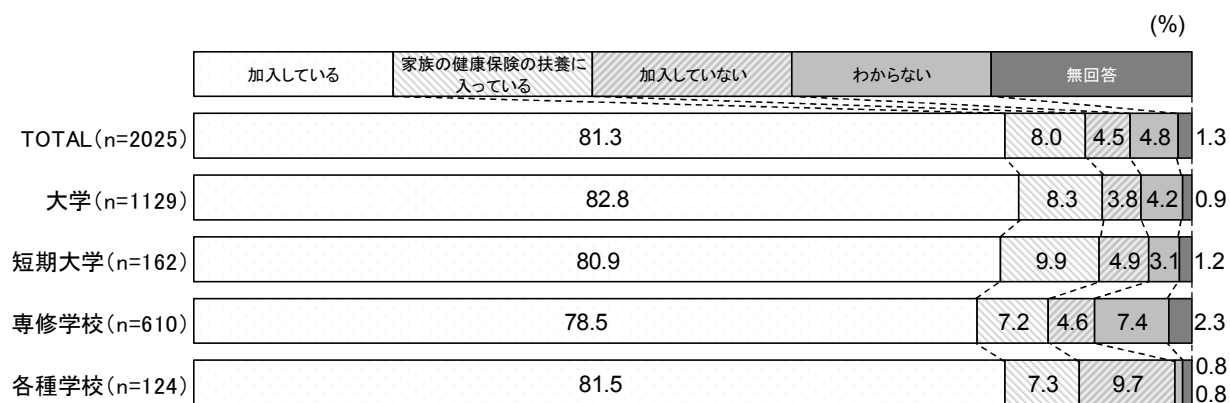


【問 30】 国民健康保険に加入していますか。(○は1つ)

国民健康保険への加入状況については、「加入している」が 81.3%と最も多く、次いで「家族の健康保険の扶養に入っている」が 8.0%となっている。

学校の種類別にみると、各種学校では「加入していない」割合が高くなっている。

図 3-104 国民健康保険に加入の有無(単一回答)/学校の種類別



【問 31】 この 1 年間、病気(風邪を含む)やけがをした場合、医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

※1年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください。

医療機関の受診の有無については、「必要な場合はその都度受診した」が 43.0%と最も多く、次いで「経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた」が 26.9%、「病気やけがをしていない」が 23.3%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援をしてくれなかった場合は「経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた」「授業やアルバイト等のため、受診する時間がなかった」割合が高くなっている。

図 3-105 医療機関受診の有無(単一回答)/学校の種類別

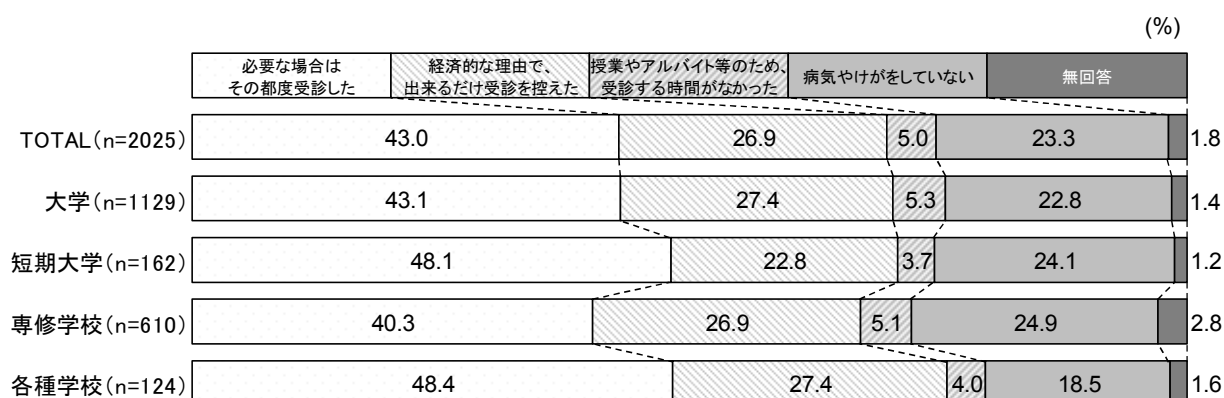


図 3-106 医療機関受診の有無(単一回答)/進学に関する家族の意向別



【問 32】[20 歳以上の方のみにお聞きします] 国民年金保険料を納付していますか。(○は1つ)

国民年金保険料の納付の有無については、「学生納付特例制度を利用している」が 59.6%と最も多く、次いで「納付している」が 16.3%、「納付していない」が 12.8%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「納付している」「学生納付特例制度を利用している」割合が高くなっている。

学校の国公立・私立別でみると、国公立では「学生納付特例制度を利用している」割合が高くなっている。

奨学金利用の有無別にみると、奨学金を利用している人は「学生納付特例制度を利用している」割合が高くなっている。

図 3-107 国民年金保険料納付の有無(単一回答)／学校の種類別

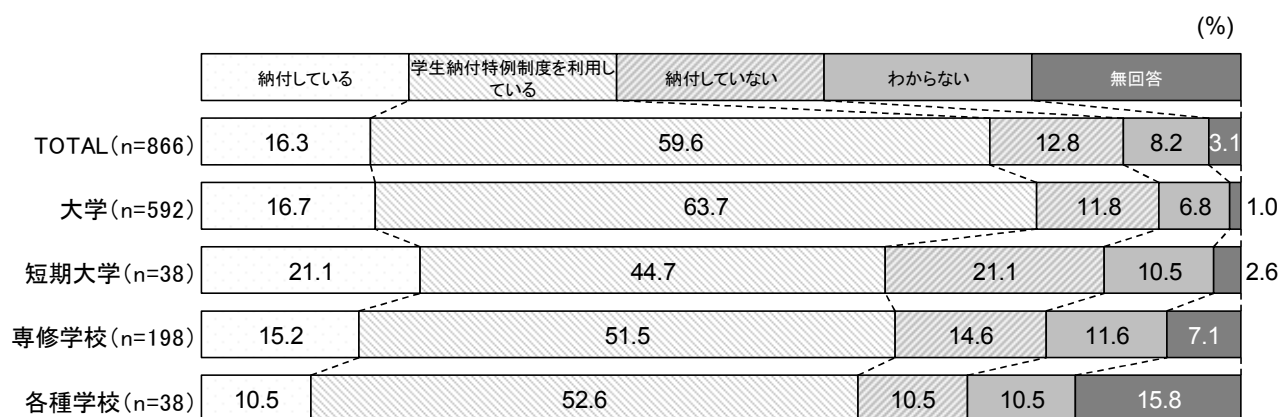


図 3-108 国民年金保険料納付の有無(単一回答)／学校の国公立・私立別

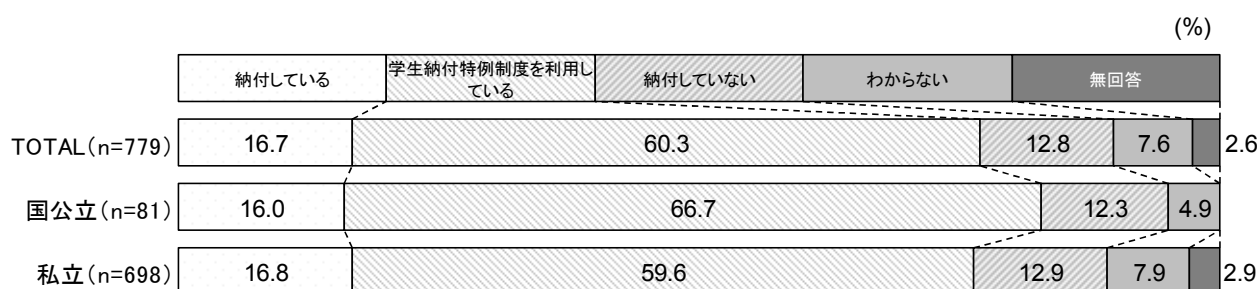
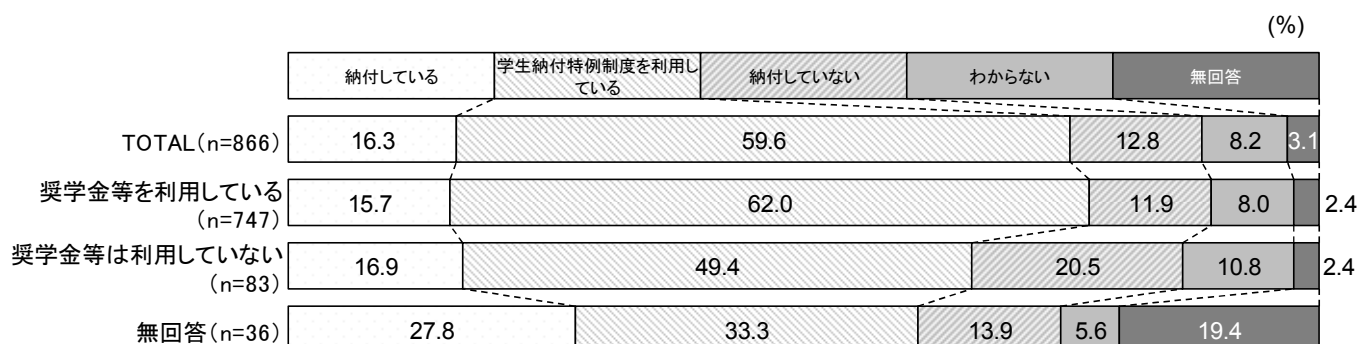


図 3-109 国民年金保険料納付の有無(単一回答)／奨学金利用の有無別



(2) アルバイトの状況について

【問 33】 最近1年間、授業期間中や長期休暇中にアルバイトをしましたか。アルバイトをした方は、1日あたりの平均的な労働時間と1か月あたりの平均的な就労日数、1か月あたりの収入額をお答えください。

※1年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください

アルバイトの状況については、「アルバイトをしていた」が83.3%、「アルバイトをしなかった」が11.2%となっている。

図 3-110 アルバイトの有無(単一回答)／学校の種類別

(%)

	アルバイトをしていた	アルバイトをしなかった	無回答
TOTAL (n=2025)	83.3	11.2	5.6
大学 (n=1129)	87.2	8.5	4.3
短期大学 (n=162)	79.6	13.6	6.8
専修学校 (n=610)	78.0	14.3	7.7
各種学校 (n=124)	77.4	16.9	5.6

図 3-111 アルバイトの有無(単一回答)／学校の国公立・私立別

(%)

	アルバイトをしていた	アルバイトをしなかった	無回答
TOTAL (n=1731)	83.7	11.0	5.3
国公立 (n=159)	83.6	13.8	2.5
私立 (n=1572)	83.7	10.7	5.6

アルバイトの状況について、授業期間（平日）では、73.9%がアルバイトをしており、平均4.4時間／日、平均10.2日となっている。授業期間（土日）では、74.7%がアルバイトをしており、平均6.1時間／日、平均5.5日となっている。また、長期休暇中では、67.2%がアルバイトをしており、平均6.2時間／日、平均15.3日となっている。

なお、1か月あたりの平均収入は60,200円となっている。

図 3-112 アルバイトの有無(単一回答)／授業期間・長期休暇中別

	(%)		
	アルバイトをしていた	アルバイトをしなかった	無回答
授業期間(平日) (n=2025)	73.9	17.4	8.7
授業期間(土日) (n=2025)	74.7	16.0	9.3
長期休暇中(n=2025)	67.2	16.5	16.3

図 3-113 1日あたりの平均労働時間／授業期間・長期休暇中別

	(%)							
	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答	平均値
授業期間(平日) (n=1496)	24.4	32.6	23.9	9.2	2.1	4.1	3.7	4.4
授業期間(土日) (n=1512)	6.0	14.4	19.9	17.7	10.6	26.7	4.6	6.1
長期休暇中(n=1361)	5.4	12.5	19.0	19.8	10.1	26.1	7.1	6.2

図 3-114 1か月あたりの平均就労日数／授業期間・長期休暇中別

	(%)						
	10日以下	11～13日	14～16日	17～19日	20日以上	無回答	平均値
授業期間中(n=1655)	25.0	16.8	21.3	10.5	17.2	9.3	14.0
長期休暇中(n=1361)	19.8	9.6	23.0	6.6	27.1	13.9	15.3

図 3-115 1か月あたりの平均収入／学校の種類別

	(%)							
	2万円未満	2～4万円未満	4～6万円未満	6～8万円未満	8～10万円未満	10万円以上	無回答	平均値
TOTAL(n=1809)	4.0	13.0	22.2	23.7	13.8	8.8	14.4	60.2
大学(n=1037)	3.9	10.1	21.9	26.0	15.6	10.6	11.9	63.2
短期大学(n=142)	4.9	20.4	22.5	16.2	8.5	4.9	22.5	50.9
専修学校(n=525)	4.0	15.2	22.9	21.7	12.0	6.9	17.3	57.4
各種学校(n=105)	4.8	21.0	21.9	20.0	11.4	6.7	14.3	54.1

【問 34】 世帯分離により住宅扶助費が減ったことが原因で、家族で引っ越しをしましたか。
(〇は1つ)

住宅扶助費が減額になったことによる引っ越しの有無については、「引っ越しの予定はなく、検討もしていない」が57.5%と最も多く、次いで「予定はないが、現在検討している」が20.8%、「引っ越しをした」が10.4%となっている。

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響した世帯では、「予定はないが、現在検討している」割合が高くなっている。

図 3-116 住宅扶助費が減額による引越の有無(単一回答)／学校の種類別

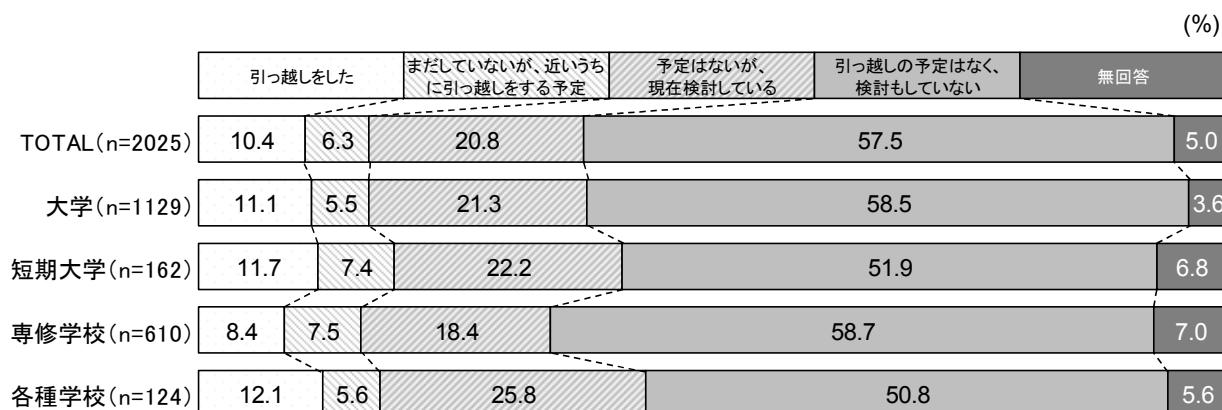
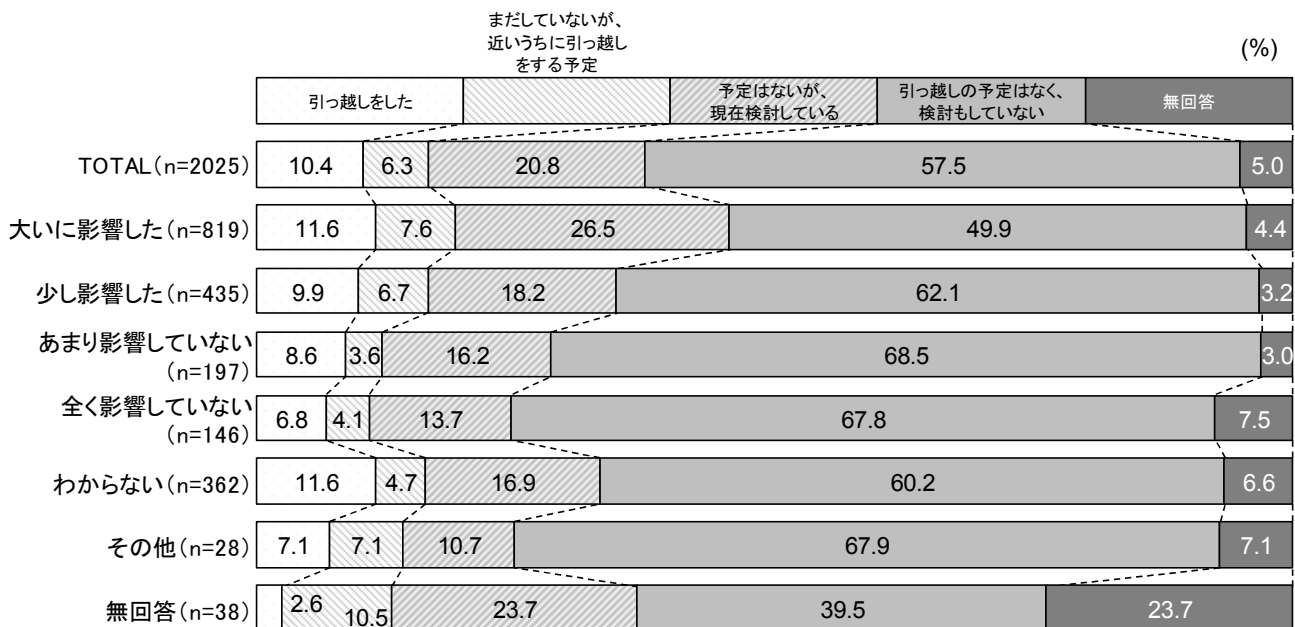


図 3-117 住宅扶助費が減額による引越の有無(単一回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別



【問 35】世帯分離により生活扶助費が減ったことで、出身家庭にどのような影響がありましたか。(〇はいくつでも)

また、「自らの生活費として、自分のアルバイト収入を家庭に入れている」を選択した場合、1か月あたりのおおよその金額もお答えください。

生活扶助費減額による家庭への影響については、「食費を節約している」が 57.1%と最も多く、次いで「衣類の購入を出来るだけ控えている」が 55.0%、「遊興や趣味の費用を減らしている」が 48.9%となっている。

学校の種類別でみると、大学では「光熱費・住宅費を除き、出身家庭とは家計が別である」割合が高くなっている。

図 3-118 生活扶助費減額による家庭への影響(複数回答)／学校の種類別

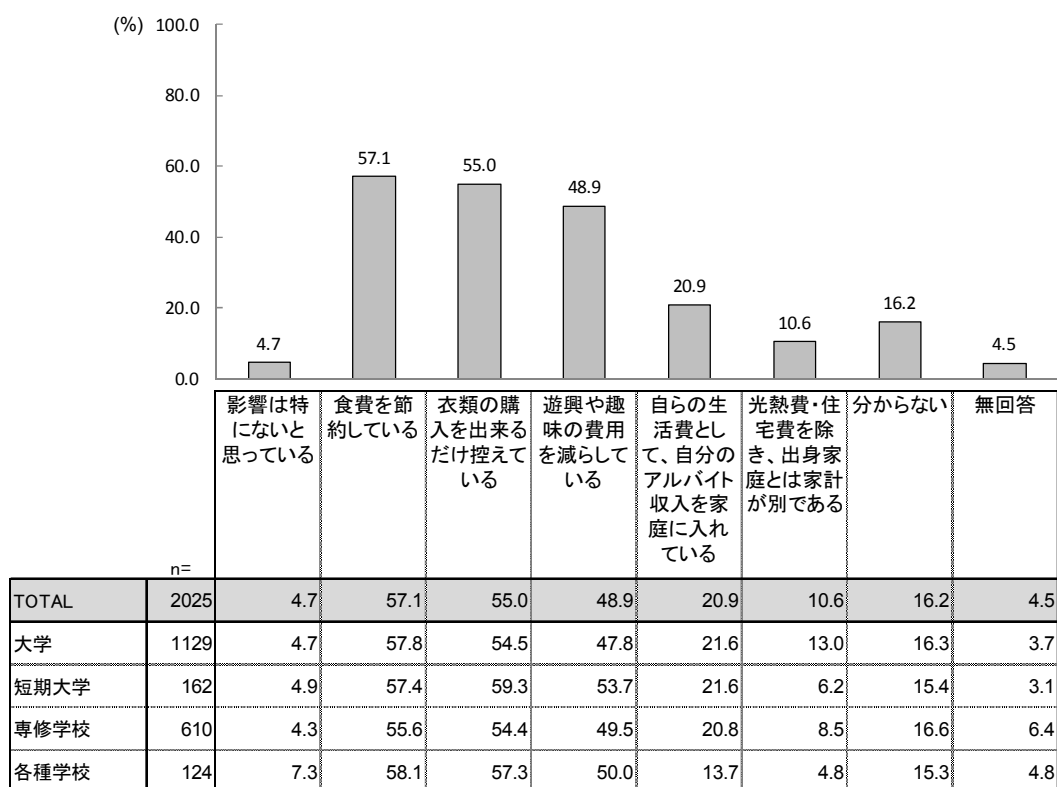


図 3-119 生活扶助費減額による家庭への影響(複数回答)／大学進学時の生活保護費減額の影響別

	n=	影響は特になく思っている	食費を節約している	衣類の購入を出来るだけ控えている	遊興や趣味の費用を減らしている	自らの生活費として、自分のアルバイト収入を家庭に入れている	光熱費・住宅費を除き、出身家庭とは家計が別である	分からない	無回答	(%)
TOTAL	2025	4.7	57.1	55.0	48.9	20.9	10.6	16.2	4.5	
大いに影響した	819	1.3	72.0	69.7	62.6	24.5	12.1	9.5	3.1	
少し影響した	435	5.3	58.2	53.3	49.7	21.4	10.1	14.3	3.0	
あまり影響していない	197	10.7	47.2	41.1	34.5	21.3	11.7	16.2	3.6	
全く影響していない	146	11.0	37.0	37.0	30.8	18.5	8.9	23.3	8.2	
わからない	362	5.8	38.7	40.6	33.7	13.3	8.3	30.9	6.6	
その他	28	7.1	21.4	32.1	32.1	17.9	10.7	32.1	10.7	
無回答	38	5.3	52.6	52.6	47.4	18.4	7.9	5.3	21.1	

3 調査結果 詳細

進学に関する家族の意向別でみると、支援・応援をしてくれた場合は「遊興や趣味の費用を減らしている」、特に支援・応援がない場合や関心がない場合は「光熱費・住宅費を除き、出身家庭とは家計が別である」割合が高くなっている。

また、生活費として家計に入れている金額は、平均 24,500 円となっている。

図 3-120 生活扶助費減額による家庭への影響(複数回答)／進学に関する家族の意向別

	n=	影響は特 にないと思 っている	食費を節 約している	衣類の購 入を出来る だけ控えて いる	遊興や趣 味の費用 を減らして いる	自らの生 活費とし て、自分の アルバイト 収入を家 庭に入れ ている	光熱費・住 宅費を除 き、出身家 庭とは家計 が別である	分からない	無回答
									(%)
TOTAL	2025	4.7	57.1	55.0	48.9	20.9	10.6	16.2	4.5
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた	1648	5.0	58.1	55.6	50.1	20.8	9.8	15.7	4.4
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	263	1.9	57.8	55.5	46.4	21.3	14.4	18.6	2.7
家族は、自分(本人)の進学に特に関心はないようだった	46	8.7	32.6	39.1	32.6	19.6	21.7	28.3	6.5
その他	36	2.8	50.0	55.6	47.2	27.8	16.7	19.4	0.0
無回答	32	9.4	40.6	43.8	37.5	15.6	0.0	6.3	28.1

図 3-121 生活費として家庭に入れている金額／学校の種類別

	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5万円以上	無回答	平均値
TOTAL (n=423)	4.5	31.0	27.4	17.7	6.9	11.1	1.4	24.5
大学 (n=244)	4.5	31.6	26.6	16.8	7.4	11.9	1.2	24.4
短期大学 (n=35)	2.9	31.4	37.1	8.6	2.9	14.3	2.9	22.9
専修学校 (n=127)	4.7	31.5	27.6	19.7	5.5	9.4	1.6	24.7
各種学校 (n=17)	5.9	17.6	17.6	35.3	17.6	5.9		27.1

図 3-122 生活費として家庭に入れている金額／進学に関する家族の意向別

	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5万円以上	無回答	平均値
TOTAL (n=423)	4.5	31.0	27.4	17.7	6.9	11.1	1.4	24.5
自分(本人)の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた(n=343)	3.5	31.5	29.7	15.7	7.3	11.1	1.2	24.4
自分(本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった(n=56)	7.1	30.4	19.6	25.0	5.4	10.7	1.8	25.4
家族は、自分(本人)の進学に特に関心はないようだった(n=9)	11.1	55.6	11.1	11.1	11.1			17.8
その他(n=10)	10.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	28.4
無回答(n=5)	20.0	60.0	20.0					29.0

(3) 学生生活について

【問 36】 学校の授業に平均してどれくらいの割合で出席していますか。(〇は1つ)

授業出席の割合については、「9～10割（全出席）」が65.7%と最も多く、次いで「7～8割程度」が26.7%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「7～8割程度」、専修学校や各種学校では「9～10割（全出席）」の割合が高くなっている。

図 3-123 授業出席の割合(単一回答)／学校の種類別

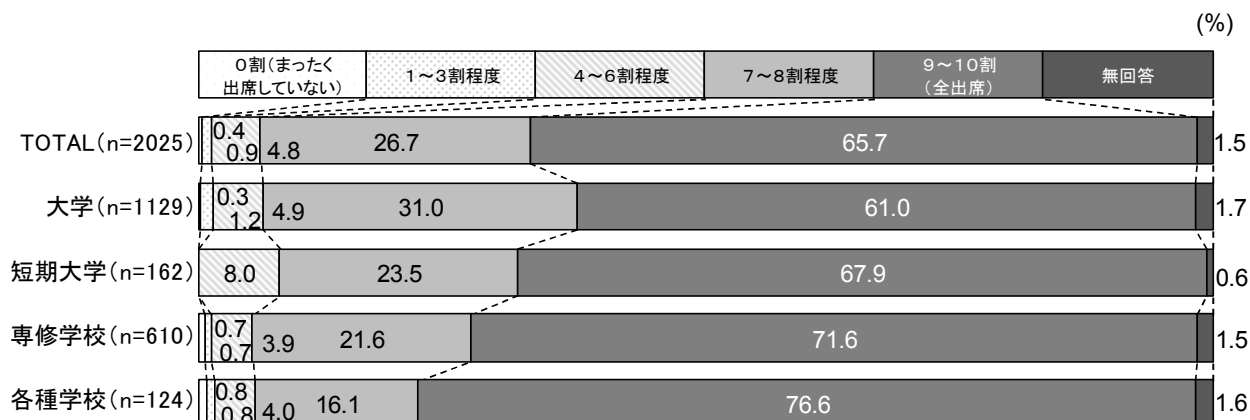
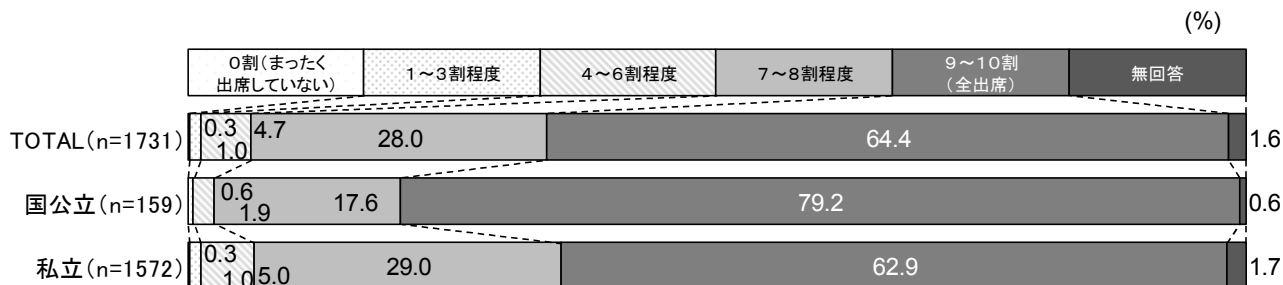


図 3-124 授業出席の割合(単一回答)／学校の国公立・私立別

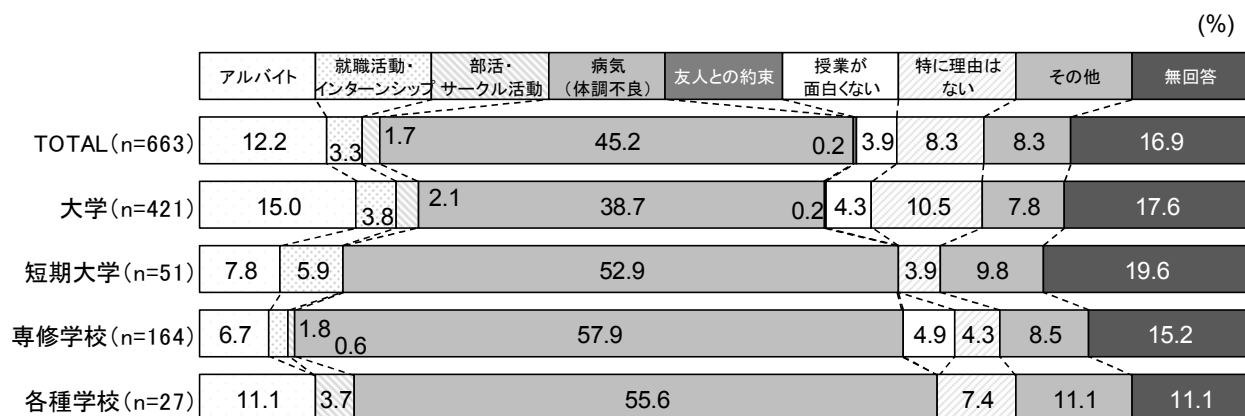


【問 37】[授業に出席しなかったことがある方にお聞きします]授業に出席しなかった主な理由は何ですか。(〇は1つ)

授業欠席の主な理由は、「病気（体調不良）」が 45.2%と最も多く、次いで「アルバイト」が 12.2%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「アルバイト」、専修学校では「病気（体調不良）」の割合が高くなっている。

図 3-125 授業欠席の主な理由(単一回答)／学校の種類別

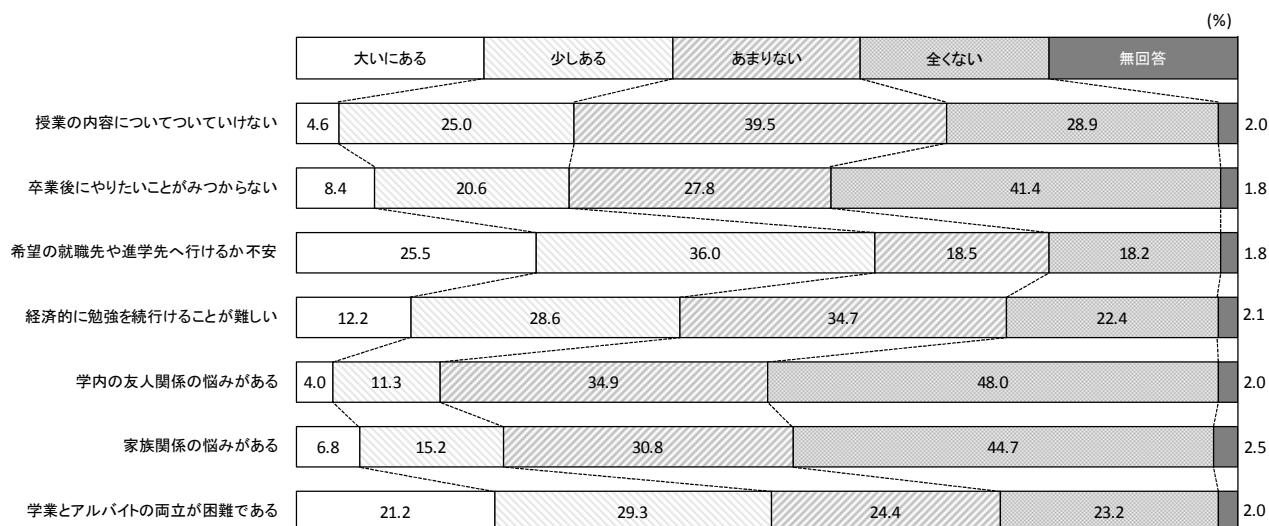


「その他」としては、「寝坊、遅刻」という意見が多くみられた。このほか、「親の入院」、「母の看護、家事」などの意見もみられた。

【問 38】 学生生活について、次のような悩みや不安はありますか。(それぞれの項目について○は1つずつ)

学生生活に関する悩みや不安について、不安が「大いにある」割合が高いのは、「希望の就職先や進学先に行けるか不安」が25.5%と最も多く、次いで「学業とアルバイトの両立が困難である」が21.2%となっている。

図 3-126 学生生活に関する悩みや不安(単一回答)



3-4. 卒業後の見込みについて

【問 39】[今年度卒業見込みの方にお聞きます]11 月1日現在の卒業後進路をお答えください。(○は1つ)

※進学希望で試験が今後行われる予定の場合でも、1を選択してください。

卒業後の進路については、「正規の職員等として就職」が 50.7%と最も多く、次いで「現在も就職活動中」が 13.6%、「未定」が 8.6%となっている。

図 3-127 卒業後の進路(単一回答)／学校の種類別

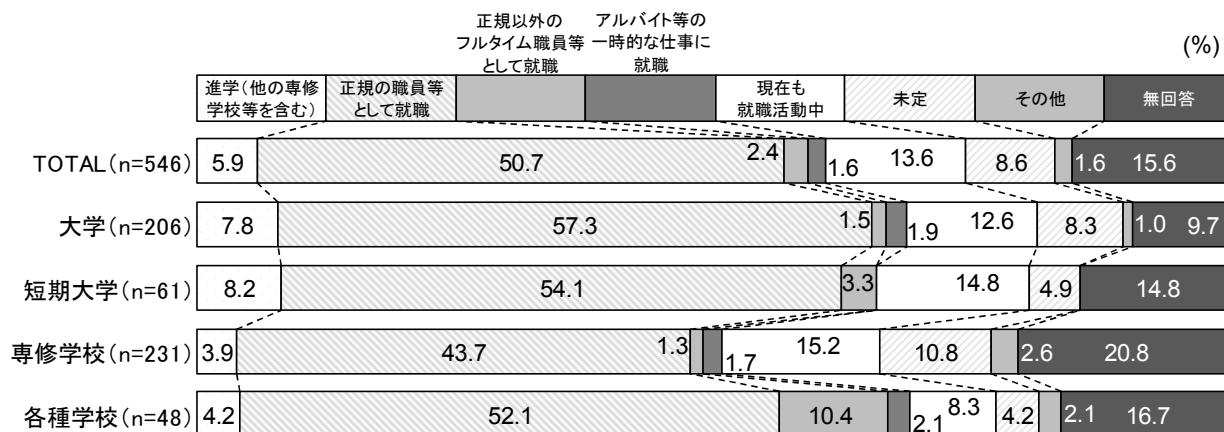
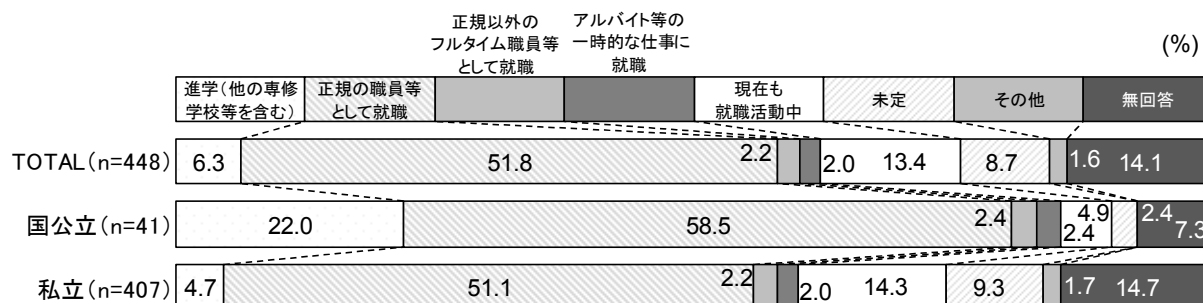


図 3-128 卒業後の進路(単一回答)／学校の国公立・私立別



【問 40】[今年度卒業見込みの方にお聞きします] 卒業後は、出身家庭で親と同居しますか。(○は1つ)

卒業後の親との同居については、「同居する予定」が 24.0%、「同居しない予定（転出する予定）」が 34.1%となっている。

学校の種類別にみると、短期大学では「同居する予定」の割合が高くなっている。

また、進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援をしてくれた場合は「同居する予定」、特に支援・応援はしてくれなかった場合は「同居しない予定（転出する予定）」の割合が高くなっている。

図 3-129 卒業後親と同居の有無(単一回答)／学校の種類別

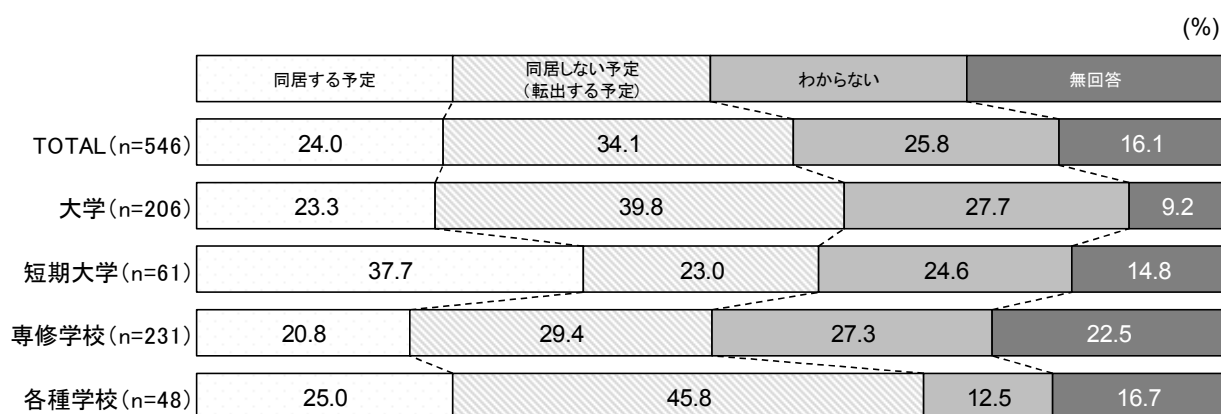
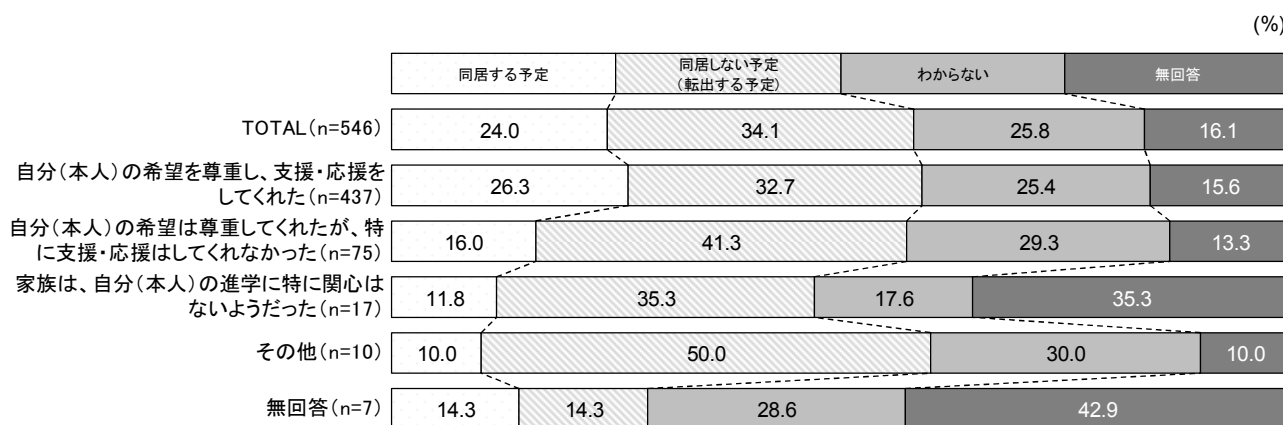


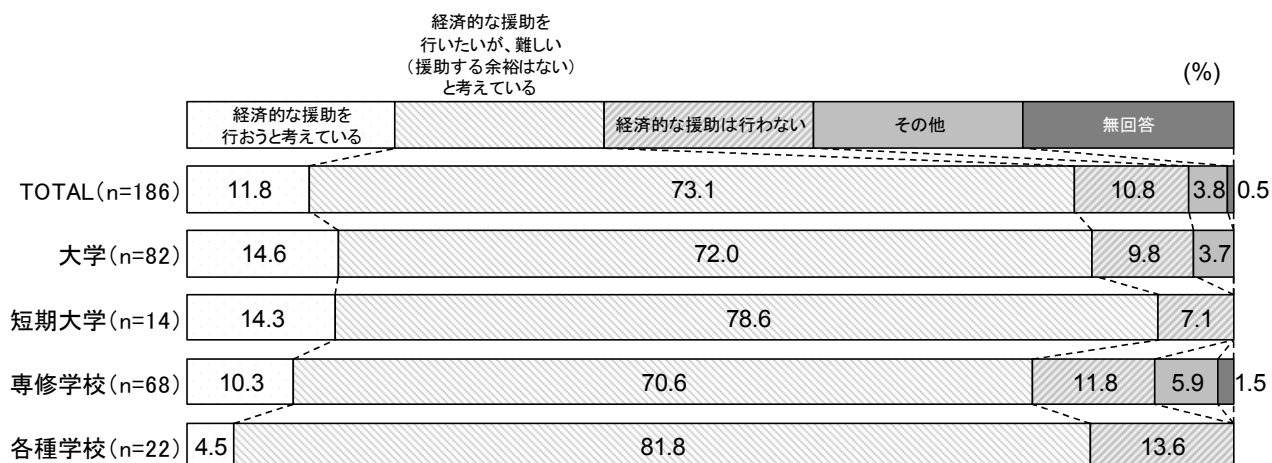
図 3-130 卒業後親と同居の有無(単一回答)／進学に関する家族の意向別



【問 41】〔同居しない予定(転出する予定)の方にお聞きします〕 転出後、出身家庭に経済的な援助を行おうと考えていますか。(○は1つ)

転出後の出身家庭への援助については、「経済的な援助を行いたい、難しいと考えている」が 73.1%と最も多く、次いで「経済的な援助を行おうと考えている」が 11.8%、「経済的な援助は行わない」が 10.8%となっている。

図 3-131 転出後の出身家庭への援助の有無(単一回答)／学校の種類別



「その他」としては、「奨学金等の返済にあてる」、「奨学金等の返済で生活できるか不安である」といった意見がみられた。

4 資料編

4. 資料編

4-1. 調査票

学生生活に関する実態調査

アンケートのご記入にあたって

1. ご記入は下記の要領で、直接この調査票をお願いします。

①あらかじめ選択肢として回答が用意されている場合には、該当する番号を○印で囲んでください。なお質問によって、「○は1つ」「○はいくつでも」ということわり書きがありますので、ご回答にご注意ください。

②（ ）のある選択肢や回答欄については、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。

2. ご記入いただいた調査票は、返送用封筒（切手不要）にて平成 29 年 12 月 22 日（金）までにご返送ください。差出人名は無記名で結構です。

3. この調査は、厚生労働省から委託を受けた株式会社インテージリサーチが行います。調査に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【委託先／問い合わせ先】株式会社インテージリサーチ お問い合わせ窓口

TEL：0120-134-216（受付時間：平日 10 時から 17 時）MAIL：gakusei-info@intage.co.jp

【委託元】厚生労働省

「あなたご自身のこと」についてお聞きます。

問 1 あなたの性別・年齢をお答えください。

性別（○は1つ） ☐ 1 男性 ☐ 2 女性 年齢（平成 29 年 4 月 1 日現在） 歳

問 2 現在、同居しているご家族について、あなたから見た続柄でお答えください。（○はいくつでも）

1 父親	4 姉（ ）人	7 祖父・祖母（ ）人
2 母親	5 弟（ ）人	8 その他親族（ ）人
3 兄（ ）人	6 妹（ ）人	9 その他（ ）

問 3 現在通っている学校の種類と、あなたの学年をお答えください。（それぞれ○は1つずつ）

学校の種類	1 大学		
	2 短期大学		
	3 専修学校		
	4 各種学校		
学年	1 1年生	3 3年生	5 その他 ()
	2 2年生	4 4年生	

問 4 現在通っている学校の学部（学科）、専門をお答えください。（○は1つ）

大学・短期大学	学部 (学科)	1 自然科学系（理学部・農学部・獣医・畜産系学部・水産学部、工学部等）	
		2 医学・医療系（医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等）	
		3 社会科学系（法学部、経済学部、経営学部、商学部、国際関係学部、社会学部・社会福祉学部等）	
		4 人文科学系（文学部、外国語学部、人文学部、教養学部、人間科学部、教育学部等）	
		5 その他（ ）	
専修学校等	専門	1 工業関係	6 商業実務関係
		2 農業関係	7 服飾・家政関係
		3 医療関係	8 文化・教育関係
		4 衛生関係	9 その他（ ）
		5 教育・社会福祉関係	

「現在の学校に通う前のこと」についてお聞きます。

問5 あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。(それぞれ○は1つつ)

学校の種類	1 公立（全日制）	4 私立（全日制）
	2 公立（定時制・通信制）	5 私立（定時制・通信制）
	3 国立	6 その他（ ）
学科	1 普通科 3 商業科	5 農業科 7 その他
	2 工業科 4 総合学科	6 家庭科 （ ）

*** 高校等への進学について ***

問6 進学する高校等を決める際、経済的な理由で志望校を変えなければならなかったことがありますか。

(○は1つ)

1 経済的理由で進学先を変えた	3 わからない・覚えていない
2 経済的な理由で進学先を変えたことはない	4 その他()

*** 大学等への進学について ***

問7 大学等への進学を、具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。(○は1つ)

1 高校等に進学する前(中学生以前)	5 高校3年生のとき
2 高校等に進学するとき(進学先を考えたとき)	6 高校卒業後
3 高校1年生のとき	7 わからない・覚えていない
4 高校2年生のとき	

問8 あなたが大学等に進学すると、出身家庭に支給される生活保護費が減額される、ということが、進学するかを考える際に影響しましたか。(○は1つ)

1 大いに影響した	3 あまり影響していない	5 わからない
2 少し影響した	4 全く影響していない	6 その他()

問9 大学等に進学することを決めたのは、どのような理由からですか。(○はいくつでも)

1 将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	6 すぐに社会に出るのが不安だから
2 専門的な研究をしたいから	7 自由な時間を得たいから
3 幅広い教養を身につけたいから	8 周囲の人がみな行くから
4 大卒等の学歴が得られるから	9 先生や家族が勧めるから
5 資格や免許を取得したいから	10 その他()

問 10 現在の進学先を選んだのは、どのような理由からです。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 自分の学力を考えて | 7 経済的な負担が少ないから(学費が安いから) |
| 2 学びたい学部・学科・専攻があるから | 8 部活動やサークル活動が活発だから |
| 3 就職実績(就職率・就職先)が優れているから | 9 家族・先生・知人に勧められて |
| 4 通学しやすいから | 10 推薦入学があったから |
| 5 学校の理念や校風にひかれて | 11 その他 () |
| 6 資格や免許が取れるから | |

問 11 進路に関する相談は、主に誰に対して行っていましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1 親(祖父母等の家族、親戚) | 5 友人・知人 |
| 2 兄弟姉妹 | 6 自治体、福祉事務所などの職員
(ケースワーカーなど) |
| 3 学校の先生や職員 | 7 その他 () |
| 4 学校の先輩 | |

問 12 進路に関して、どのようなことを相談していましたか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------|
| 1 進学先の選択について |
| 2 大学等への進学にかかる費用について |
| 3 奨学金等の学費サポート制度について |
| 4 家族と進学に関する考え方の違いについて |
| 5 その他 () |

問 13 大学等への進学について、ご家族はどのような考え・態度だったでしょうか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 自分(ご本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた |
| 2 自分(ご本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった |
| 3 家族は、自分(ご本人)の進学に特に関心はないようだった |
| 4 その他 () |

→ 問 14 [ご家族が支援・応援してくれた方にお聞きします]大学等への進学について、ご家族からはどのような支援・応援がありましたか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 希望する進学先について調べてくれた |
| 2 進学にかかる費用について調べてくれた |
| 3 進学先の相談にのってくれた |
| 4 進学先についてアドバイスをくれた |
| 5 家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた |
| 6 その他 () |

問 15 大学等への進学について、ご家族から経済的な話をされましたか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 「経済面を気にせず進学してほしい」という旨の話をされた |
| 2 「できるだけ経済的な負担がかからない進学してほしい」という旨の話をされた |
| 3 経済的な理由で進学を反対された(「進学をあきらめてほしい」という旨の話をされた) |
| 4 家族からは、特に話はされなかった |
| 5 その他 () |

*** 受験に関することについて ****

問 16 受験勉強はどのように進めましたか。(○はいくつでも)

- 1 学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした
- 2 無料の学習支援を利用して受験勉強をした
- 3 学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした
- 4 塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした
- 5 模擬試験を受けた
- 6 その他 ()

→ [塾や予備校、通信教育を利用した方にお聞きます] 利用した「期間」と「平均月謝」をお答えください。

期間 約 年 か月 平均月謝 約 000円

→ [模擬試験を受けた方にお聞きます] 受けた回数をお答えください。

約 回

問 17 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのようにして情報を入手しましたか。(○はいくつでも)

- 1 情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた
- 2 親（祖父母等の家族、親戚）から話を聞いた
- 3 兄弟姉妹から話を聞いた
- 4 学校の先生や職員から話を聞いた
- 5 学校の友人、先輩後輩から話を聞いた
- 6 その他の友人、知人から話を聞いた
- 7 自治体の職員（ケースワーカーなど）から話を聞いた
- 8 その他 ()

問 18 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、必要な情報を十分に得ることはできましたか。(○は 1 つ)

- 1 十分に得ることができた
- 2 十分ではないが、ほぼ必要な情報は得ることはできた
- 3 十分に得ることができず、もっと情報がほしいと思った
- 4 その他 ()

→ 問 19 [必要な情報を十分得ることができなかった方にお聞きます] どのような情報があるとよかったですか。(○はいくつでも)

- 1 受験勉強の方法
- 2 進学先で実施される授業や講義の内容
- 3 進学先の卒業後の進路や得られる資格
- 4 希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法
- 5 高校等を卒業後に必要となる生活費や、その準備方法
- 6 その他 ()

問 20 現在の進学先を含めて、いくつの学校（学部）を受験しましたか。(○は 1 つ)

※ 1 校で複数学部を受験した場合は、受験した学部数をお答えください。

- | | | |
|---------------|-------------|---------------|
| 1 1 校（1 学部）のみ | 3 3 校（3 学部） | 5 5 校（5 学部） |
| 2 2 校（2 学部） | 4 4 校（4 学部） | 6 6 校（6 学部）以上 |

問 21 受験や入学に関して、どれくらいの費用がかかりましたか。(それぞれの項目ごとに金額を記入)

※わからない場合は、概算でお答えください。

※入学後、5月以降に購入したものは計上しないでください。

項 目		百万	十万	万	千	円
受験の教材(参考書等)にかかった費用	→ 約					000円
受験料	→ 約					000円
受験するためにかかった交通費・宿泊費	→ 約					000円
入学金	→ 約					000円
大学生活で必要になるパソコン	→ 約					000円
大学生活で必要になる電話機(携帯電話・スマートフォンを含む)	→ 約					000円
通学用の自転車・原動機付き自転車	→ 約					000円
入学式用の衣類・鞆	→ 約					000円

問 22 受験や入学に要する費用は、どのように準備しましたか。(○はいくつでも)

1 すべて家庭で(親等)が用意した	5 奨学金を利用した
2 すべて自分がアルバイト等をして用意した	6 生活福祉資金(就学支度費)を利用した
3 家庭(親等)と自分で用意した	7 その他()
4 金融機関から借り入れた	

問 23 受験勉強をしている頃、アルバイトはしていましたか。(○は1つ)

1 高校生等の時はアルバイトをしていなかった	
2 もともとアルバイトはしていたが、受験勉強期間中は、アルバイトをやめていた	
3 もともとアルバイトをしていたが、受験勉強期間中は、アルバイトの時間を減らしていた	
4 受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた	
5 その他()	

問 24 高校等に通っている頃のアルバイト収入の主な使い道は何でしたか。(○はいくつでも)

1 私立高校の授業料のための費用	5 遊興費、自らのお小遣い
2 クラブ活動、修学旅行のための費用	6 その他()
3 進学のための費用	7 特に使い道は決めていなかった
4 家計に入れるための費用	8 高校等に通っている頃、アルバイトはしてなかった

問 25 受験勉強をしている頃、家族の状況(傷病や就労等)を理由に、家事、家族の介護・看護をしていましたか。

(○はいくつでも)

1 自分が中心となって家事をしていた	4 兄弟姉妹の世話をしていた
2 家事を手伝っていた	5 いずれもしてなかった
3 家族の介護・看護をしていた	

「現在の生活状況」についてお聞きます。

*** 経済的な状況について ****

問 26 現在、出身家庭から就学費用の援助を受けていますか。(○は1つ)

1 受けていない 2 受けている → 年間 約 000円

問 27 奨学金等を利用していますか。(○は1つ)

1 奨学金等を利用している 2 奨学金等を利用していない

→ [奨学金等を利用している方にお聞きます] 利用しているそれぞれの奨学金等の年間受給額を記入してください。

項 目		百万	十万	万	千	円
日本学生支援機構の貸与型奨学金	→ 約					000円
日本学生支援機構の給付型奨学金	→ 約					000円
日本学生支援機構以外の貸与型奨学金	→ 約					000円
日本学生支援機構以外の給付型奨学金	→ 約					000円
生活福祉資金の教育支援資金	→ 約					000円

問 28 大学等に納付する授業料や通学費等について、年間必要となる額について記入してください。

項 目		百万	十万	万	千	円
授業料 (出身家庭が支払った授業料を含む)	→ 約					000円
その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)	→ 約					000円
修学費 (教科書・図書代、文具購入費等を含む)	→ 約					000円
通学費	→ 約					000円

問 29 大学等の授業料減免制度を受けていますか。平成 29 年度前期分についてお答えください。(○は1つ)

1 全額を受けた 3 半額未満を受けた 5 申請しなかった
2 半額以上全額未満を受けた 4 申請したが不許可になった 6 大学等に減免制度がなかった

問 30 国民健康保険に加入していますか。(○は1つ)

1 加入している 3 加入していない
2 家族の健康保険の扶養に入っている 4 わからない

問 31 この 1 年間、病気(風邪を含む)やけがをした場合、医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

※ 1年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください。

1 必要な場合はその都度受診した 3 授業やアルバイト等のため、受診する時間がなかった
2 経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた 4 病気やけがをしていない

問 32 [20 歳以上の方のみにお聞きます] 国民年金保険料を納付していますか。(○は 1 つ)

1 納付している	3 納付していない
2 学生納付特例制度を利用している	4 わからない

*** アルバイトの状況について ****

問 33 最近 1 年間、授業期間中や長期休暇中にアルバイトをしましたか。アルバイトをした方は、1 日あたりの平均的な労働時間と 1 か月あたりの平均的な就労日数、1 か月あたりの収入額をお答えください。

※ 1 年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください。

	アルバイトの有無 (○は 1 つ)	1 日あたりの 平均労働時間	1 か月あたりの 平均就労日数
[授業期間(平日)]	1 しなかった 2 していた	時間	日
[授業期間(土日)]	1 しなかった 2 していた	時間	日
[長期休暇中]	1 しなかった 2 していた	時間	日

1 か月あたりの平均収入 000 円

問 34 世帯分離により住宅扶助費が減ったことが原因で、家族で引っ越しをしましたか。(○は 1 つ)

1 引っ越しをした	3 予定はないが、現在検討している
2 まだしていないが、近いうちに引っ越しをする予定	4 引っ越しの予定はなく、検討もしていない

問 35 世帯分離により生活扶助費が減ったことで、出身家庭にどのような影響がありましたか。(○はいくつでも) また、5 を選択した場合、1 か月あたりのおおよその金額もお答えください。

1 影響は特にないと思っている	5 自らの生活費として、自分のアルバイト収入を家庭に入れている
2 食費を節約している	6 光熱費・住宅費を除き、出身家庭とは家計が別である
3 衣類の購入を出来るだけ控えている	7 分からない
4 遊興や趣味の費用を減らしている	

生活費として家庭に入れている 1 か月あたりの金額 約 000 円

*** 学生生活について ****

問 36 学校の授業に平均してどれくらいの割合で出席していますか。(○は 1 つ)

1 0 割 (まったく出席していない)	3 4 ~ 6 割程度	5 9 ~ 1 0 割 (全出席)
2 1 ~ 3 割程度	4 7 ~ 8 割程度	

問 37 [授業に出席しなかったことがある方にお聞きます] 授業に出席しなかった主な理由は何ですか。

(○は 1 つ)

1 アルバイト	4 病気 (体調不良)	7 特に理由はない
2 就職活動・インターンシップ	5 友人との約束	8 その他
3 部活・サークル活動	6 授業が面白くない	()

問 38 学生生活について、次のような悩みや不安はありますか。(それぞれの項目について○は1つつ)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
授業の内容についていけない	1	2	3	4
卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4
家族関係の悩みがある	1	2	3	4
学業とアルバイトの両立が困難である	1	2	3	4

「卒業後の見込み」についてお聞きます。

問 39 【今年度卒業見込みの方にお聞きます】11月1日現在の卒業後進路をお答えください。(○は1つ)

※進学希望で試験が今後行われる予定の場合でも、1を選択してください。

1 進学（他の専修学校等を含む）	5 現在も就職活動中
2 正規の職員等として就職	6 未定
3 正規以外のフルタイム職員等として就職	7 その他
4 アルバイト等の一時的な仕事に就職	()

問 40 【今年度卒業見込みの方にお聞きます】卒業後は、出身家庭で親と同居しますか。(○は1つ)

1 同居する予定	3 わからない
2 同居しない予定（転出する予定）	

→ 問 41 【同居しない予定（転出する予定）の方にお聞きます】転出後、出身家庭に経済的な援助を行おうと考えていますか。(○は1つ)

1 経済的な援助を行おうと考えている
2 経済的な援助を行いたいが、難しい（援助する余裕はない）と考えている
3 経済的な援助は行わない
4 その他 ()

問 42 最後に、進学する上で何か困ったことなどがあれば、自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

ご協力ありがとうございました。